B6FH-4631-02

# FMV BIBLO

NB90K/TS,NB90K/T,NB75K/T,NB55K/T,
NB80K,NB75K,NB55K,NB50K,NB90KN/T,
NB80KN,NB50KN

さぁ、はじめましょう

# パソコンの準備






FUJITSU

# 知りたいことを調べるには

さあ、
はじめましょう

## パソコンの準備

使い始めるまでの準備はこれでバッチリ。




パソコンの準備
の後は

## FMV活用ガイド

基本や活用、セキュリティからトラブル解決までこれ一冊。




テレビチューナー
内蔵の機種なら

## テレビを見る・録る・残すガイド

テレビを見たり録ったりして楽しむには、これ！［注］

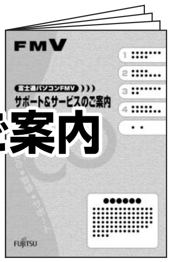
注：テレビチューナー内蔵機種のみ添付
（ただし、Microsoft® Windows® XP
Media Center Edition 2005搭載機種には非添付）




サポートに
ついては…

## サポート＆サービスのご案内

どうしても問い合わせないとわからない…。
そんなときはこれ！




ちょっと確認！

## 基本操作クイックシート

手元にあると便利、文字入力の早見表！
（二つ折りになっています）




### マニュアルは「本」だけではありません！

～パソコン画面にもマニュアルがあります～

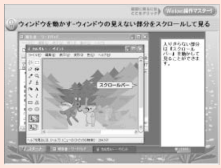
起動方法

スタート
↓
すべてのプログラム
↓
富士通サービスアシスタント（マニュアル＆サポート）

パソコンが初めての方でも安心！

### パソコン入門

パソコンの基本操作や文字入力を楽しく学習したいならこれ！







FMVの使い方を知るには

### 画面で見るマニュアル

ソフトウェア、ハードウェア、インターネットなどの説明からトラブルシューティングまで、幅広い情報を集結！







※この他にも、役に立つ情報が盛りだくさんです。

※この他にも、マニュアルや重要なお知らせなどの紙、冊子類があります。

# 『パソコンの準備』の内容

## 必ずお読みください

### まず機種名や添付品の確認をします

第 1 章　使い始める前に（••▶P.19）

↓

### 必要な機器を接続します

第 2 章　接続する（••▶P.27）

↓

### 電源を入れてパソコンを使う準備をします

第 3 章　パソコンを準備する
1 初めて電源を入れる（••▶P.36）

## 目的に合わせてお読みください

■各部名称を知りたい（••▶P.77）
■メモリを増やしたい（••▶P.97）
■仕様を確認したい（••▶P.108）

## 安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。
本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。
また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

## 保証書について

- 保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- 修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- 修理後は、パソコンの内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、フロッピーディスクや CD/DVD などの媒体にバックアップをお取りください。
- 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造終了後 6 年間です。

## 使用許諾契約書

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本製品にインストール、もしくは添付されているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただいております。
なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が、添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

### ソフトウェアの使用条件

1. 本ソフトウェアの使用および著作権
   お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本製品でのみ使用できます。なお、お客様は本製品のご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。
2. バックアップ
   お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1 部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。
3. 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み
   本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。
4. 複製
   （1） 本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。
   本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。
   ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。
   （2） 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。
5. 第三者への譲渡
   お客様が本ソフトウェア（本製品に添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされたパソコンとともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本製品に添付されている媒体を本製品とは別に第三者へ譲渡することはできません。
6. 改造等
   お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。
7. 壁紙の使用条件
   お客様は、「ＦＭＶ」ロゴ入りの壁紙を改変したり、第三者へ配布することはできません。
8. 保証の範囲
   （1） 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本製品をご購入いただいた日から 90 日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。
   また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合、本製品をご購入いただいた日から 1 ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。
   （2） 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
   （3） 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記（1）の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。
9. ハイセイフティ
   本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。
   記
   原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

## マイクロソフト製品サービスパック

Microsoft® Windows® をご利用のお客様がより安定したシステムを運用していく上で、マイクロソフト社はサービスパックを提供しております（http://www.microsoft.com/japan/）。
お客様は、最新のサービスパックをご利用いただくことにより、その時点でマイクロソフト社が提供する Microsoft® Windows® にて最も安定したシステムを構築できます。
したがいまして、当社としては、最新のサービスパックをご利用いただくことを基本的には推奨いたします。
ただし、お客様の環境によっては、サービスパック適用により予期せぬ不具合が発生する場合もありますので、ご利用前にはサービスパックの Readme.txt を必ずご確認ください。
また、万一、インストールに失敗したことを考慮し、システムのバックアップを取ることを推奨いたします。

# このマニュアルの表記について

## 安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使用しています。これは本製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

| | |
|---|---|
| ⚠危険 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う危険があることを示しています。 |
| ⚠警告 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。 |
| ⚠注意 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。 |

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の表示と同時に次のような記号を使っています。

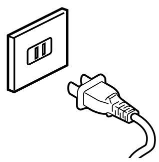
| | |
|---|---|
| ⚠ | △で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。 |
| 🛇 | 🛇で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。 |
| ❗ | ●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。 |

## 画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種によって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

## 電源プラグとコンセント形状の表記について

このパソコンに添付されている電源ケーブルの電源プラグは「平行2極プラグ」です。本書では「電源プラグ」と表記しています。
接続先のコンセントには「平行2極プラグ（125V15A）用コンセント」をご利用ください。本書では「コンセント」と表記しています。



## 本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

| | |
|---|---|
| 重要 | お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。 |
| POINT | 操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。 |
| ●●▶ | 参照先を記述しています。 |
| | ご覧になっていただきたいマニュアルを記述しています。 |
| | サービスアシスタントを表しています。次のいずれかの操作で起動できます。<br>・ワンタッチボタンを「Application」モードにして「A」ボタンを押す<br>・「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「富士通サービスアシスタント（マニュアル&サポート）」の順にクリック |
| | CD-ROM/DVD-ROM を表しています。 |

## 製品などの呼び方について

このマニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

| 正式名称 | このマニュアルでの表記 | |
|---|---|---|
| Microsoft® Windows® XP Home Edition | Windows XP Home Edition | Windows |
| Microsoft® Windows® XP Professional | Windows XP Professional | |
| 情報処理機器の省エネルギー化推進に関する法律 | 省エネ法 | |
| スーパーマルチドライブ | CD/DVD ドライブ | |
| 富士通サービスアシスタント V3.1 | サービスアシスタント | |
| Norton AntiVirus™ 2005 | Norton AntiVirus | |
| 外部デジタルチューナー、BS・CS・CATV チューナー、ケーブルテレビ会社用のホームターミナル | セットトップボックス | |

## 警告ラベル／注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。
警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

## 商標および著作権について

## データのバックアップについて

本製品に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。
データが失われた場合でも、保証書の記載事項以外は、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください。

## 添付の CD-ROM/DVD-ROM などは大切に保管してください

これらのディスクは、本製品に入っているソフトウェアをご購入時と同じ状態に戻すときに必要です。

## 液晶ディスプレイの特性について

・ 液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
・ 本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
・ 長時間同じ表示を続けると残像となることがありますが故障ではありません。残像は、しばらく経つと消えます。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
・ 表示する条件によってはムラおよび微少な斑点が目立つことがありますが故障ではありません。

なお、低輝度で長時間連続で使用した場合、早期の部品交換が必要になることがあります。

## アナログ放送からデジタル放送への移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で 2003 年 12 月から開始され、その他の地域でも、2006 年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は 2011 年 7 月に、BS アナログ放送は 2011 年までに終了することが、国の方針として決定されています。

## 本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

・ 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

## 注 意

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
本製品は、マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

・ 本製品には、有寿命部品（液晶ディスプレイ、ハードディスクなど）が含まれています。
有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や条件により異なりますが、１日約８時間のご使用で約５年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。
長時間連続使用など、ご使用状態によっては早期に部品交換が必要となる場合があります。

製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。

部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
（バッテリパックや乾電池などの消耗品は、お客様ご自身で新品を購入し、交換していただきます。）

・ 本製品は、24 時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

本製品の使用環境は、温度 5 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、温度 -10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（非動作時）です（ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）。

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

## ワイヤレス LAN（無線 LAN）搭載モデル（IEEE 802.11a 準拠、IEEE 802.11g 準拠）の場合

・ 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
  (1) 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
  (2) 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
  (3) その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。
  連絡先：「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」
・ 本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。
・ パソコン本体と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、IEEE 802.11a 準拠（5GHz 帯）では見通し半径 15m 以内、IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠（2.4GHz 帯）では見通し半径 25m 以内（ワイヤレス通信の推奨値）となります。ただし、ワイヤレス LAN の特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。
・ IEEE 802.11g 準拠と IEEE 802.11b 準拠の混在環境においては、IEEE 802.11g 準拠は IEEE 802.11b 準拠との互換性をとるため、IEEE 802.11g 準拠本来の性能が出ない場合があります。IEEE 802.11g 準拠本来の性能が必要な場合は、IEEE 802.11g 準拠と IEEE 802.11b 準拠を別のワイヤレス LAN ネットワークにし、使用しているチャンネルの間隔を 5 チャンネル以上あけてお使いください。
・ IEEE 802.11a 準拠（5GHz 帯）のワイヤレス LAN の屋外使用は、電波法により禁じられています。
・ 航空機内では使用しないでください。罰せられる場合があります。

## ワイヤレス LAN（無線 LAN）搭載モデル（IEEE 802.11g 準拠）の場合

・ 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
  (1) 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
  (2) 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
  (3) その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。
  連絡先：「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」
・ パソコン本体と通信相手の機器との通信距離は、見通し半径 25m 以内（ワイヤレス通信の推奨値）となります。ただし、ワイヤレス LAN の特性上、ご利用になる建物の構造や材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度が低下したり通信不能となる場合もあります。
・ IEEE 802.11g 準拠と IEEE 802.11b 準拠の混在環境においては、IEEE 802.11g 準拠は IEEE 802.11b 準拠との互換性をとるため、IEEE 802.11g 準拠本来の性能が出ない場合があります。IEEE 802.11g 準拠本来の性能が必要な場合は、IEEE 802.11g 準拠と IEEE 802.11b 準拠を別のワイヤレス LAN ネットワークにし、使用しているチャンネルの間隔を 5 チャンネル以上あけてお使いください。
・ 本製品と IEEE 802.11a 準拠の機器とは、使用している周波数帯域が異なるため、通信できません。ご注意ください。
・ 航空機内では使用しないでください。罰せられる場合があります。

本製品でテレビや DVD、ゲームなどの映像を見たり、本製品にご家庭のテレビなどを接続してご利用になる場合には、部屋を明るくして、画面から充分離れてご覧ください。
映像を視聴する方の体質によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。また、このような症状を発症した場合には、本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

本製品には、マクロビジョンコーポレーション及びその他の権利者が所有している米国特許の方法クレームその他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、マクロビジョンコーポレーションの許可が必要ですが、家庭及びその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。またリバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

ドルビー、DOLBY、ダブル D 記号、AC-3 およびプロロジックはドルビーラボラトリーズの商標です。

本製品の構成部品（プリント基板、CD/DVD ドライブ、ハードディスク、液晶ディスプレイなど）には、微量の重金属（鉛、クロム、水銀）や化学物質（アンチモン、シアン）が含有されています。

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。また、バッテリ残量が不十分な場合、バッテリ未搭載で AC アダプタを使用している場合は、規定の耐力がないため不都合が生じることがあります。

# 安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱ってください。

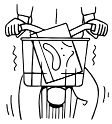
## パソコン本体の操作に関する注意事項

- 電源を入れて本製品が起動するまでは、むやみにキーボード、マウス、ポインティングデバイスやリモコンに触らないでください。正常に起動できなくなる場合があります。
- BIOS セットアップは、必要な場合以外はむやみに設定を変更しないでください。正常に起動できなくなる場合があります。
- パスワードを設定する場合は、パスワードを書き留めて、安全な場所に保管してください。パスワードを忘れると、本製品は使用できなくなり、修理が必要となります。
- 添付の各マニュアルをよくお読みになり、本製品を正しくお使いください。

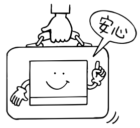
## やさしく扱ってください



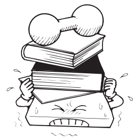

・電源が入った状態で持ち運ばないでください。



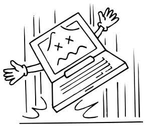
・自転車やバイクなどに載せて持ち運ばないでください。




・持ち運ぶ場合は、鞄などに入れ、衝撃や振動を与えないでください。



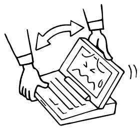
・重い物をのせないでください。



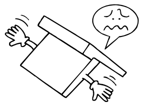
・パソコン本体や AC アダプタを投げたり、落下させないでください。



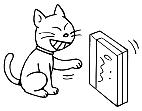
・コーヒーなどの液体や、クリップなどの金属が入らないよう注意してください。



・ディスプレイを無理に大きく開けないでください。



・ディスプレイを開けたまま、裏返して置かないでください。



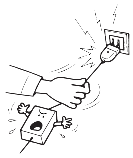
・パソコン本体を立てて置かないでください。バランスが崩れて倒れるおそれがあります。



・ディスプレイまたはディスプレイの枠を持って、パソコン本体を持ち上げないでください。



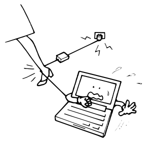
・ディスプレイをたたいたり強く押したりしないでください。



・AC アダプタの抜き差しは、電源プラグを持って行ってください。



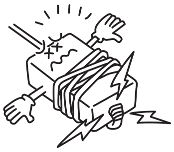
・コードを継ぎ足すなどの加工はしないでください。



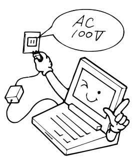
・コードを無理に折ったり引っ張ったりしないでください。



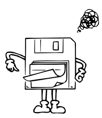
・分解しないでください。



・ACアダプタのコードは、本体にきつく巻きつけるなどして、根元部分に負担をかけないでください。
断線の原因となります。




・必ず一般の電源（100V）をお使いください。
・濡れた手で AC アダプタを扱わないでください。感電のおそれがあり、大変危険です。



・フロッピーディスクのラベルは重ねて貼らないでください。また、しっかりと貼ってからセットしてください。

## 万一、異常が発生したとき

### ⚠警告

感電

・万一、本製品から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生した場合は、ただちにパソコン本体の電源スイッチ（主電源スイッチなど）を切り、その後必ず AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。バッテリパックを装着している場合は、バッテリパックも取り外してください。
異常な現象がなくなるのを確認して「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。
異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

感電

・異物（金属片・液体など）がパソコン本体の内部に入った場合は、ただちにパソコン本体の電源スイッチ（主電源スイッチなど）を切り、AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。バッテリパックを装着している場合は、バッテリパックも取り外してください。
その後、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

感電

・本製品を落としたり、カバーなどを破損した場合は、パソコン本体の電源スイッチ（主電源スイッチなど）を切り、AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。バッテリパックを装着している場合は、バッテリパックも取り外してください。
その後、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

## 本体・周辺機器の取り扱いについて

### ⚠警告

事故

・自動車などを運転中に使用しないでください。
安全走行を損ない、事故の原因となります。車を安全なところに止めてからお使いください。

感電

・AC アダプタは、家庭用電源（AC100V）に接続してください。
また、タコ足配線をしないでください。
感電・火災の原因となります。

感電

・濡れた手で AC アダプタを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

感電

・AC アダプタやコネクタの金属部分に手を触れないでください。
感電の原因となります。

発火

・AC アダプタの電極、およびコンセントの差し込み口にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。
そのまま使用すると、火災の原因となります。

感電

・AC アダプタの電源ケーブルが傷んだときや、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

感電

・AC アダプタの電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。
重いものを乗せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源ケーブルを傷め、感電・火災の原因となります。

感電

・本製品をお客様ご自身で分解・改造しないでください。
感電・火災の原因となります。

感電

・液晶ディスプレイに何も表示できないなどの故障状態では、本製品を使用しないでください。故障の修理は「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

感電

・パソコン本体の各スロットやカバーは、バッテリ交換や周辺機器の取り付けなど、必要な場合を除いて取り外さないでください。
内部の点検、修理は「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

感電

・台所など、湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所で本製品を使用しないでください。感電・火災の原因となります。

感電

・風呂場、シャワー室など、水のかかる場所で本製品を使用しないでください。感電・火災の原因となります。

感電

・本製品に水をかけたり、濡らしたりしないでください。
感電・火災の原因となります。

感電

・本製品の上または近くに「花びん・植木鉢・コップ」などの水が入った容器や、「クリップ・ピン」などの金属物を置かないでください。
感電・火災の原因となります。

感電

・開口部（各スロットなど）からパソコン本体内部に、金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
感電・火災の原因となります。

誤飲

・取り外したカバー、キャップ、ネジなどの小さな部品は、小さなお子様が誤って飲み込むと窒息の原因となります。保護者の方は、小さなお子様の手の届かないところに置くように注意してください。
万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

感電

・近くで雷が起きたときは、パソコン本体の電源スイッチ（主電源スイッチなど）を切り、その後 AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜き、モジュラーケーブルやアンテナケーブルをコネクタから抜いてください。
そのまま使用すると、雷によっては本製品を破壊し、感電・火災の原因となります。
また、安全のため避雷器の設置をお勧めします。
ただし、避雷器の許容値を越えた非常に大きな雷を受けた場合には、避雷器を用いても装置を保護できないことがありますので、ご了承ください。

感電

・近くで落雷のおそれがある場合は、すべての接続作業を中止してください。落雷による感電のおそれがあります。

感電

・周辺機器の取り付けや取り外しを行う場合は、パソコン本体および接続されている機器の電源スイッチ（主電源スイッチなど）を切り、AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。
感電の原因となります。

感電

・周辺機器を接続する場合には、弊社純正品をお使いください。
弊社純正品以外の機器を使用すると、感電、火災または故障の原因となります。

感電

・バッテリの交換などで、バッテリパックの取り付けや取り外しを行う場合は、誤って落下させるなど、強い衝撃を与えないでください。また、安全を考慮し、強い衝撃を与えたバッテリパックは使用しないでください。
感電や火災、破裂の原因になります。

# ⚠注意

発火

・指定外の AC アダプタ、電源ケーブルは使用しないでください。
また、添付の AC アダプタ、電源ケーブルを他の製品に使用しないでください。
火災、けがの原因となることがあります。

発火

・AC アダプタは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。
火災・故障の原因となることがあります。

感電

・AC アダプタの電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源ケーブルを引っ張ると、電源ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。

けが

・振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。
倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

けが

・本製品の上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。
バランスが崩れて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

発火

・直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。
高熱によってカバーなどが加熱・変形・溶解する原因となったり、パソコン本体内部が高温になり、火災の原因となることがあります。

発火

・排気孔などをふさがないでください。
排気孔などをふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

発火

・使用中のパソコン本体や AC アダプタなどは、布などでおおったり、包んだりしないでください。
熱がこもり、火災の原因となることがあります。

感電

・本製品を移動する場合は、必ず AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意して行ってください。
AC アダプタの電源ケーブルが傷つき、感電・火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

感電

- 本製品を長期間使用しないときは、安全のため必ず AC アダプタをコンセントおよび本製品から抜いてください。バッテリパックを取り外せる機種では、バッテリパックも取り外してください。感電・火災の原因となることがあります。

けが

- 液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で 15 分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で 15 分以上洗浄したあと、医師に相談してください。
液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。

けが

- フロッピーディスクをセットするとき、および取り出すときには、ドライブの差し込み口に指などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。

けが

- CD または DVD をセットするとき、および取り出すときには、トレーに指などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。

けが

- PC カードをセットするとき、および取り出すときには、PC カードスロットに指などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。

高温

- PC カードの使用終了直後は、PC カードが高温になっていることがあります。PC カードを取り出すときは、使用後しばらく待ってから取り出してください。
火傷の原因となることがあります。

けが

- バッテリはショートさせたり、加熱したり、分解したり、落下などで衝撃を与えたり、火や水の中に入れたりしないでください。
バッテリの破裂、液もれにより、火災・けが・周囲を汚す原因となることがあります。

けが

- 本製品を長期間使用しない場合には、バッテリパックを取り外しておいてください。バッテリから液がもれることがあります。もし、バッテリから液がもれた場合は、バッテリ取付け部に付いた液をよく拭き取ってから、新しいバッテリパックを取り付けてください。また、もれた液が皮膚についたときは、水でよく洗い流してください。
火災・けが・周囲を汚す原因となることがあります。

## ワイヤレス LAN 機能内蔵パソコンの取り扱いについて

### ⚠警告

事故

- 病院内や医用電気機器のある場所ではワイヤレス LAN 機能を OFF にしてください。特に手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。ワイヤレス LAN 機能からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

ペースメーカー誤作動

- 心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離してください。電波によりペースメーカーの作動に影響を及ぼすことがあります。

ペースメーカー誤作動

- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるので、ワイヤレス LAN 機能を OFF にしてください。電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

事故

・航空機内ではワイヤレス LAN 機能を OFF にしてください。運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

事故

・自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くでは使用しないでください。ワイヤレス LAN 機能からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

感電

・絶対に分解や修理・改造をしないでください。内部に触ると感電の原因になります。

爆発

・引火性ガスの発生する場所ではワイヤレス LAN 機能を OFF にしてください。
爆発や火災の原因になります。

## 乾電池について

### ⚠危険

指示

・電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明など障害のおそれがありますので、こすらずに水道水などの多量のきれいな水で充分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。

### ⚠警告

発火

・充電式に作られていない乾電池を充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。
・乾電池を入れる場合、＋（プラス）と－（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
・指定以外の乾電池は使用しないでください。また、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
・乾電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

### ⚠注意

故障

・長時間使用しないときは、乾電池の液漏れを防ぐため、乾電池を取り出しておいてください。万一液漏れした場合は、水に浸した布を硬く絞って金具、周囲を清掃し、その後、乾いた布で水分をよく拭き取ってください。
・電池から漏れた液が体についたときは、水でよく洗い流してください。また目や口に入ったときは、水でよく洗い流した後、ただちに医師の診断を受けてください。
・電池ボックスの端子をショートさせないでください。
・寿命がなくなった乾電池はすぐに取り出してください。
放置すると、腐食により装置を傷めることがあります。

破裂

・充電式に作られていない乾電池を充電しないでください。充電すると絶縁物や内部構造などを損傷させたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。

感電

・電池に直接はんだ付けをしないでください。熱により絶縁物や安全弁などを損傷させたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。

故障

・電池は、直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。
電池を漏液させるおそれがあります。また、電池の性能や寿命を低下させることがあります。

## レーザーの安全性について

本製品に搭載されている CD/DVD ドライブは、レーザーを使用しています。

**クラス 1 レーザー製品**

CD/DVD ドライブは、クラス 1 レーザー製品について規定している米国の保険福祉省（DHHS）連邦規則（21 CFR Chapter I, Subchapter J）に準拠しています。また、クラス 1 レーザー製品の国際規格である（IEC 60825-1）、CENELEC 規格（EN60825-1:1994+A11+A2:2001）および、JIS 規格（JISC6802）に準拠しています。

### ⚠警告

レーザー光

・お客様自身で分解したり、修理・改造しないでください。
本装置は、レーザー光線を遮断する安全な構造になっていますが、分解したり修理・改造したことで、レーザー光線が装置外にもれて目に照射され、視力障害の原因になることがあります。

レーザー光

・本装置は、レーザー光線を装置カバーで遮断する安全な構造になっていますが、万一の故障で装置カバーが破損してレーザー光線が装置外にもれた場合は、レーザー光線をのぞきこまないでください。レーザー光線が目に照射されると視力障害の原因になることがあります。

## その他

### ⚠警告

窒息

・梱包に使用している袋類は、お子様の手の届くところに置かないでください。
口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因となります。

誤飲

・電池を取り外した場合は、小さなお子様が電池を誤って飲むことがないように、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。
万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

# ⚠注意

腰痛・腱鞘炎

・本製品を無理な姿勢で長時間使い続けると、腰痛や腱鞘炎の原因となることがあります。以下に示すような正しい姿勢で使用し、1 時間に 10 分間以上休憩をとってください。
いすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
いすの高さを、足の裏全体がつく高さに調節する。
ひじは 90 度以上に伸ばして操作する。

目の障害

・液晶ディスプレイを長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」等の目の傷害の原因となることがあります。1 時間に 10 分間以上の休憩をとってください。また、なるべく画面を下向きに見る位置にする、意識的にまばたきをする、場合によっては目薬をさすなどしてください。

聴力障害

・ヘッドホンなどをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

聴力障害

・ヘッドホンなどをしたまま電源スイッチ（主電源スイッチなど）を入れたり切ったりしないでください。刺激音により聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

破　裂

・本製品またはバッテリパックを廃棄する場合は、他のゴミと一緒に捨てないでください。
本製品はリチウム電池を、またバッテリパックはリチウムイオン電池またはニッケル水素電池を使用しており、火中に投じると破裂のおそれがあります。

故　障

・本製品の操作に必要のない箇所を押したり､本製品に必要以上の力を加えたりしないでください。
誤動作の原因となることがあります。

発　火

・本装置は連続動作（24 時間動作）を目的に設計されておりません。安全のため、ご使用にならないときは電源を切ってください。火災の原因となることがあります。

**この本で見つからない情報は、「画面で見るマニュアル」で！**

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→
「富士通サービスアシスタント（マニュアル＆サポート）」の「画面で見るマニュアル」

# 目次

Memo

1

## 第 1 章

# 使い始める前に

最初に確認していただきたいことと、使用上の注意事項などを説明しています。

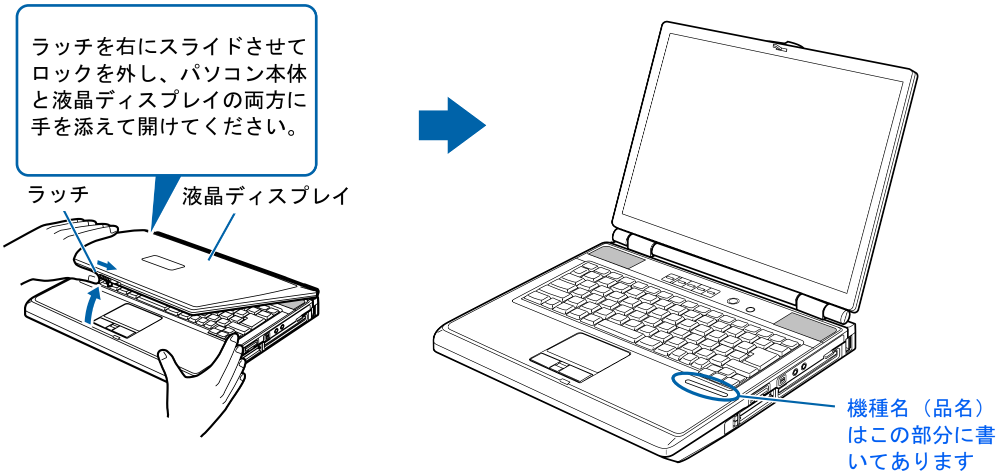
# 1　確認してください

最初に確認していただきたいことを説明します。

## 機種名を確認してください

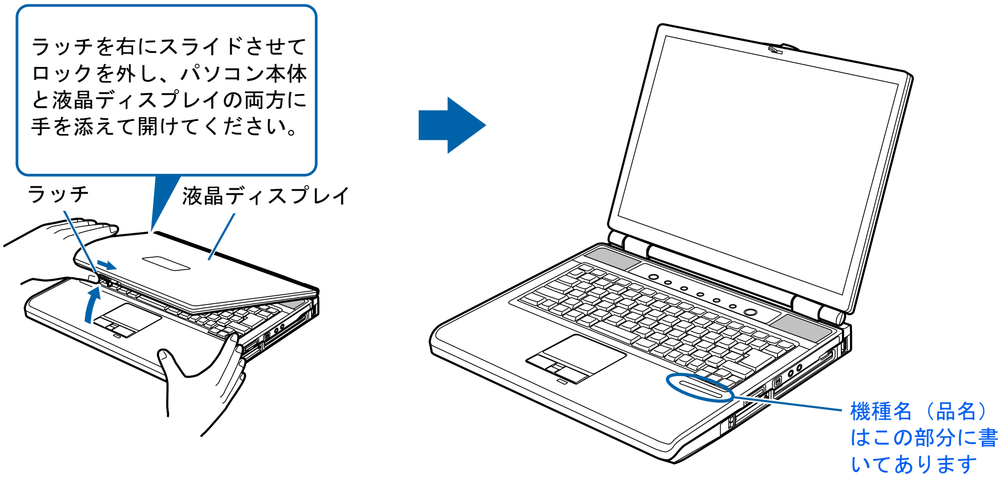
お使いの機種によって、マニュアルを読む箇所が異なります。お使いのパソコンの機種名（品名）を確認しましょう。

### ■NB90K/TS, NB90K/T, NB75K/T, NB55K/T, NB80K, NB75K, NB55K, NB90KN/T, NB80KN の場合




（イラストは機種や状況により異なります）

### ■NB50K, NB50KN の場合




（イラストは機種や状況により異なります）

# 添付品がすべて揃っているか確認してください

「箱の中身を確認してください」をご覧になり、添付品をもう一度ご確認ください。
ご購入後 1ヶ月以内のハードウェアトラブルや添付品の不足に関するお問い合わせは、「富士通パソコン診断センター」にご連絡ください。1ヶ月を過ぎると、有料となる場合やご提供できないものもありますのであらかじめご了承ください。富士通パソコン診断センターについては、「箱の中身を確認してください」裏面をご覧ください。


箱の中身を確認してください
1. 本体の箱で機種名(品名)を確認してください
2. 添付品が揃っているか確認してください
3. 裏面の「使用許諾契約書」、「富士通パソコン診断センター」の記載を必ずお読みください
4. 添付品の確認が終わったら、『パソコンの準備』をお読みください

（機種により若干異なります）

# 2 使用上のお願い

パソコンを設置するのに適した場所や適さない場所、使用上の注意について説明します。

## 使用および設置に適した場所

- 机の上など平らで安定した場所
- パソコン本体と同じくらいの高さで、操作に十分なスペースが取れる場所
- 本体と壁の間に 10cm 以上のすき間をあけられる場所
- コンセントから直接電源をとれる場所
- インターネットに接続するときは、接続ケーブルが届く場所
- TV チューナー内蔵機種の場合、テレビを見たり、録画したりするときはテレビアンテナの近くに置ける場所

## 使用および設置に適さない場所

- 極端に高温または低温になる場所
- 結露する場所
- 直射日光の当たる場所
- 衝撃や振動の加わる場所
- 磁石や磁気ブレスレットなど磁気を発生するものの近く
- ほこりの多い場所
- 水など液体のかかる場所
- 湿度の高い場所
- 安定の悪い場所
- 発熱器具の近くや、腐食性のガスなどが発生する場所
- ワイヤレス LAN 搭載モデルの場合、周囲が金属などの導体（電気を通しやすいもの）でできている場所

**POINT**

- 本製品の使用環境は、温度 5 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、温度 -10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（非動作時）です。
- 結露は、空気中の水分が水滴になる現象です。温度の低い場所（クーラーの効いた場所、寒い屋外など）から、温度の高い場所（暖かい室内、炎天下の屋外など）へ移動した時に起こります。結露が発生すると故障の原因となりますので、ご注意ください。
- 本製品のそばで喫煙をすると、タバコのヤニや煙がパソコン内部に入り、CPU ファンなどの機能を低下させる可能性がありますので、ご注意ください。

# パソコン本体取り扱い上の注意

- 衝撃や振動を与えないでください。
- 分解しないでください。
- 電源を入れたまま（スタンバイ中を含む）の状態で持ち運ばないでください。
- 吸気孔（••▶P.86）、排気孔（••▶P.82、P.86）はふさがないでください。パソコン内部に熱がこもり、故障の原因となります。
- 排気孔（••▶P.82、P.86）の近くに物を置かないでください。排気孔からの熱で、排気孔の近くに置かれた物が熱くなることがあります。
- 排気孔からは熱風が出ています。排気孔付近には手を触れないでください。
- パソコン本体内部からは、パソコン本体内部の熱を外に逃がすためのファンの音や、ハードディスクドライブがデータを書き込む音、CD/DVD が回転する音などが聞こえることがあります。これらは故障ではありません。
- 磁石や磁気ブレスレットなど、磁気の発生するものを近付けないでください。保存しているデータが消えてしまうおそれがあります。
- ひざの上など直接肌に触れた状態では、長時間使用しないでください。使用中、本パソコンの底面が熱くなり、低温やけどを起こす可能性があります。
- 使用するソフトウェアによっては、パームレスト部（手をのせる部分）が多少熱く感じられることがあります。長時間使用する場合には低温やけどを起こす可能性がありますので、ご注意ください。
- ワイヤレス LAN 搭載モデルの場合
  ワイヤレス LAN 機器が発信する電波は、携帯電話の電波と同じように電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では、ワイヤレス LAN 機能を停止してください。
  病院内、電車内、航空機内など／引火性ガスの発生する場所／自動ドアや火災報知器の近く／その他、使用規制のある場所など

# 放熱について

- AC アダプタは堅い机の上などに置くようにしてください。ふとんの上など熱がこもりやすい場所に置くと、AC アダプタ表面が高温になることがあります。
- 電源が入っているときは、キーボードの上に書類などのおおいかぶさる物を置かないでください。パソコン本体の放熱が妨げられ、故障の原因になります。
- 埃の多い環境では使用しないでください。ファンに埃が詰まり、放熱が妨げられ、故障の原因となる場合があります。
- パソコンを長時間お使いになると熱く感じることがありますが、これは故障ではありません。
- 装置下面の吸気孔の表面にほこりがたまっている場合には取り除いてください。
- 電源が入っているときに液晶ディスプレイを閉じてもスタンバイしない設定にした場合は、パソコンの液晶ディスプレイを閉じないでください。パソコン本体の放熱が妨げられ、故障の原因となります（ご購入時の設定では、電源が入っているときに閉じてもかまいません）。

## 落雷の恐れがあるときの注意

落雷の可能性がある場合は、パソコンの電源スイッチを切るだけでなく、すべてのケーブル類を抜いておくことをお勧めします。
落雷には、直撃雷と誘導雷の２種類ありますが、パソコンの故障は主に誘導雷によって起こります。雷により周囲に強力な電磁場ができると発生し、電線や電話線などから侵入するのが誘導雷です。パソコンの場合、電源ケーブル、テレビのアンテナ線、外部機器との接続ケーブル、電話線（モジュラーケーブル）、LAN ケーブルなどからの誘導雷の侵入が考えられます。直撃雷は避雷針によって雷を誘導して対象物を保護できますが、誘導雷を防ぐにはケーブル類を抜くなどの対策が必要です。
場合によっては、パソコン本体だけでなく、周辺機器などが故障することもあります。故障の状況によっては、修理費用が高額になることもあるので、ご注意ください。

## パソコンを持ち運ぶときは

- パソコンの電源を切ってください。
- 接続しているケーブルなどをすべて取り外してください。接続したまま持ち運ぶとケーブルや本体のコネクタを破損するおそれがあります。
- パソコン本体に PC カードをセットしている場合は、必ず PC カードを取り外してください。PC カードを取り付けたまま持ち運ぶとパソコンや PC カードを破損するおそれがあります。
- 液晶ディスプレイを閉じてください。
- パソコン本体を持ち上げたり移動させたりするときは、両手でつかんでください。
- フロッピーディスクドライブ内蔵機種の場合、フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクがセットされていないことを確認してください。
- パソコンをかばんの中などに入れて携帯する場合は、パソコン本体背面を下側に、ラッチを上側にして、かばんに入れてください。

## 液晶ディスプレイのお手入れ

- 液晶ディスプレイの汚れは、乾いた柔らかい布かメガネ拭きで軽く拭き取ってください。
- 液晶ディスプレイの表面を固いものでこすったり、強く押しつけたりしないでください。液晶ディスプレイが破損するおそれがあります。
- 液晶部分を拭くときは、必ずから拭きをしてください。
水や中性洗剤を使うと、液晶部分を傷めるおそれがあります。
- 化学ぞうきんや市販クリーナーは以下の成分を含んだものがあり、画面の表面コーティングを傷つける場合がありますので、ご使用を避けてください。
  - アルカリ性成分を含んだもの
  - 界面活性剤を含んだもの
  - アルコール成分を含んだもの
  - シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
  - 研磨剤を含むもの

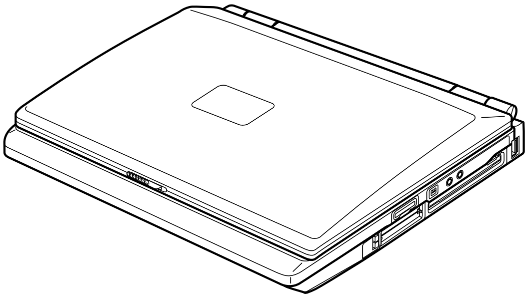
# 3 必要なものを揃える

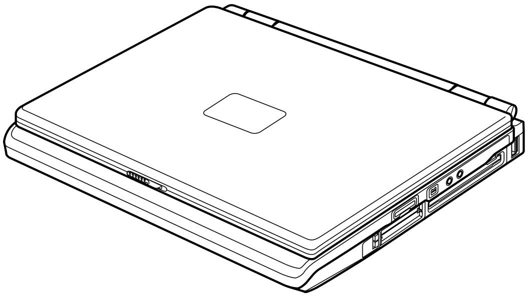
必要なものをあらかじめ揃えてから、第 2 章へ進みましょう。

### ■パソコン本体

・NB90K/TS, NB90K/T, NB75K/T, NB55K/T, NB80K, NB75K, NB55K, NB90KN/T, NB80KN の場合

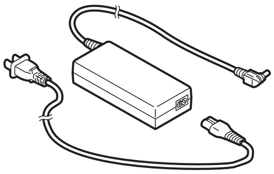
・NB50K, NB50KN の場合





（イラストは機種や状況により異なります）

### ■AC アダプタと AC ケーブル



### ■保証書



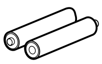
梱包箱に貼り付けられています。

NB90K/TS, NB90K/T, NB75K/T, NB55K/T, NB90KN/T の場合のみ、次のものもあらかじめ揃えてから、第 2 章へ進んでください。

### ■リモコン

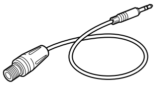


### ■単 3 マンガン乾電池× 2

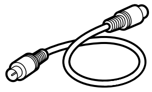


次のページへ

■RF 変換ケーブル



■アンテナケーブル
（別売）



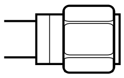
重要

**アンテナケーブル類は添付されていません**

アンテナケーブル、変換コネクタ、V/U ミキサ、中継コネクタなどは添付されていません。市販のものをご購入ください。また、ケーブルは適切な長さのものをご購入ください。
アンテナ設置については、最寄りの電器店にお問い合わせください。

**ネジ式の F 型コネクタプラグをお使いください**

アンテナケーブルは、ノイズの影響を受けにくいネジ式の F 型コネクタプラグのご使用をお勧めします。F 型コネクタプラグの取り付け方については、F 型コネクタプラグのマニュアルをご覧になるか、電器店にお問合せください。



F 型コネクタプラグ

**F 型コネクタプラグ以外で接続する場合は、次の点にご注意ください**

ネジ式の F 型コネクタプラグに比べノイズの影響を受けやすいため、映像が乱れることがあります。

続いて、パソコンの接続をしましょう（••▶P.27）。

2

第 2 章

# 接続する

パソコンの接続について説明しています。



## ⚠注意

故 障

・ケーブルは正しく接続してください。誤った接続状態でお使いになると、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となることがあります。

# 1 リモコンを準備する

### NB90K/TS, NB90K/T, NB75K/T, NB55K/T, NB90KN/T の場合のみ

ここでは、リモコンを使用するための準備について説明します。

## リモコンに乾電池を入れる

### ⚠警告

・乾電池を入れる場合、＋（プラス）と－（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

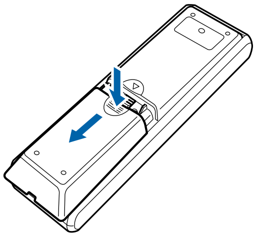
乾電池をお使いになる際は、「乾電池について」（••▶P.13）も必ずご覧ください。

**重要**

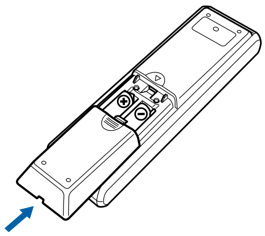
**ご購入時に添付されている乾電池はお早めに交換してください**

ご購入時に添付されている乾電池は初期動作確認用です。すぐに寿命に達する場合がありますので、お早めに新しい乾電池に交換してください。

1. **リモコンを裏返して電池ボックスのふたを開けます。**



2. **乾電池の＋（プラス）と－（マイナス）の向きを確かめてから添付のマンガン乾電池を入れて、電池ボックスのふたを閉めます。**



続いてアンテナケーブルを接続しましょう（••▶P.29）。

# 2 アンテナケーブルを接続する

## NB90K/TS, NB90K/T, NB75K/T, NB55K/T, NB90KN/T の場合のみ

ここでは、RF 変換ケーブルを使用してパソコン本体にアンテナケーブルを接続する方法について説明します。
セットトップボックスなどの外部映像機器を接続する場合は、「準備が完了したら」（••▶P.73）でパソコンの準備がすべて完了した後に、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「８．周辺機器の接続」→「外部映像機器を接続する」をご覧ください。

### 警告

感電

・近くで落雷のおそれがある場合は、すべての接続作業を中止してください。落雷による感電のおそれがあります。

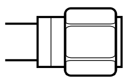
### 重要

**アンテナケーブル類は添付されていません**

アンテナケーブル、変換コネクタ、V/U ミキサ、中継コネクタなどは添付されていません。市販のものをご購入ください。また、ケーブルは適切な長さのものをご購入ください。
アンテナ設置については、最寄りの電器店にお問い合わせください。

**ネジ式の F 型コネクタプラグをお使いください**

アンテナケーブルは、ノイズの影響を受けにくいネジ式の F 型コネクタプラグのご使用をお勧めします。F 型コネクタプラグの取り付け方については、F 型コネクタプラグのマニュアルをご覧になるか、電器店にお問合せください。



F 型コネクタプラグ

**F 型コネクタプラグ以外で接続する場合は、次の点にご注意ください**

ネジ式の F 型コネクタプラグに比べノイズの影響を受けやすいため、映像が乱れることがあります。

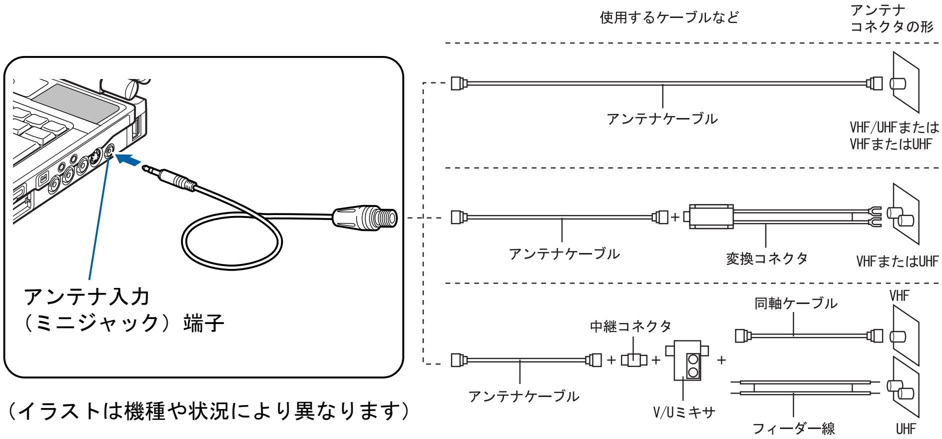
**アンテナケーブルを接続するときはパソコンの電源を切ってください**

パソコンの電源を切ってから、アンテナケーブルを接続してください。

## 1 パソコンの電源が入っている場合は、電源を切ります。

## 2 アンテナケーブルを、RF 変換ケーブルを経由してパソコン本体に接続します。

接続のしかたは、壁のアンテナコネクタの形や、お使いになるケーブルによって異なります。次の図から最も近いものを選択し、必要なケーブル類を接続してください。



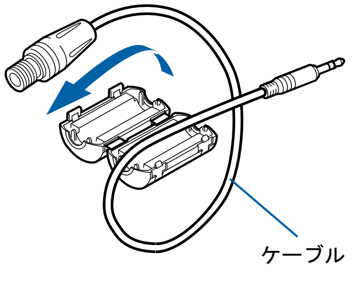

（イラストは機種や状況により異なります）

**POINT**

### テレビの写りが悪いときは

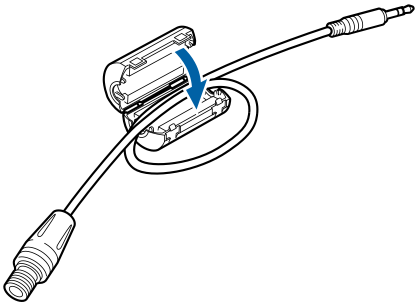
テレビの写りが悪いときは、次のように RF 変換ケーブルに添付のコアを巻き付けると改善される場合があります。

1. パソコンの電源が入っている場合は、電源を切ります。
2. アンテナケーブルを RF 変換ケーブルから外します。
3. RF 変換ケーブルに、コアを取り付けます。
   ケーブルをコアに 1 回巻き付けます。




（これ以降のイラストは実物と異なる場合があります）

4. コアを閉じます。
   コアがケーブルをはさみ込まないように注意してください。
   ケーブルが傷付きます。



5.「アンテナケーブルを接続する」の手順２（••▶P.30）に従って、アンテナケーブルを接続します。

続いて、AC アダプタを接続しましょう（••▶P.32）。

# 3 AC アダプタを接続する

AC アダプタは、差し込み口の形状をよく確認して、奥までしっかりと差し込んでください。

## 警告

感電

・近くで雷が起きたときは、AC ケーブルの電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、パソコンを破壊し、火災の原因となります。

## 注意

故障

・AC アダプタは正しく接続してください。
誤った接続状態でお使いになると、パソコン本体が故障する原因となることがあります。

**POINT**

**AC アダプタは熱くなる場合があります**

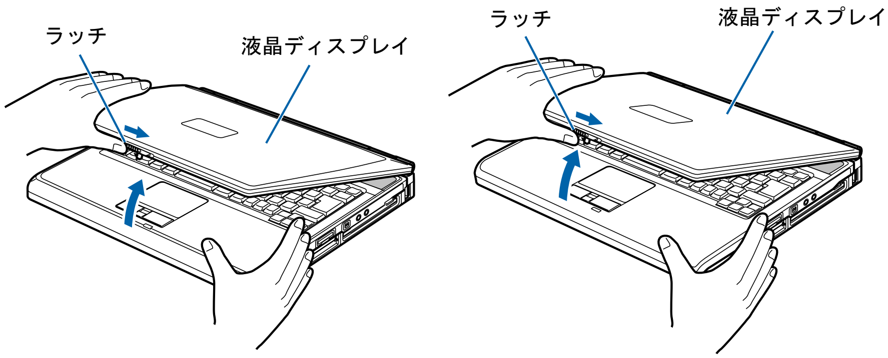
パソコンの使用中は、AC アダプタが熱くなることがありますが、異常ではありません。

### 1 液晶ディスプレイを開きます。

ラッチを右にスライドさせてロックを外し、パソコン本体と液晶ディスプレイの両方に手を添えて開けてください。

■ NB90K/TS, NB90K/T, NB75K/T, NB55K/T, NB80K, NB75K, NB55K, NB90KN/T, NB80KN の場合

■ NB50K, NB50KN の場合



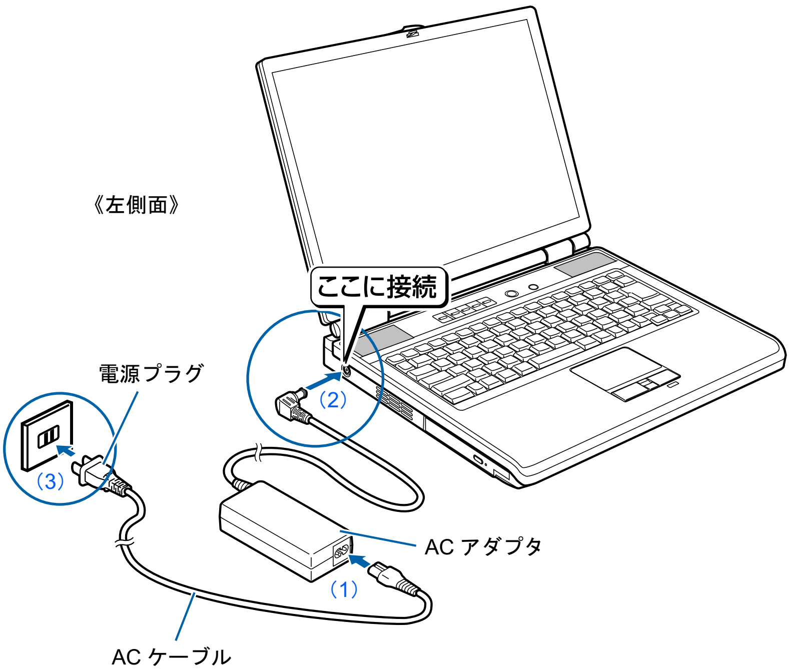

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

### 2 AC アダプタを取り付けます。

AC アダプタに AC ケーブルを接続し（1）、パソコン本体の DC-IN コネクタに接続します（2）。その後、電源プラグをコンセントに接続します（3）。

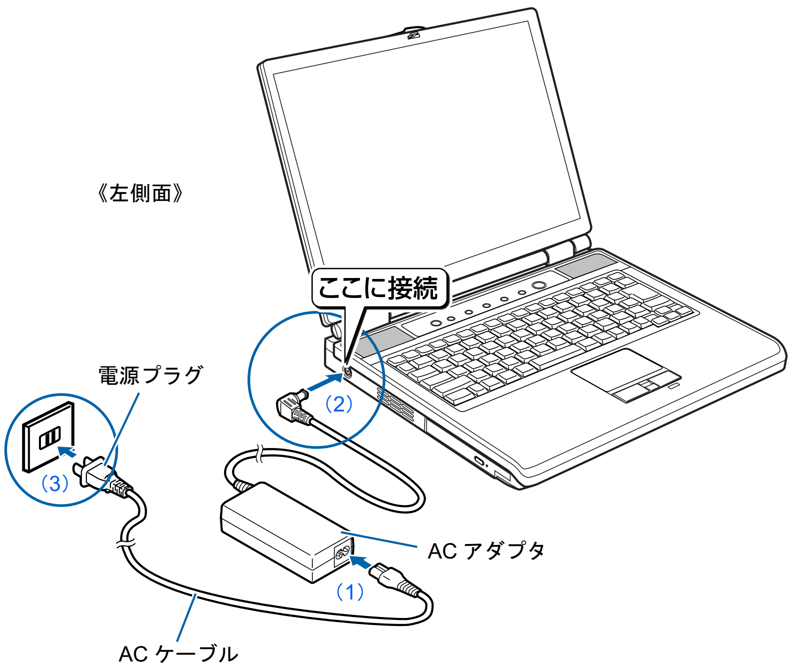
■NB90K/TS, NB90K/T, NB75K/T, NB55K/T, NB80K, NB75K, NB55K, NB90KN/T, NB80KN の場合

正しく接続すると、状態表示 LED の が表示されます。




■NB50K, NB50KN の場合

正しく接続すると、状態表示 LED の が表示されます。




続いて、電源を入れましょう（••▶P.36）。

Memo

3

第 3 章

# パソコンを準備する

初めてパソコンの電源を入れるときに行う準備について説明しています。このマニュアルの手順どおりに進めてください。

# 1　初めて電源を入れる

## 初めて電源を入れる～ Windows のセットアップ

初めて電源を入れるときは、Windows のセットアップという作業が必要です。Windows のセットアップとは、初めてパソコンの電源を入れるときに、1 回だけ行う操作です。このマニュアルの手順どおりに進めてください。この Windows のセットアップが終わらないと、パソコンは使えるようになりません。

### セットアップ時の注意事項

#### セットアップは時間に余裕をもって作業してください

セットアップは半日以上の時間をとり、じっくりと作業することをお勧めいたします。

#### セットアップが終わるまで電源を切らないでください

Windows のセットアップの途中で電源を切ると、Windows が使えなくなる場合があります。セットアップの最後の手順が終わるまでは、電源を切らないでください。もし電源を切って Windows が使えなくなった場合は、『ＦＭＶ 活用ガイド』→「トラブルかなと思ったら」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」→「Q パソコンの電源を入れると、再起動を繰り返す」または「Q パソコンの電源を入れても、Windows が起動しない（メッセージが表示される・音が鳴る他）」をご覧ください。

#### セットアップが終わるまでリモコンは使用しないでください

Windows のセットアップの途中でリモコンを操作すると、Windows のセットアップが途中で終了してしまうことがあります。セットアップが終わるまで、リモコンは使用しないでください。もし電源が切れて Windows が使えなくなった場合には、『ＦＭＶ 活用ガイド』→「トラブルかなと思ったら」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」→「Q パソコンの電源を入れると、再起動を繰り返す」または「Q パソコンの電源を入れても、Windows が起動しない（メッセージが表示される・音が鳴る他）」をご覧ください。

#### しばらく操作しないと

電源を入れた状態でしばらく（約 5 分間）操作しないと、動画（スクリーンセーバー）が表示されたり、画面が真っ暗になったりすることがありますが、電源が切れたわけではありません。これはパソコンの省電力機能が働いている状態です。

フラットポイントの操作面に触れたり、キーボードの【↑】【↓】【←】【→】や【Shift】のどれかを押したりすると、元の画面に戻ります。それでも戻らない場合は、電源ボタン（••▶P.78、P.80）を押してください（4 秒以上押し続けないでください。パソコンの電源が切れてしまいます）。

#### セットアップ前には、LAN ケーブル、モジュラーケーブル、ターミナルアダプタ（TA）を接続しないでください

LAN ケーブル、モジュラーケーブル、ターミナルアダプタ（TA）などが接続されていると、初めて電源を入れてから行う操作（Windows のセットアップ）の途中でパソコンが動かなくなってしまうことがあります。Windows のセットアップが終わった後で、接続してください。

## セットアップ前には周辺機器は接続しないでください

プリンタなどの周辺機器が接続されていると、初めて電源を入れてから行う操作（Windows のセットアップ）の途中でパソコンが動かなくなってしまうことがあります。Windows のセットアップが終わった後で、周辺機器のマニュアルをご覧になり、接続してください。



## Windows のセットアップを始めましょう。

「Windows のセットアップ」とは、次の 3 つの作業のことです。合計 27 手順あります。

**1**「Windows の設定」‥▶手順 1 ～ 13

**2**「必ず実行してください」の実行‥▶手順 14 ～ 22

**3**「サービスアシスタントの起動・終了方法」‥▶手順 23 ～ 27

ページの右端にセットアップの進行状況を示していますので参考にしてください。

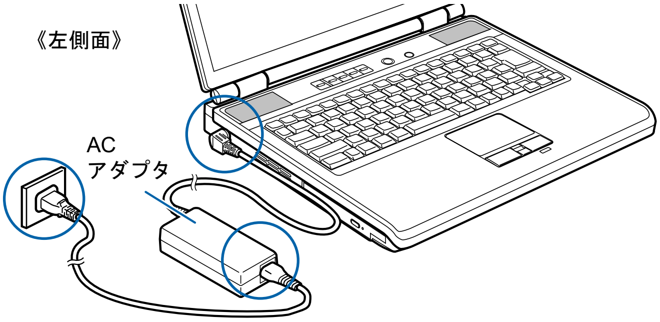
## Windows の設定

### 1 AC アダプタがきちんと接続されているか、確認します。

念のため、AC アダプタをもう一度お確かめください。

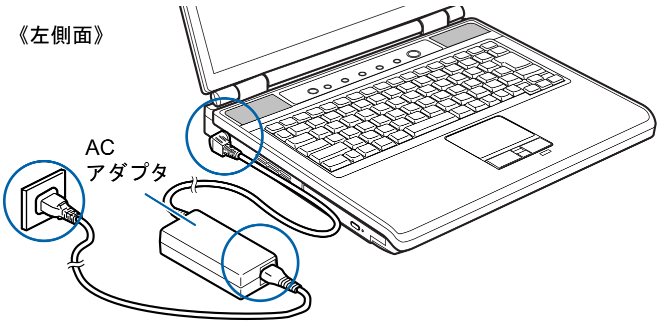
■ NB90K/TS, NB90K/T, NB75K/T, NB55K/T, NB80K, NB75K, NB55K, NB90KN/T, NB80KN の場合

正しく接続すると、状態表示 LED の が表示されます。




■ NB50K, NB50KN の場合

正しく接続すると、状態表示 LED の が表示されます。

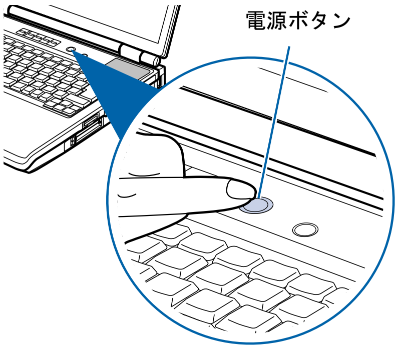



（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

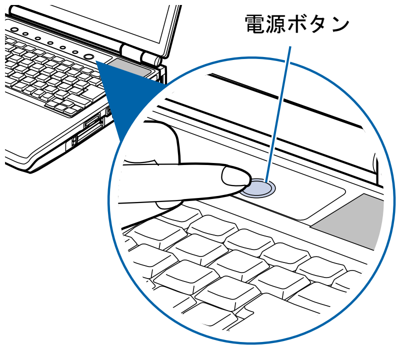
## 2 電源を入れます。

電源ボタンを押します。

■ NB90K/TS, NB90K/T, NB75K/T, NB55K/T, NB80K, NB75K, NB55K, NB90KN/T, NB80KN の場合




■ NB50K, NB50KN の場合



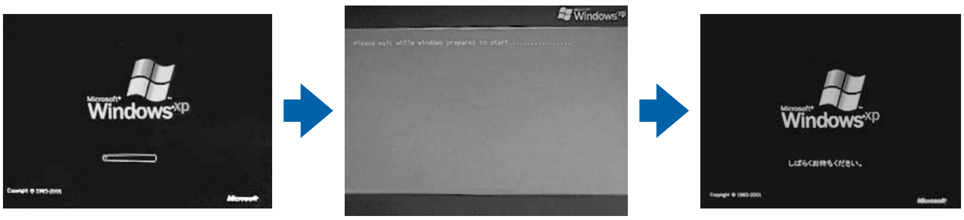

**重要**

**電源ボタンは 4 秒以上押さないでください**

電源ボタンを 4 秒以上押し続けると、パソコンの電源が切れてしまいます。

## 3 そのまましばらくお待ちください。

電源を入れると、次のような画面が表示されます。



注：画面は Windows XP Home Edition のものです。Windows XP Professional の場合は、一部表示が異なります。

パソコンが再起動します。

この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。

**手順 4 の画面が表示されるまで、電源を切らずにそのままお待ちください。**

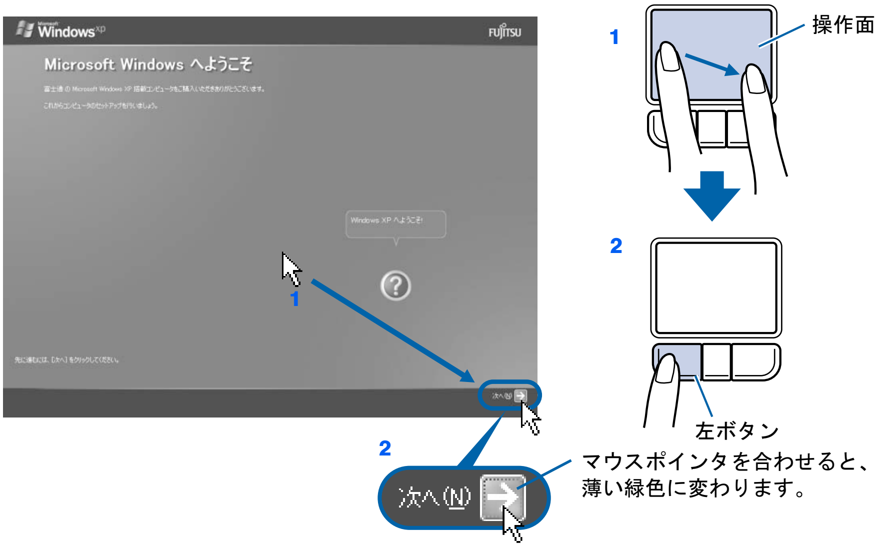
途中で電源を切ると、Windows が使えなくなる場合があります。

もし電源を切って Windows が使えなくなった場合は、『FMV 活用ガイド』→「トラブルかなと思ったら」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」→「Q パソコンの電源を入れると、再起動を繰り返す」または「Q パソコンの電源を入れても、Windows が起動しない（メッセージが表示される・音が鳴る他）」をご覧ください。

電源を切らずに次のページへ

## 4 1 画面上の を「次へ」の右の に合わせ、2 フラットポイントの左ボタンを軽くカチッと 1 回押して、すぐ離します。

指先で、フラットポイントの操作面をなぞると、指の動きに合わせて、(マウスポインタ)が画面の上を動きます。
2 の操作のことを、「クリック」といいます。




**POINT**

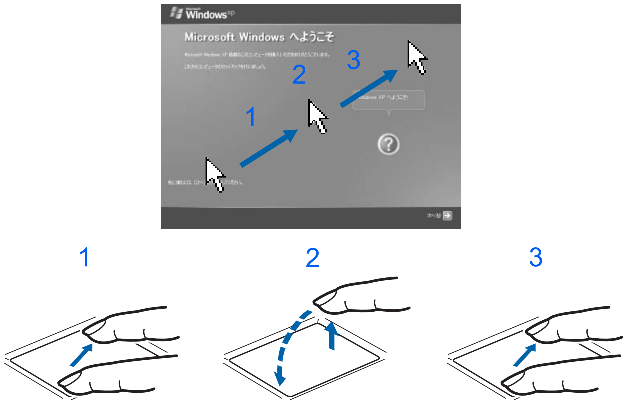
**キーボードやフラットポイントで操作できない場合**

キーボードやフラットポイントが効かなくなった場合は、「使用上のお願い」（••▶P.22）をご覧になり、パソコンを設置している環境を確認してください。
それでも操作できない場合は、次の手順に従ってパソコンの電源を入れ直してください。

1. 本体前面の電源ボタンを 4 秒以上押して電源を切ります。
2. 10 秒以上たってから、電源ボタンを押して電源を入れます。

**指が操作面の端まできたら**

いったん操作面から指を離して、もう一度別の位置からなぞってください。指を離してもマウスポインタは動きません。



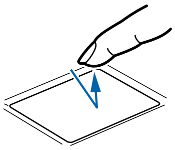

指を離している間はマウスポインタは動きません。

**ボタンは軽く押すだけで OK!**

フラットポイントのボタンは力を入れて押す必要はありません。カチッと 1 回押したら、すぐ指を離すようにします。

**操作面を軽くたたいても、クリックになります**

フラットポイントは、操作面を軽くたたいてもクリックができます。操作面に指をのせるときに、間違ってクリックしないように注意してください。



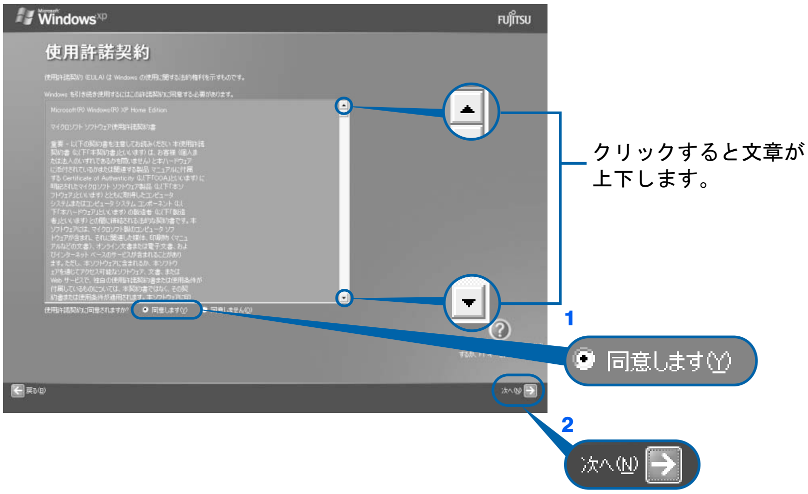
**うまくクリックできない場合**

なるべくボタンの中央部分を押すようにしてください。また、ボタンを押すときや離すときに、の位置がずれないように、気を付けてください。



電源を切らずに次のページへ

## 5 1 Windows の使用許諾契約書の内容をご覧になり、ご同意いただけるときは「同意します」をクリックして◉にし、2「次へ」の右の➡をクリックします。




注 : 画面は Windows XP Home Edition のものです。Windows XP Professional の場合は、一部表示が異なります。

次の画面が表示されるまで、少し時間がかかることがありますが、そのままお待ちください。

**重要**

**「同意しません」をクリックした場合**

「続ける前に…」という画面が表示されます。使用許諾契約書にご同意いただけないと、このパソコンはお使いになれません。
手順 5 の画面に戻るには、表示された画面で「戻る」の左の⬅をクリックしてください。

## 6 1「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます」をクリックして◉にし、2「次へ」の右の➡をクリックします。



## 7 「次へ」の右の をクリックします。

表示されているコンピュータの名前は、ここでは変更しません。コンピュータの名前は後から変更できます。詳しくは、Windows のセットアップがすべて完了したあと、Windows のヘルプを表示して「コンピュータ名」で検索し、「コンピュータ名を変更する」をご覧ください。




次の画面が表示されるまでお待ちください。

手順 8、9 の画面は Windows XP Professional の場合のみ表示されます。Windows XP Home Edition の場合は表示されませんので、手順 10 へ進んでください。

## 8 「次へ」の右の をクリックします。

ここでは何も入力しません。管理者パスワードは後から設定できます。詳しくは、Windows のセットアップがすべて完了したあと、Windows のヘルプを表示して「パスワード」で検索し、「ユーザーのパスワードを変更する」をご覧ください。

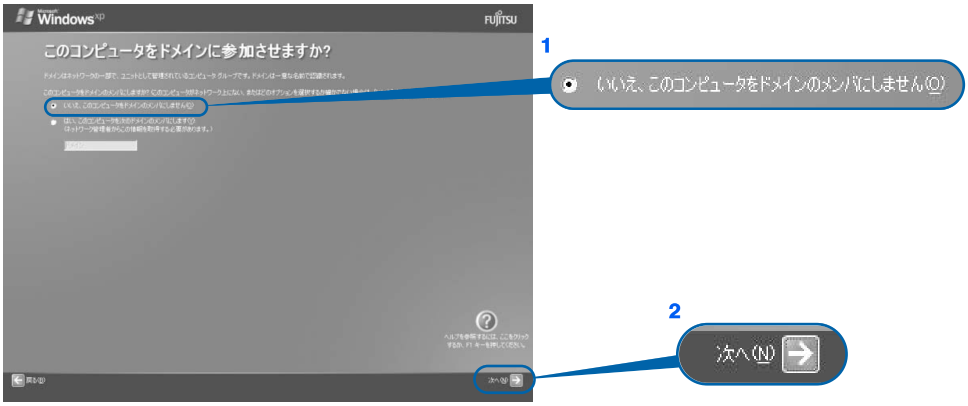





電源を切らずに次のページへ

## 9 1「いいえ、このコンピュータをドメインのメンバにしません」の左が◉になっていることを確認し、2「次へ」の右の➡をクリックします。

ドメインの設定は後から行えます。詳しくは、Windows のセットアップがすべて完了したあと、Windows のヘルプを表示して「ドメイン」で検索し、「ドメインに参加する」をご覧ください。




## 10 「省略」の右の⏩をクリックします。



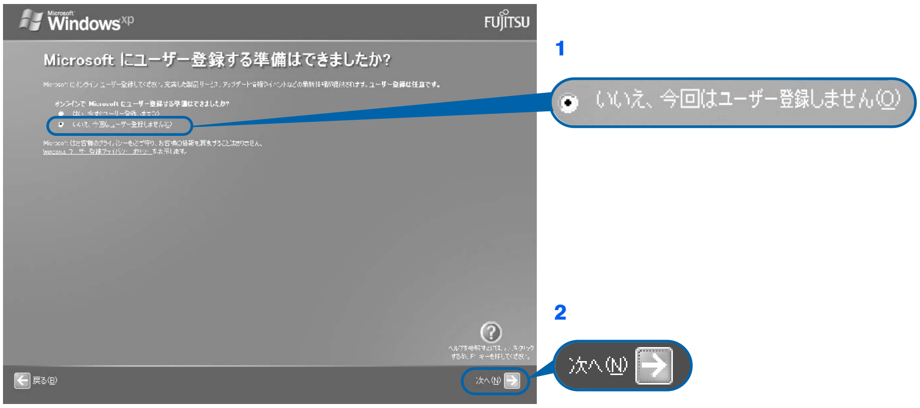

**POINT**

**「インターネット接続が選択されませんでした」という画面が表示された**

この画面が表示されたら、必ず画面右下の「次へ」の右の➡をクリックして、手順 11 へ進んでください。

インターネット接続の設定は、セットアップが最後まで終わってから実施してください。設定方法については、「インターネットを始めるための準備をする」（••▶P.61）をご覧ください。

**11** **1「いいえ、今回はユーザー登録しません」をクリックして◉にし、2「次へ」の右の➡をクリックします。**




**POINT**

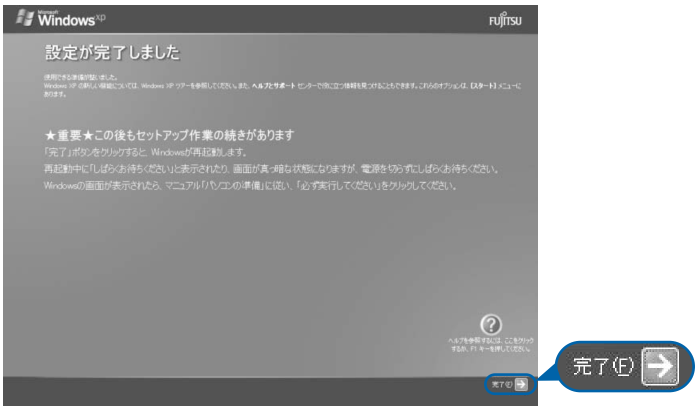
**「はい、今すぐユーザー登録します」を選択して進んでしまった場合**

「ユーザー登録情報を入力してください」という画面で「戻る」の左の⬅をクリックして、手順 11 からやり直します。

**「今すぐインターネットアクセスのセットアップを行いますか？」という画面が表示された場合**

「いいえ、今回はインターネットに接続しません」をクリックして◉にし、「次へ」の右の➡をクリックします。

**12** **画面に表示されているメッセージを確認してから、「完了」の右の➡をクリックします。**




パソコンが再起動します。

次の画面が表示されるまで、少し時間がかかることがありますが、そのままお待ちください。

電源を切らずに次のページへ

## 13 そのまましばらくお待ちください。

パソコンが再起動すると、次のような画面が表示されます。

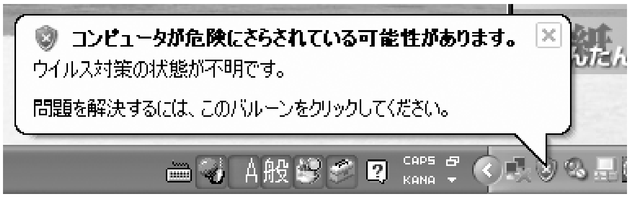



続いて、「必ず実行してください」を実行します（▶P.47）。

POINT

**画面の通知領域に「コンピュータが危険にさらされている可能性があります」と表示されたら**

まだウイルス対策ソフトの設定が終わっていないため表示される場合があります。
このような場合は、この後手順どおりに進み、「ウイルス対策ソフトの設定」（▶P.63）をご覧になって設定すると表示されなくなります。



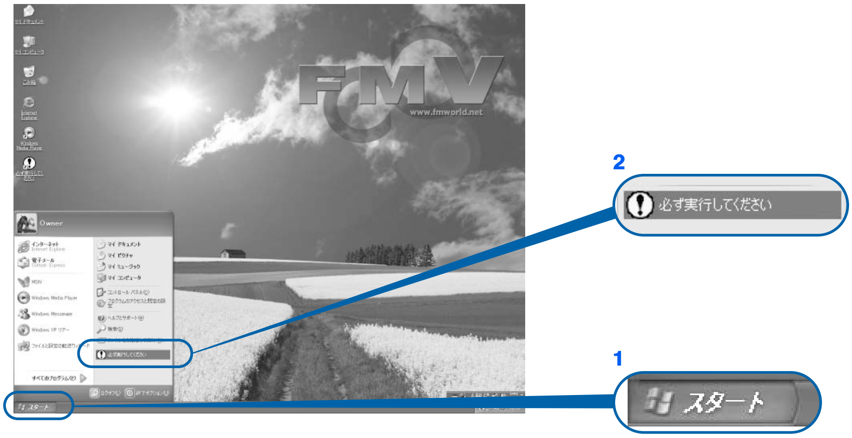

**Windows 起動時、または終了時の画面について**

Windows 起動時、または終了時に、画面左上が白くぼやけて見えるときがあります。
これは画面のデザインであり故障ではありません。

## 「必ず実行してください」の実行

**14** **1「スタート」ボタン→2 必ず実行してください の順にクリックします。**

必ず実行してください は、パソコンの初期設定を行うプログラムです。以降の手順は最後まで必ず実行してください。実行しないと、いくつかの機能がお使いになれません。



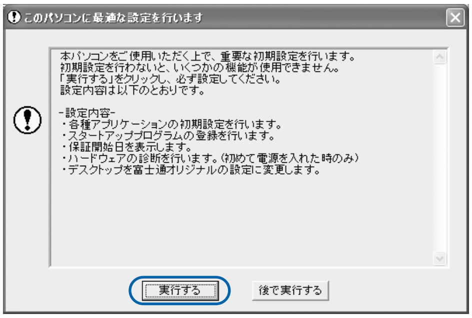

（これ以降の画面は状況により異なります）

**POINT**

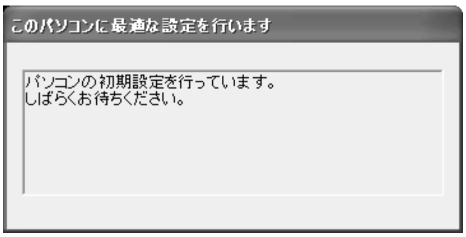
**画面にある（必ず実行してください）をクリックしても実行できます**

1. 画面の をクリックします。
この後は手順 15 に進んでください。

**15** **「実行する」をクリックします。**



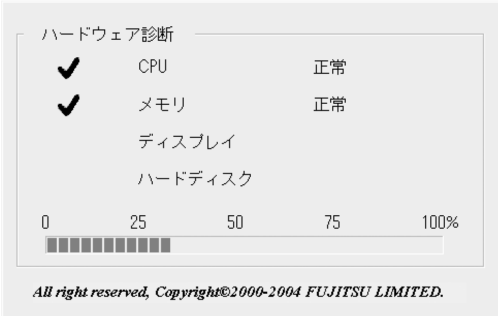

パソコンの初期設定が始まり、次の画面が表示されます。手順 16 の画面が表示されるまで、そのままお待ちください。




電源を切らずに次のページへ

## 16 ハードウェア診断が始まり、次の画面が表示されます。手順 17 の画面が表示されるまで、そのままお待ちください。

途中、ディスプレイを診断する画面なども表示されます。

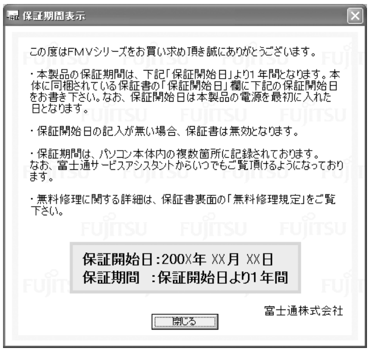



**重要**

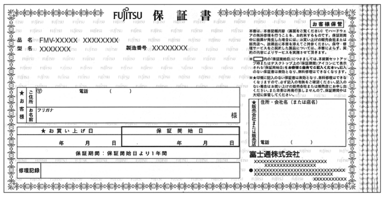
**ハードウェア不良の画面が表示された場合**

画面の指示に従ってください。

## 17 この画面が表示されたら、保証書を用意します。



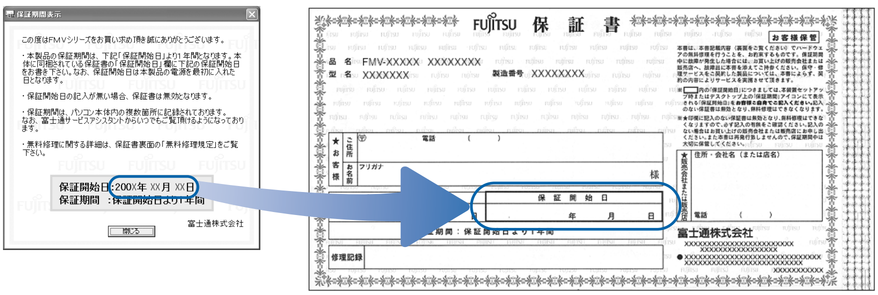

保証書は梱包箱に貼り付けられています。



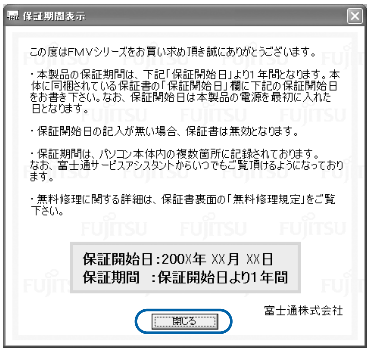

## 18 画面に表示された保証開始日を、保証書に書き写します。

保証書に保証開始日が記入されていないと、保証期間内であっても有償での修理となります（なお、保証開始日は本製品の電源を最初に入れた日になります）。

保証書は大切に保管してください。

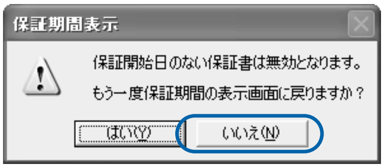


## 19 「閉じる」をクリックします。

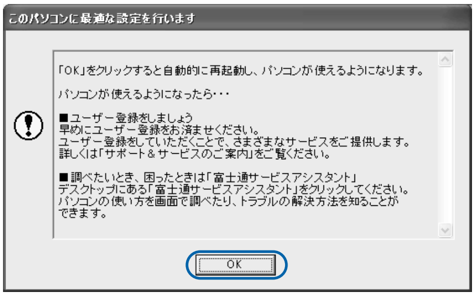



## 20 次の手順に進んで良ければ「いいえ」をクリックします。

もう一度保証期間を確認したいときは「はい」をクリックしてください。




## 21 「OK」をクリックします。



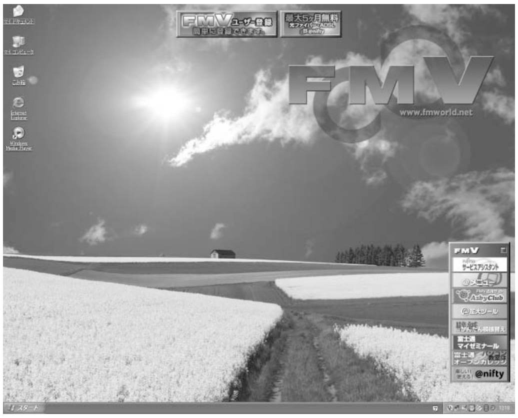

（機種や状況により、一部表示が異なります）

画面がいったん暗くなり、パソコンの再起動が始まります。
次の画面が表示されるまで少し時間がかかることがありますが、そのままお待ちください。



電源を切らずに次のページへ

## 22 画面が表示されたことを確認します。



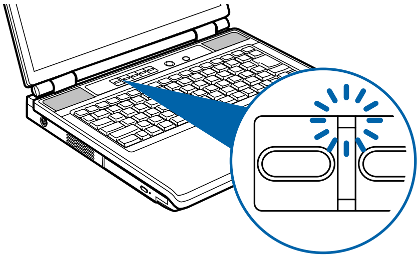

続いてサービスアシスタントの起動・終了方法を覚えましょう（••▶P.51）。

## サービスアシスタントの起動・終了方法

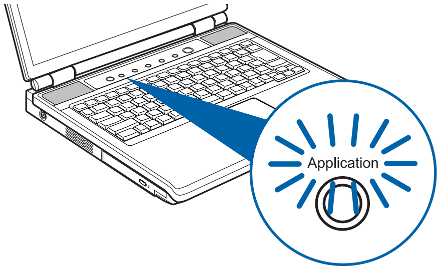
サービスアシスタントは、パソコンの操作でわからないことがあったとき、困ったときにご覧ください。ここでは、サービスアシスタントを一度起動・終了してみます。

### 23 モードボタンを押して Application のランプを点灯させ、「Application」モード（••▶P.89、P.90）にします。

■NB90K/TS, NB90K/T, NB75K/T, NB55K/T, NB80K, NB75K, NB55K, NB90KN/T, NB80KN の場合



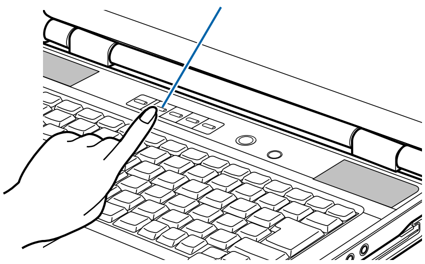
■NB50K, NB50KN の場合



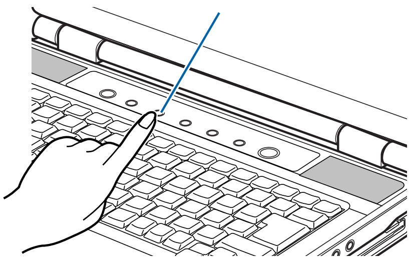

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

### 24 ワンタッチボタンの「A」ボタンを押します。

■NB90K/TS, NB90K/T, NB75K/T, NB55K/T, NB80K, NB75K, NB55K, NB90KN/T, NB80KN の場合




■NB50K, NB50KN の場合




**POINT**

**機種を選択する画面が表示されたときは**

別紙などで特に指示がない限り、お使いの機種名（品名）を選んでください。
機種名の調べ方は「機種名を確認してください」（••▶P.20）をご覧ください。

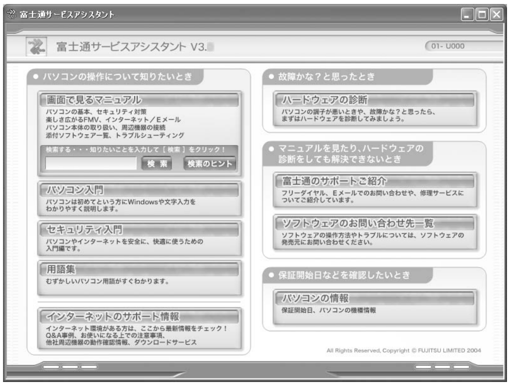
電源を切らずに次のページへ

## 25 そのまましばらくお待ちください。

サービスアシスタントは初めて起動したときだけ、起動するまでにしばらく（約 5 分間）時間がかかる場合があります。

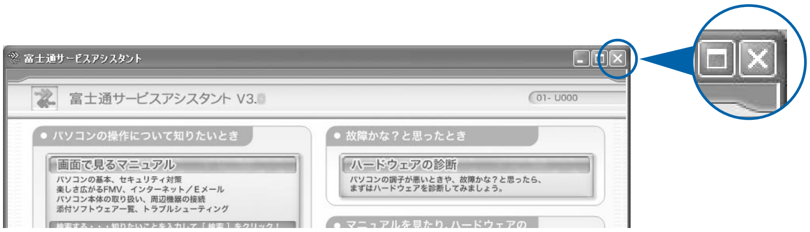



## 26 サービスアシスタントが起動します。




これがサービスアシスタントのトップ画面です。サービスアシスタントの使い方については、『FMV 活用ガイド』→「パソコンの画面で見るマニュアルを活用する」→「「サービスアシスタント」の使い方」をご覧ください。

## 27 ここではサービスアシスタントのトップ画面で ✕ をクリックし、「サービスアシスタント」を終了します。




POINT

**これ以降サービスアシスタントを起動するには**

「Application」モードに切り替えた後、「A」ボタンを押してください。

**最新のサポート情報をインターネットでご案内しています**

サービスアシスタントには､インターネットを使って最新のサポート情報を表示する機能があります。この機能はインターネット接続の設定を行うと利用できるようになります。
このあとの手順「インターネットを始めるための準備をする」（••▶P.61）をご覧ください。

続いて、電源の切り方と入れ方を覚えましょう（••▶P.54）。

# 2 電源の切り方と入れ方

電源の切り方と入れ方はとても重要です。正しい方法を覚えてください。

## ⚠注意

けが

・フロッピーディスクやCD/DVDを取り出す場合は、フロッピーディスクドライブの差し込み口やCD/DVDドライブのトレーに指などを入れないでください。けがの原因となることがあります。

## 電源を切る

必ず、次の手順でWindowsの終了処理を行ってください。Windowsの終了処理を行うと、自動的に電源が切れます。

**1 それまで行っていた作業を終了します。**

ソフトウェアを起動している場合は、作業中のデータを保存し、ソフトウェアを終了します。例えばワープロソフトを使って文書を作成中の場合は、文書データを保存し、ワープロソフトを終了します。

POINT

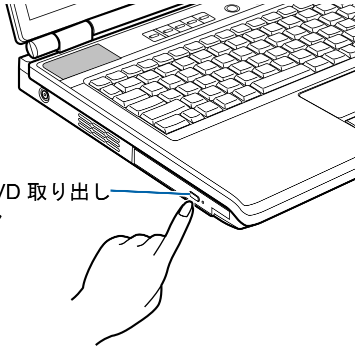
**ソフトウェアを終了しなかった場合**

ソフトウェアを起動したままこれ以降の操作を進めると、途中で作業中のデータを保存するか確認するメッセージが表示されることがあります。誤操作の原因となるので、あらかじめソフトウェアを終了してください。

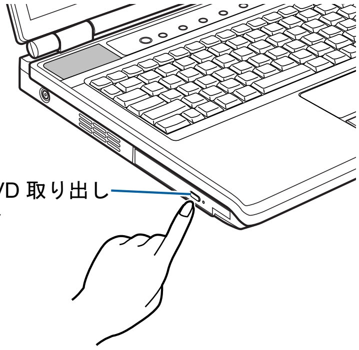
## 2 CD、DVD がセットされていたら CD/DVD 取り出しボタンを、フロッピーディスクがセットされていたらフロッピーディスク取り出しボタンを押して取り出します。

### ■CD、DVD の取り出し方

・NB90K/TS, NB90K/T, NB75K/T, NB55K/T, NB80K, NB75K, NB55K, NB90KN/T, NB80KN の場合




・NB50K, NB50KN の場合

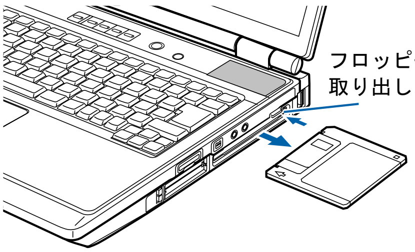



（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

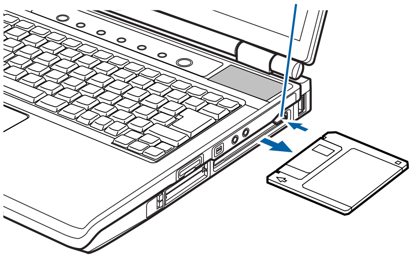
### ■フロッピーディスクの取り出し方

NB90K/TS, NB90K/T, NB75K/T, NB55K/T, NB90KN/T にはフロッピーディスクドライブが内蔵されていないので、この操作は不要です。

・NB75K, NB80K, NB55K, NB80KN の場合




・NB50K, NB50KN の場合




**POINT**

**CD や DVD を入れたままだと**

パソコンの電源を切ってしまうと、CD や DVD は取り出せません。

**フロッピーディスクを入れたままだと**

次にパソコンの電源を入れたときにエラーメッセージが表示されることがあります。
エラーメッセージが表示されたときは、フロッピーディスクを取り出して、【Enter】を押してください。

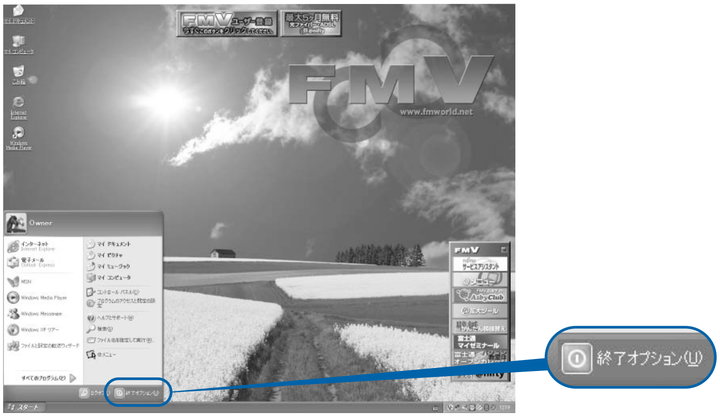
次のページへ

## 3 「スタート」ボタンをクリックします。




（これ以降の画面は、機種や状況により異なります）

## 4 「終了オプション」をクリックします。




## 5 「電源を切る」をクリックします。




しばらくすると Windows が終了し、パソコンの電源が自動的に切れます。

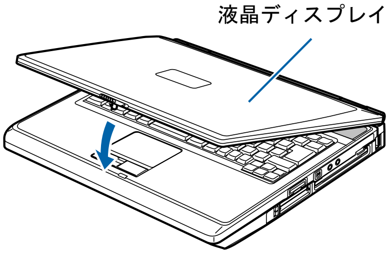
**POINT**

**電源が切れない場合**

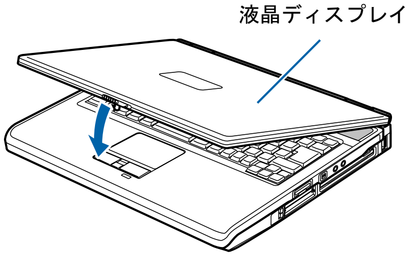
パソコンが動かなくなり（フラットポイントやキーボードが操作できないなど）、電源が切れないときは、次のように操作してください。【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を押してソフトウェアを強制終了し、その後で電源を切ってください。ソフトウェアの強制終了については、『ＦＭＶ 活用ガイド』→「トラブルかなと思ったら」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」→「Q 操作中に画面が動かなくなった」をご覧ください。強制終了もできないときは、パソコン本体前面の電源ボタンを 4 秒以上押して、強制的に電源を切ってください。

## 6 液晶ディスプレイを閉じます。

・NB90K/TS, NB90K/T, NB75K/T, NB55K/T, NB80K, NB75K, NB55K, NB90KN/T, NB80KN の場合




・NB50K, NB50KN の場合




### 重要

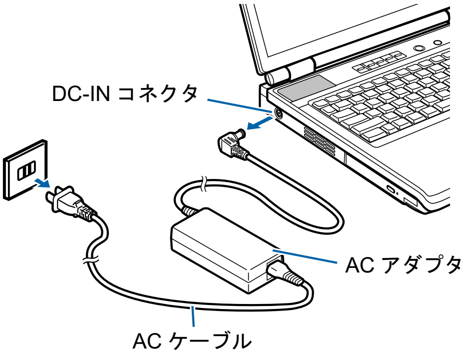
**液晶ディスプレイは静かに閉じてください**

閉じるときに液晶ディスプレイに強い力が加わると、液晶ディスプレイが故障する原因となることがあります。

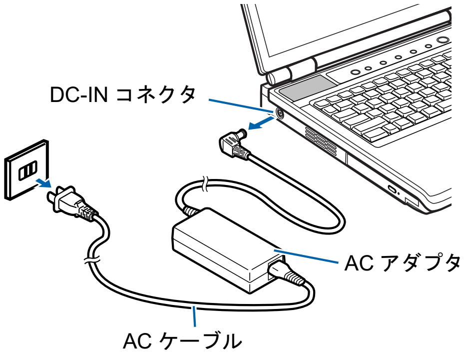
**ACアダプタの取り外しについて**

パソコン本体を持ち運ぶときや、周辺機器の取り付け・取り外しをするとき、パソコンを長時間使わないときは、必ず、ACケーブルの電源プラグをコンセントから抜き、ACアダプタをDC-INコネクタから取り外します。

・NB90K/TS, NB90K/T, NB75K/T, NB55K/T, NB80K, NB75K, NB55K, NB90KN/T, NB80KN の場合




・NB50K, NB50KN の場合




**パソコン使用中にACアダプタを取り外すときの注意**

パソコンを使っている途中でACアダプタを取り外し、バッテリでパソコンを使うときは、バッテリが充電されているか確認してください。特にご購入時にはバッテリが充電されていない場合があるので、ご注意ください。

確認方法については、(サービスアシスタント)のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7．パソコン本体の取り扱い」→「バッテリ」→「バッテリで使う」→「バッテリ残量を確認する」をご覧ください。

**パソコンを使っていないときにバッテリを充電するには**

パソコンを使っていないときにバッテリを充電するには、電源を切った後、ACアダプタを取り付けたままにしてください。

続いて、電源の入れ方を覚えましょう（••►P.58）。

# 電源を入れる

**重要**

**電源を入れるときの注意**

・電源を切った後は、次に電源を入れ直すまで 10 秒ほどお待ちください。
・パソコンを長時間お使いになる場合は、バッテリ切れによるデータ消失などを防ぐため、必ず AC アダプタを取り付けてください。
・電源ボタンの周囲が点灯しているときは、パソコンの電源が入っています。パソコンの画面が真っ暗になったりしているときでも、電源が切れたわけではありません。これはパソコンの省電力機能が働いている状態です。
フラットポイントの操作面に触れたり、キーボードの 【↑】【↓】【←】【→】 や 【Shift】 のどれかを押したりすると、元の画面に戻ります。
それでも元の画面に戻らないときは、電源ボタンの周囲が青く点滅していないか確認してください。電源ボタンの周囲が点滅しているときは、電源ボタンを押すと元の画面に戻ります（4 秒以上押し続けないでください。パソコンの電源が切れてしまいます）。

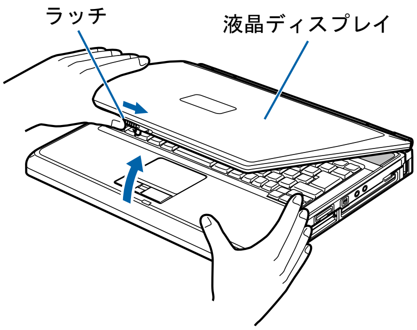
**バッテリで使うときの注意**

次の場合は、バッテリが充電されていないことがあります。バッテリ残量を確認し、必要に応じてバッテリを充電してください。
・パソコンをご購入のとき
・しばらく充電していないとき
バッテリ残量の確認方法については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7．パソコン本体の取り扱い」→「バッテリ」→「バッテリで使う」をご覧ください。

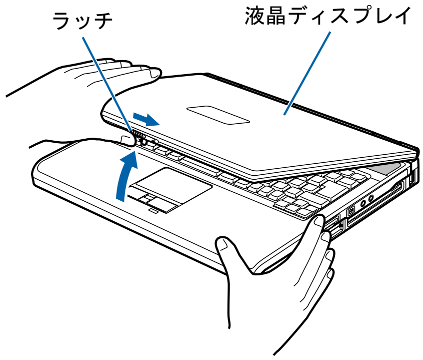
## 1 液晶ディスプレイを開きます。

ラッチを右にスライドしてロックを外し、パソコン本体と液晶ディスプレイの両方に手を添えて開けてください。

・NB90K/TS, NB90K/T, NB75K/T, NB55K/T, NB80K, NB75K, NB55K, NB90KN/T, NB80KN の場合




・NB50K, NB50KN の場合

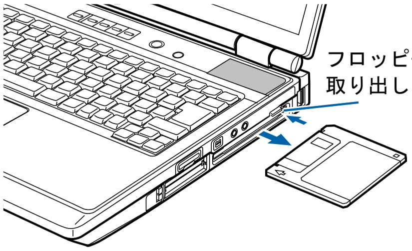



（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

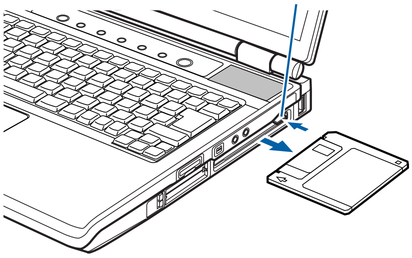
## 2 フロッピーディスクがセットされていないことを確認します。

フロッピーディスクがセットされている場合は、フロッピーディスク取り出しボタンを押して取り出します。NB90K/TS, NB90K/T, NB75K/T, NB55K/T, NB90KN/T にはフロッピーディスクドライブが内蔵されていないので、この操作は不要です。

・NB75K, NB80K, NB55K, NB80KN の場合




・NB50K, NB50KN の場合





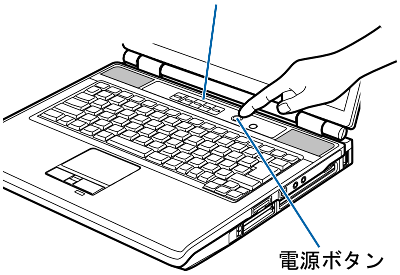

**POINT**

**フロッピーディスクを入れたままだと**

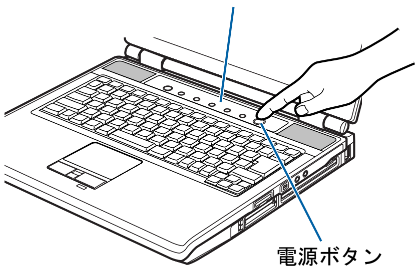
パソコンの電源を入れたときにエラーメッセージが表示されることがあります。
エラーメッセージが表示されたときは、フロッピーディスクを取り出して、【Enter】を押してください。

## 3 電源ボタンを押します。

・NB90K/TS, NB90K/T, NB75K/T, NB55K/T, NB80K, NB75K, NB55K, NB90KN/T, NB80KN の場合




・NB50K, NB50KN の場合




電源ボタンが点灯します。そのまましばらくお待ちください。

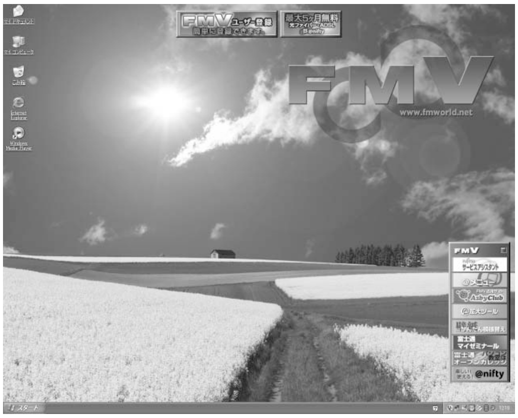
**重要**

**電源ボタンは短く押してください**

電源ボタンは、4 秒以上押し続けると通常とは違う特別な働きをします（パソコンの電源が切れるので、作成中のデータが失われることがあります）。

次のページへ

## 4 このような画面が表示されたことを確認します。




（画面は機種や状況により異なります）

**POINT**

**Windows が起動しない場合**

バッテリ残量が少ないと電源を入れても Windows が起動しないことがあります。次の点を確認してください。

・AC アダプタを取り付けているとき
　AC アダプタが正しく取り付けられているかを確認してください。
　「AC アダプタを接続する」（••▶P.32）

・バッテリで使うとき
　バッテリの残量が十分にあるかを確認し、足りなければ AC アダプタを取り付けてください。

以上の点を確認しても Windows が起動しない場合は、『ＦＭＶ 活用ガイド』→「トラブルかなと思ったら」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」→「Q パソコンが起動しない、画面に何も映らない［BIBLO]」をご覧ください。

# 3 インターネットを始めるための準備をする

このパソコンでインターネットやオンラインユーザー登録を利用するためには、インターネットに接続するための準備が必要です。
なお、初めてインターネットに接続するときには、ウイルスや不正アクセスからパソコンを守るためのセキュリティ対策を必ず行ってください。



## 初めてインターネットに接続するときのセキュリティ対策

このパソコンの出荷後、お客様にご購入いただくまでの間にも、セキュリティの脆弱性（ぜいじゃくせい：一般的に、コンピュータやネットワークにおけるセキュリティ上の弱点のこと）が新たに見つかったり、悪質なウイルスが出現したりしている可能性があります。
初めてインターネットに接続するときには、インターネットの接続設定が終わったあと、必ず「ウイルス対策ソフトの設定」（••▶P.63）の手順に従って、パソコンを最新の状態にし、セキュリティ対策を行ってください。

## インターネット接続の設定

インターネットの接続方法には、一般的に次の方法があります。

- 一般の電話回線（アナログ）
- ISDN 回線
- 携帯電話・PHS
- ADSL
- ケーブルテレビ（CATV）
- 光ファイバー（FTTH）

それぞれの設定方法については、各プロバイダや回線事業者から提供される書類や、各機器のマニュアルを必ずご覧ください。
また、(サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「6 . インターネット／ E メール」→「インターネットに接続するための設定」→「インターネットに接続するまでの流れ」もあわせてご覧ください。

重要

### 内蔵モデムで長時間インターネットに接続する場合

ソフトウェアを起動したままインターネットに長時間接続していると、パソコンの CPU に高い負荷がかかり、内蔵モデムでの通信が切断される場合があります。このような場合は、ブラウザやメールソフト以外のソフトウェアを終了してからもう一度インターネットに接続してください。

POINT

### 今までお使いになっていたパソコンの設定を移行する場合は

このパソコンには、今までお使いになっていたパソコンの設定や必要なデータの移行をガイドする「PC 乗換ガイド」というソフトウェアが用意されています。このソフトウェアを使うと、インターネットや E メールの利用環境を、そのままこのパソコンで使うことができます。詳しくは、「このパソコンに、今までお使いになっていたパソコンの設定やデータを移行する場合」（••▶P.76）をご覧ください。

続いて、Windows Update の実行とウイルス対策ソフトの設定をしましょう（••▶P.63）。

# 4 ウイルス対策ソフトの設定

インターネットに接続できるようになったら、「Windows Update」を実行してWindows を最新の状態に整えてから、ウイルス対策ソフトの初期設定を行ってください。

このパソコンには、「Norton AntiVirus」というウイルス対策ソフトが用意されています。「Norton AntiVirus」は、パソコンをコンピュータウイルスから守るためのソフトウェアです。ウイルスを発見し駆除するウイルス定義ファイルは、常に最新のものに更新できるので、次々と現れる新種のウイルスにも威力を発揮します。



## 「Windows Update」を実行する

「Windows Update」は、Windows を常に最新の状態に整えるマイクロソフト社が提供するサポート機能です。「Windows Update」を実行すると、Windows やソフトウェアなどを最新の状態に更新・修正できます。最新の状態にすることにより、ウイルスが侵入したり、不正アクセスされたりするセキュリティホールをなくすための対策（パッチをあてると言います）もされます。
ここでは、「Windows Update」の中の重要な更新プログラムとセキュリティ更新プログラムをインストールする方法について説明します。

**重要**

**更新する項目について**

「Windows Update」では、重要な更新プログラムとセキュリティ更新プログラム以外に「ドライバ」なども更新できますが、富士通製のソフトウェアに関しては「アップデートナビ」で更新することをお勧めします。「アップデートナビ」については、『ＦＭＶ 活用ガイド』→「FMV のおすすめ活用法」→「FMV を最新の状態にする」→「アップデートナビ」をご覧ください。それ以外の項目については、内容により更新が必要かどうかご判断ください。
なお、「Windows Update」でマイクロソフト社から提供されるプログラムについては、弊社がその内容や動作、および実施後のパソコンの動作を保証するものではありませんのでご了承ください。

**POINT**

**「続行しますか？」という画面が表示されたら**

「インターネットへ情報を送信するときに、その情報を他の人から読み取られる可能性があります。続行しますか？」という画面が表示される場合があります。「Windows Update」を実行するときは、「はい」をクリックしてください。

**Windows の再起動を要求する画面が表示されたら**

メッセージに従って、パソコンを再起動してください。

**1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Windows Update」の順にクリックします。**

「Windows Update」の画面が表示されます。

次のページへ

## 2 「高速インストール」をクリックします。

パソコンの状態を診断し、プログラムを取得します。

この後は、表示される画面に従って操作してください。

# 「Norton AntiVirus」の初期設定

ここでは、「Norton AntiVirus」の初期設定を行います。
「Norton AntiVirus」の初期設定が終わらないと、ウイルスや不正アクセスからパソコンを保護することができません。必ずこのマニュアルの手順どおりに進めてください。

## 1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Norton AntiVirus」→「Norton AntiVirus 2005」をクリックします。

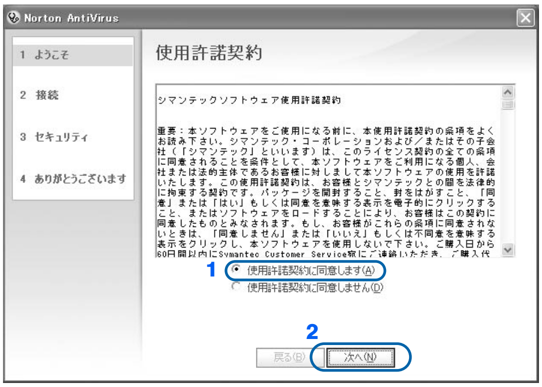
「Norton AntiVirus」画面が表示されます。

## 2 「次へ」をクリックします。

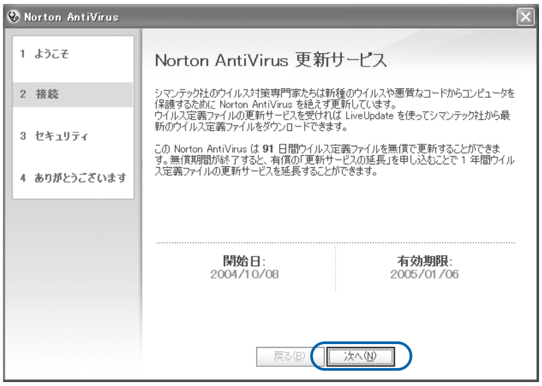



（これ以降の画面は状況により異なります）

## 3 1 使用許諾契約の内容をご覧になり、「使用許諾契約に同意します」をクリックして◉にし、2「次へ」をクリックします。

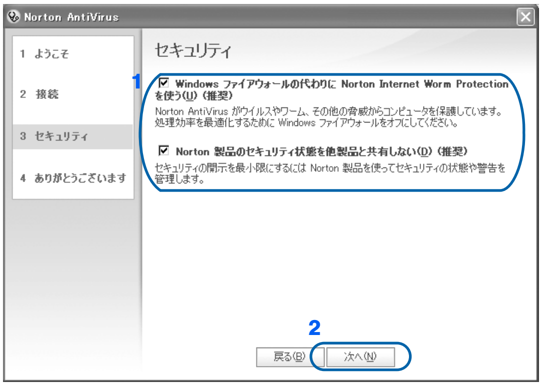


## 4 Norton AntiVirus 更新サービスの有効期限を確認し、「次へ」をクリックします。

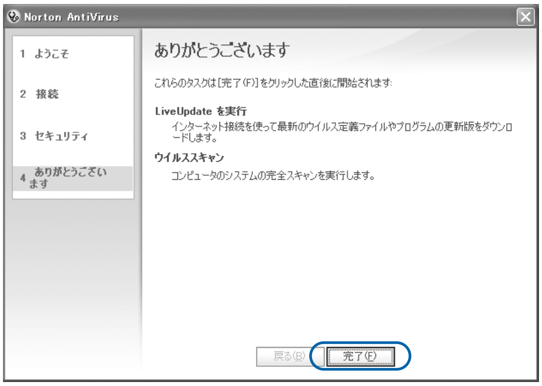



## 5 1 すべてのチェックボックスが☑になっていることを確認し、2 「次へ」をクリックします。

□になっている場合は、□をクリックして☑にしてください。




## 6 「完了」をクリックします。

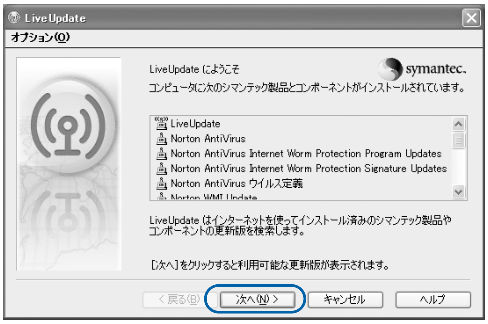



「LiveUpdate」画面が表示されます。

次のページへ

## 7 「次へ」をクリックします。

最新のウイルス定義ファイルを検索します。次の画面が表示されるまでに時間がかかることがありますが、しばらくお待ちください。




## 8 「次へ」をクリックします。

更新されたソフトウェアや最新のウイルス定義ファイルのインストールが始まります。次の画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。




### 重要

**「Please run LiveUpdate again to retrieve additional updates.」という画面が表示されたら**

次の画面が表示されたら、「OK」をクリックしてください。



## 9 「完了」をクリックします。





## 10 Windows の再起動を要求する画面が表示されたら、メッセージに従って、パソコンを再起動します。

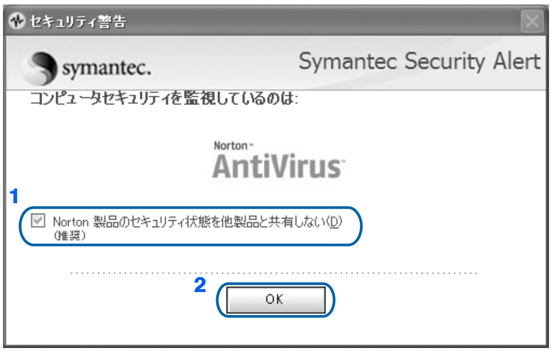
パソコンが再起動します。パソコンが起動すると、パソコンがウイルスに感染していないかチェックするために「Norton AntiVirus」のウイルススキャンが自動的に始まります。ウイルススキャンが完了するまでにかなり時間がかかることがありますが、そのままでお待ちください。



### 重要

**「コンピュータセキュリティを監視しているのは」という画面が表示されたら**

次の画面が表示されたら、1 ☑になっていることを確認し、2「OK」をクリックします。□になっている場合は、□をクリックして☑にしてください。



次のページへ

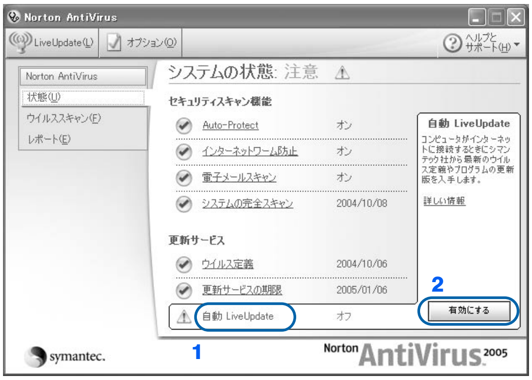
### しばらく操作しないと

電源を入れた状態でしばらく（約 5 分間）操作しないと、動画（スクリーンセーバー）が表示されたり、画面が真っ暗になったりすることがありますが、電源が切れたわけではありません。これはパソコンの省電力機能が働いている状態です。
フラットポイントの操作面に触れたり、キーボードの 【↑】【↓】【←】【→】や【Shift】のどれかを押したりすると、元の画面に戻ります。

## 11 「完了」をクリックします。

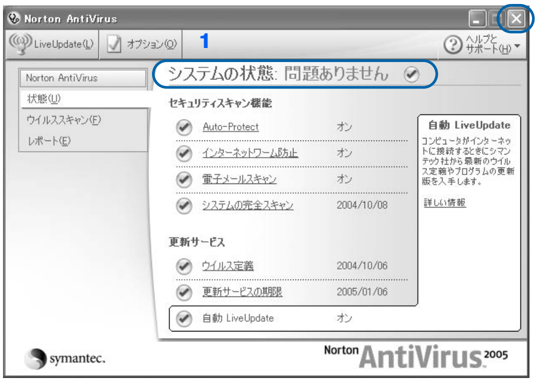



## 12 1「Norton AntiVirus 更新サービス」にある「自動 LiveUpdate」をクリックして、2 画面右側の「有効にする」をクリックします。




自動 LiveUpdate がオンになります。

**13** **「Norton AntiVirus」画面で 1「システムの状態：問題ありません」と表示されていることを確認し、2 画面の右上にある をクリックします。**



2

「Norton AntiVirus」画面が閉じます。

これでウイルス対策ソフトの初期設定が完了しました。

### ■お問い合わせ先

「Norton AntiVirus」については、株式会社シマンテックにお問い合わせください。お問い合わせ窓口については、『サポート＆サービスのご案内』→「ソフトウェアについて困ったときは」→「ソフトウェアのお問い合わせ先一覧」をご覧ください。

## 初期設定が完了したら

画面右下の通知領域にあるアイコンが次のように変わったことを確認してください。

・ (Norton AntiVirus) のアイコンが、 になります。

今後もいつ新たなウイルスなどが出現するかわかりません。ウイルス対策ソフト「Norton AntiVirus」の「ウイルス定義ファイルの更新」と「Windows Update」などのセキュリティ対策を心がけましょう。詳しくは、『FMV 活用ガイド』→「パソコンは自分自身で守ろう」→「ウイルスや不正アクセスからパソコンを守る」をご覧ください。

# 5 ホームネットワークを始めるための準備をする

### NB90K/TS の場合のみ

ホームネットワークとは、ご家庭にある複数のパソコンや家電製品をケーブルなどでつないだ、家庭規模の小さなネットワークのことです。
ご家庭や職場でネットワークを組む場合、接続するコンピュータの台数や場所によって、必要な機器が異なります。機器のご購入時は各機器の役割や機能に注意してください。また、お使いになる周辺機器によって接続や設定の方法が異なりますので、必ずそれぞれの周辺機器のマニュアルをご覧ください。

ホームネットワークについては、（サービスアシスタント）のトップ画面→「5. 楽しさ広がる FMV」→「LAN で始める快適ホームネットワーク生活」をご覧ください。

## ＦＭＶ ステーションを設定する

ＦＭＶ ステーションをお使いになるには、ＦＭＶ ステーションに添付されている『ＦＭＶ ステーション 準備と設定ガイド』をご覧になり、ＦＭＶ ステーションの設置と接続をしてください。

# 6 ユーザー登録をする

インターネットに接続し、セキュリティ対策が完了したら、パソコンの画面上でユーザー登録を行います。
お客様の情報、およびご購入いただいた FMV の機種情報を登録していただくことでお客様 1 人 1 人に、よりきめ細かなサポート・サービスをご提供いたします。
詳しくは、『サポート＆サービスのご案内』をご覧ください。



## ユーザー登録をするとご利用になれるサービス

ユーザー登録をすると、自動的に「ＦＭＶ ユーザーズクラブ AzbyClub（アズビィクラブ）」の会員としても登録され、次のようなサービスをご利用いただけます。
AzbyClub とは、お客様に ＦＭＶ を快適にご利用いただくための会員組織です。入会金、年会費は無料です（2 年目以降も無料）。

### ■ＦＭＶ 活用サイト AzbyClub ホームページ

お客様がお使いのパソコンに関する最新情報や、活用情報が満載です。また、会員向けのショッピングサービスやお得なキャンペーン情報もご紹介します。
http://azby.fmworld.net/

### ■技術相談窓口 Azby テクニカルセンター

AzbyClub 会員専用の技術相談窓口です。電話や E メールによるサポートをご利用いただけます。サポートツール「サービスアシスタント」、紙のマニュアル、AzbyClub ホームページで確認しても、問題が解決できない場合、技術相談を受けられます。

### ■サービスアシスタント

サポートツール「サービスアシスタント」で、インターネット上の最新の製品情報を検索できるサービスがご利用いただけます。

### ■AzbyClub メール配信サービス

お客様がお持ちのメールアドレスを AzbyClub に登録していただくと、お役立ち情報満載の「AzbyClub メール配信サービス」をご利用いただけます。

### ■AzbyClub ポイントサービス

AzbyClub 会員専用のポイントサービスです。AzbyClub ホームページや WEB MART でご利用いただけます。

### ■AzbyClub カード

ユーザー登録番号（AzbyClub 会員番号）が刻印された、お得な特典いっぱいのカードです。入会費・年会費ともに無料です。

# パソコンの画面上でユーザー登録する

パソコンの画面上でユーザー登録を行う方法には、次の２種類があります。
ユーザー登録をする方法については、『サポート＆サービスのご案内』をご覧ください。

## ■ホームページからのユーザー登録

インターネットのＦＭＶユーザー登録専用のホームページからユーザー登録を行います。
インターネットに接続できる環境が必要です。

## ■専用プログラムによるユーザー登録

「ＦＭＶオンラインユーザー登録」というユーザー登録専用プログラムでユーザー登録を行います。
電話回線を使って通信します。

POINT

**ユーザー登録番号やパスワードを忘れてしまったら**

FMV 活用サイト AzbyClub（アズビィクラブ）ホームページでユーザー登録番号の確認およびパスワードの再発行ができます。
ユーザー登録番号の確認およびパスワードの再発行の方法については、『サポート＆サービスのご案内』→「FMV ユーザー登録をする」→「ユーザー登録番号やパスワードを忘れたときには」をご覧ください。

# 7 準備が完了したら

ここまでの作業が終わると、パソコンの準備は完了です。

## パソコンの準備はすべて完了していますか？

これまで説明してきたパソコンの準備が、すべて完了しているか確認してください。再確認したい項目や、完了していない操作については、各参照先に戻って再度確認または操作してください。

3

**1「機種名を確認してください」（…▶P.20）**
お使いの機種によってマニュアルの読み方が異なります。

**2「使用上のお願い」（…▶P.22）**
このパソコンの取り扱いにあたっての大切な注意事項です。確認してください。

**3「初めて電源を入れる～ Windows のセットアップ」（…▶P.36）**
初めて電源を入れたときに行う操作です。すべての操作を終えているか、確認してください。

**4「電源の切り方と入れ方」（…▶P.54）**
必ずこのマニュアルの手順に従って操作してください。

**5「インターネットを始めるための準備をする」（…▶P.61）**
お客様の環境にあった接続方法を選択して接続してください。

**6「ウイルス対策ソフトの設定」（…▶P.63）**
Windows やソフトウェアなどを最新の状態にし、セキュリティ対策を行ってください。

**7「ホームネットワークを始めるための準備をする」（…▶P.70）**
NB90K/TS の場合のみ
周辺機器のマニュアルをご覧になり、ホームネットワークを組んでください。

**8「ユーザー登録をする」（…▶P.71）**
パソコンの画面上でユーザー登録を行います。

# パソコンの準備が完了したら『ＦＭＶ 活用ガイド』へ

パソコンの準備が完了したら、『ＦＭＶ 活用ガイド』をお読みください。『ＦＭＶ 活用ガイド』では、パソコンをお使いになる前に確認していただきたいこと、覚えておくと便利なこと、情報の探し方やトラブルの対処法など、ＦＭＶ を活用するためのさまざまな情報を紹介しています。

## 『ＦＭＶ 活用ガイド』の主な内容

**第１章　準備が完了したことを確認しよう**
パソコンの準備がすべて完了しているか、この章で再度確認します。




**第２章　基本的な使い方を覚えよう**
パソコンの基本操作、ホームページの見かたや E メールの基本操作がわかります。

**第３章　パソコンは自分自身で守ろう**
大切なデータの予備をとる（バックアップする）方法や、ウイルスなどからパソコンを守るセキュリティ対策について紹介しています。

**第４章　ＦＭＶ のおすすめ活用法**
ＦＭＶ に搭載されているソフトウェアを使ってできる、楽しい活用法を紹介しています。また、ＦＭＶ を最新の状態にする方法も紹介しています。

**第５章　パソコンの画面で見るマニュアルを活用する**
パソコンを使いこなすための情報がある、「パソコンの画面で見るマニュアル」の使い方や調べ方を紹介しています。

**第６章　パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）**
ハードディスクを初期状態に戻し、Windows やソフトウェアをご購入時の状態に戻す方法を説明しています。

**第７章　トラブルかなと思ったら**
電源が入らないトラブル・画面が表示できないトラブルを中心に、パソコンを使っていて困ったときの対処法を説明しています。

**第８章　廃棄・リサイクルについて**
このパソコンや使用済み乾電池・バッテリを廃棄するときの注意事項などが書かれています。また、破棄する前に、ハードディスクのデータを消去する方法も説明しています。

# テレビの操作を知りたいときは『テレビを見る・録る・残すガイド』へ

## NB90K/TS, NB90K/T, NB75K/T, NB55K/T, NB90KN/T の場合のみ

このパソコンでテレビを見たり、番組を録画したりする方法については、『テレビを見る・録る・残すガイド』をご覧ください。このパソコンでテレビを見る前に確認していただきたいこと、具体的なテレビの利用方法、トラブル時の対処方法について紹介しています。

### 『テレビを見る・録る・残すガイド』の主な内容

第 1 章　このパソコンでできること
第 2 章　準備をする
第 3 章　テレビを見る
第 4 章　番組表を使う
第 5 章　テレビを録る
第 6 章　録ったテレビを再生する
第 7 章　昔録ったビデオテープをパソコンにダビングする
第 8 章　録ったテレビを DVD に残す
第 9 章　こんなこともできます
第 10 章　困ったときの Q&A




# ワイヤレス LAN をお使いになる場合

## NB90K/T, NB75K/T, NB75K, NB80K, NB90KN/T, NB80KN の場合のみ

ワイヤレス LAN の設定には、固有のユーティリティを使用します。Windows XP のプロパティでは設定できませんのでご注意ください。
ワイヤレス LAN の設定をするには、(サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7 . パソコン本体の取り扱い」→「LAN」→「ワイヤレス LAN（無線 LAN）を使う」をご覧ください。

## NB90K/TS の場合のみ

ワイヤレス LAN の設定には、固有のユーティリティを使用します。Windows XP のプロパティでは設定できませんのでご注意ください。
ワイヤレス LAN の設定をするには、(サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7 . パソコン本体の取り扱い」→「LAN」→「ワイヤレス LAN（無線 LAN）を使う」をご覧ください。
FMV ステーションでワイヤレス LAN をお使いになる場合には、FMV ステーションに添付されている『FMV ステーション 準備と設定ガイド』をご覧ください。

# このパソコンに、今までお使いになっていたパソコンの設定やデータを移行する場合

このパソコンには、今までお使いになっていたパソコンの設定や必要なデータの移行をガイドする「PC 乗換ガイド」というソフトウェアが用意されています。このソフトウェアを使うと、インターネットや E メールの利用環境を、そのままこのパソコンで使うことができます。
このパソコンに、今までお使いになっていたパソコンの設定やデータを移行するときにお使いください。

## 使用上の注意

「PC 乗換ガイド」をお使いになる場合には、次の点にご注意ください。

- 今までお使いになっていたパソコンが、次の OS の場合のみお使いいただけます。
  - Microsoft® Windows® XP Home Edition
  - Microsoft® Windows® XP Professional
  - Microsoft® Windows® 2000 Professional
  - Microsoft® Windows® Millennium Edition
  - Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITION
  - Microsoft® Windows® 98
- 「PC 乗換ガイド」を実行すると、このパソコンに設定した情報やデータに、お使いになっていたパソコンの情報が上書きされます。
  「PC 乗換ガイド」は、このパソコンに設定などを行う前に実行してください。
  「インターネットを始めるための準備をする」（••▶P.61）の前に、「PC 乗換ガイド」を実行されることをお勧めします。

## 「PC 乗換ガイド」の起動

**1 「@メニュー」を起動します。**

次のいずれかの操作で起動できます。

- ワンタッチボタンを「Application」モードにして「B」ボタンを押す。
- 「スタート」ボタン→「@メニュー」の順にクリックします。

**2 「@メニュー」で上部の「名前でさがす」をクリックし、「安心・サポート」をクリックします。**

**3 「PC 乗換ガイド」をクリックします。**

**4 これ以降は、画面の指示に従って操作してください。**

この後の章では、各部名称（••▶P.77）やメモリの増やし方（••▶P.97）、仕様一覧（••▶P.107）などが記載されています。目的に合わせてお読みください。

# 4

## 第 4 章

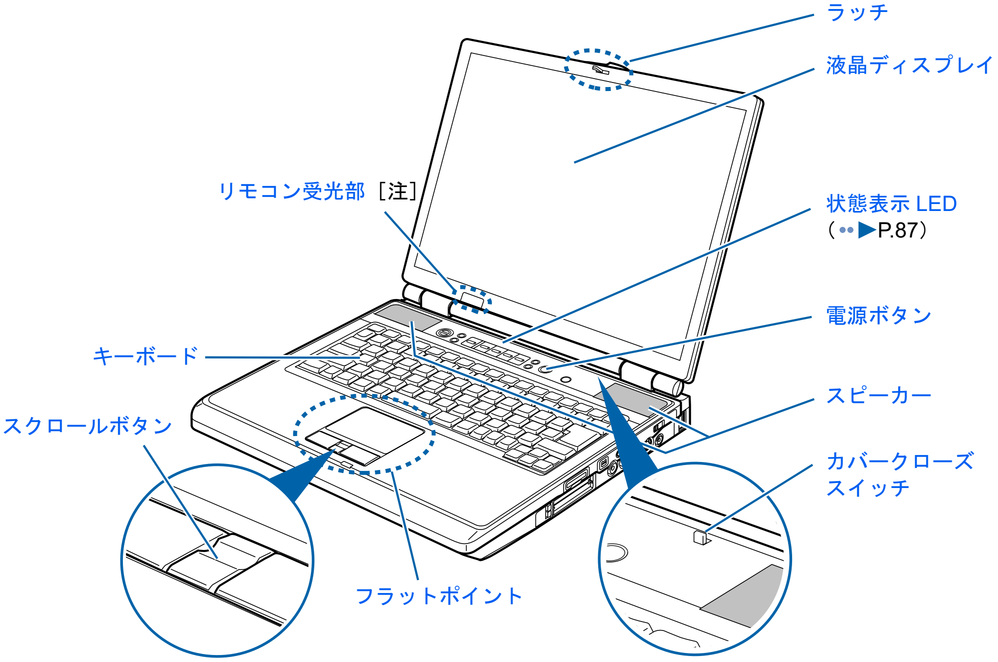
# 各部名称

パソコンの各部の名称について説明しています。

# 1 パソコン本体前面

機種名の調べ方は「機種名を確認してください」（••▶P.20）をご覧ください。

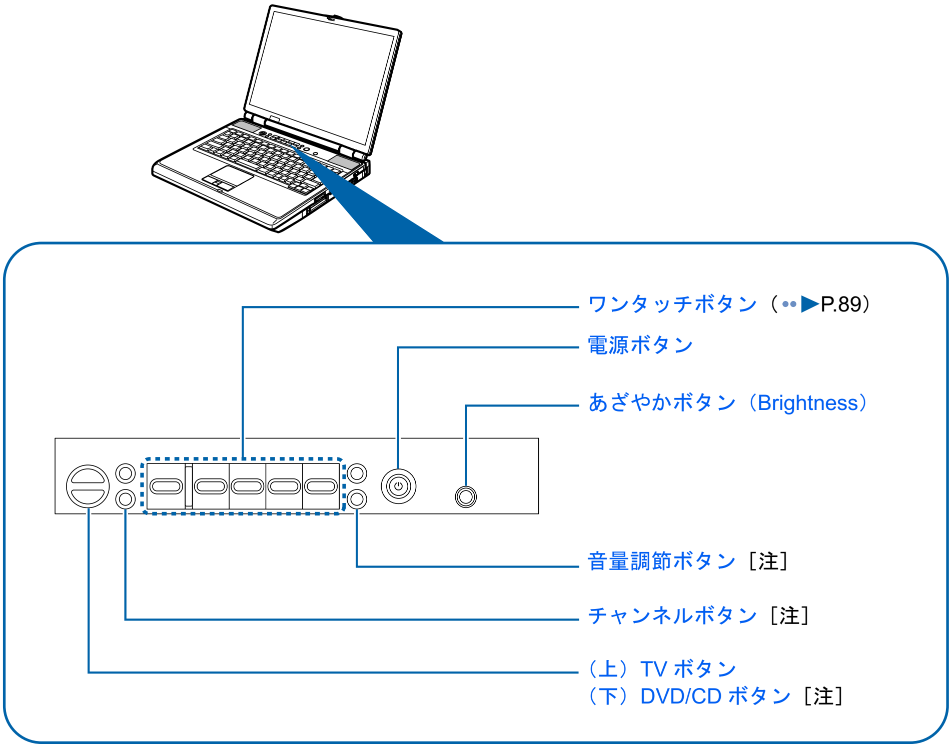
## ■NB90K/TS, NB90K/T, NB75K/T, NB55K/T, NB80K, NB75K, NB55K, NB90KN/T, NB80KN の場合




（イラストは機種や状況により異なります）

注：NB90K/TS, NB90K/T, NB75K/T, NB55K/T, NB90KN/T のみ

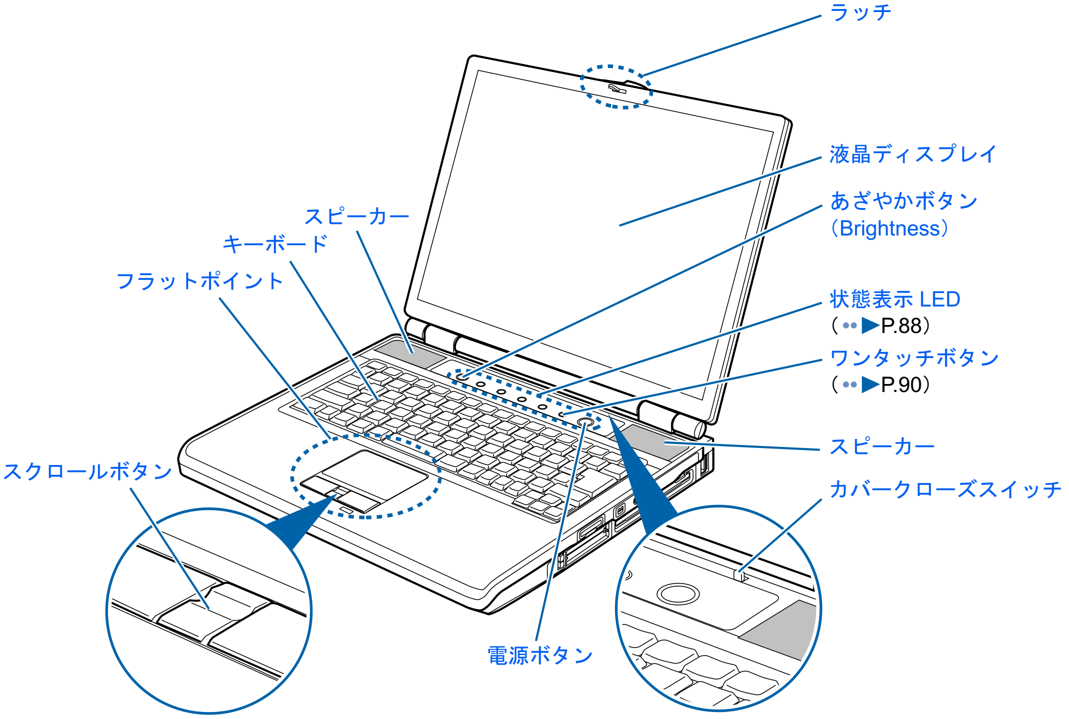
詳しくは、(サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7 . パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：パソコン本体前面」をご覧ください。




注：NB90K/TS, NB90K/T, NB75K/T, NB55K/T, NB90KN/T のみ

詳しくは、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7 ．パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：パソコン本体前面」をご覧ください。

## ■NB50K, NB50KN の場合



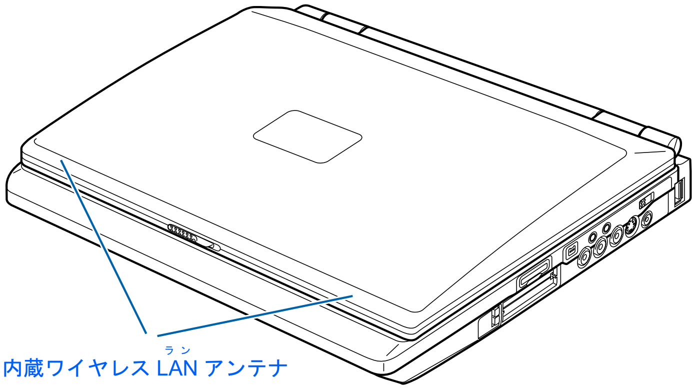

詳しくは、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7．パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：パソコン本体前面」をご覧ください。

# 2 パソコン本体上面

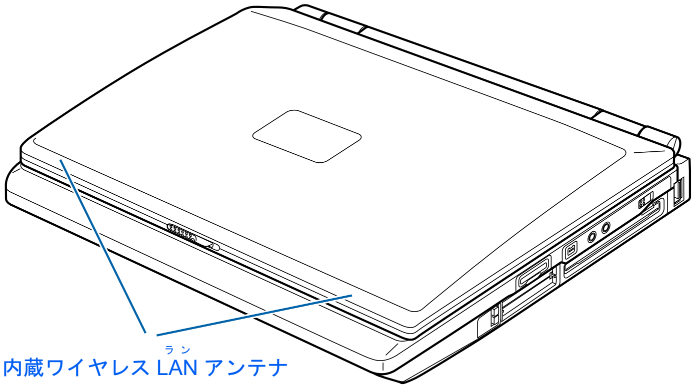
## NB90K/TS, NB90K/T, NB75K/T, NB75K, NB80K, NB90KN/T, NB80KN の場合のみ

機種名の調べ方は「機種名を確認してください」（••▶P.20）をご覧ください。

### ■ NB90K/TS, NB90K/T, NB75K/T, NB90KN/T の場合




### ■ NB80K, NB75K, NB80KN の場合



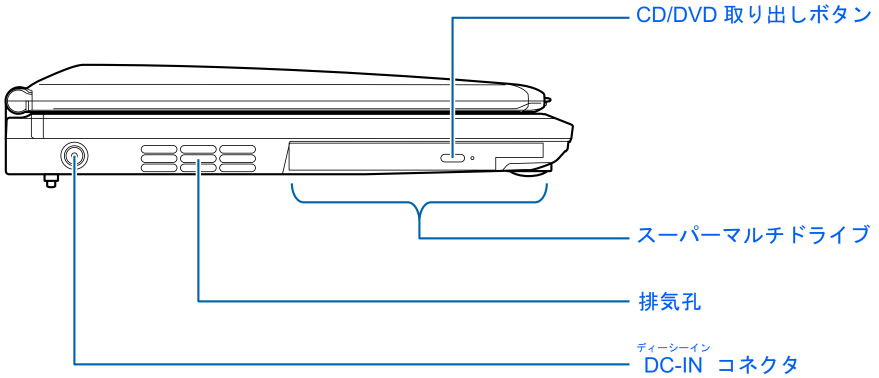

詳しくは、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7．パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：パソコン本体上面」をご覧ください。

# 3 パソコン本体側面

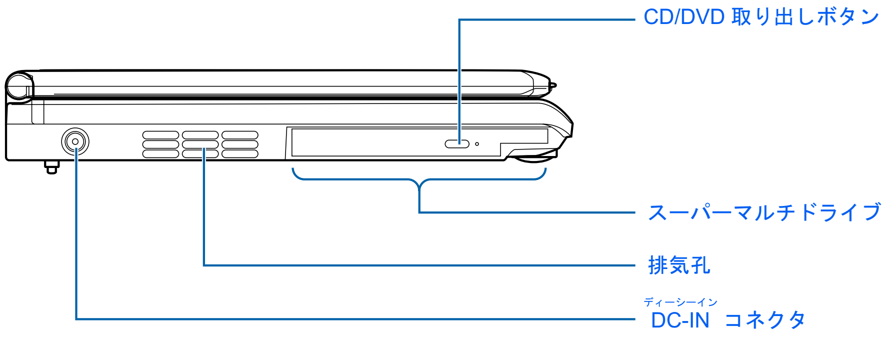
機種名の調べ方は「機種名を確認してください」（▶P.20）をご覧ください。

## パソコン本体左側面

### ■NB90K/TS, NB90K/T, NB75K/T, NB55K/T, NB80K, NB75K, NB55K, NB90KN/T, NB80KN の場合



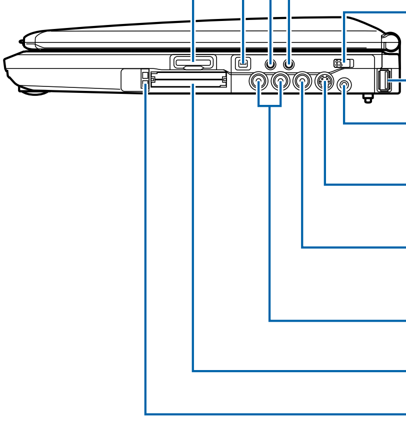

### ■NB50K, NB50KN の場合



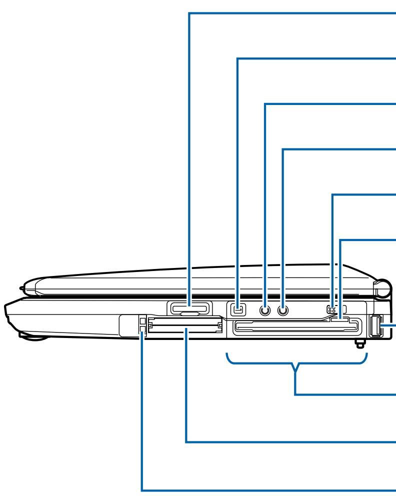

詳しくは、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7．パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：パソコン本体側面」をご覧ください。

# パソコン本体右側面

## ■ NB90K/TS, NB90K/T, NB75K/T, NB55K/T, NB90KN/T の場合

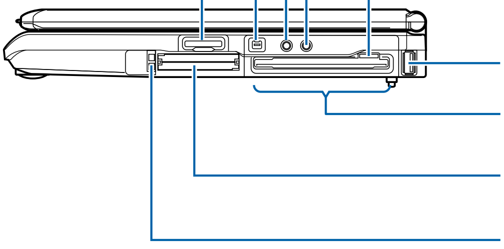



## ■ NB80K, NB75K, NB55K, NB80KN の場合




詳しくは、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7．パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：パソコン本体側面」をご覧ください。

## ■NB50K, NB50KN の場合

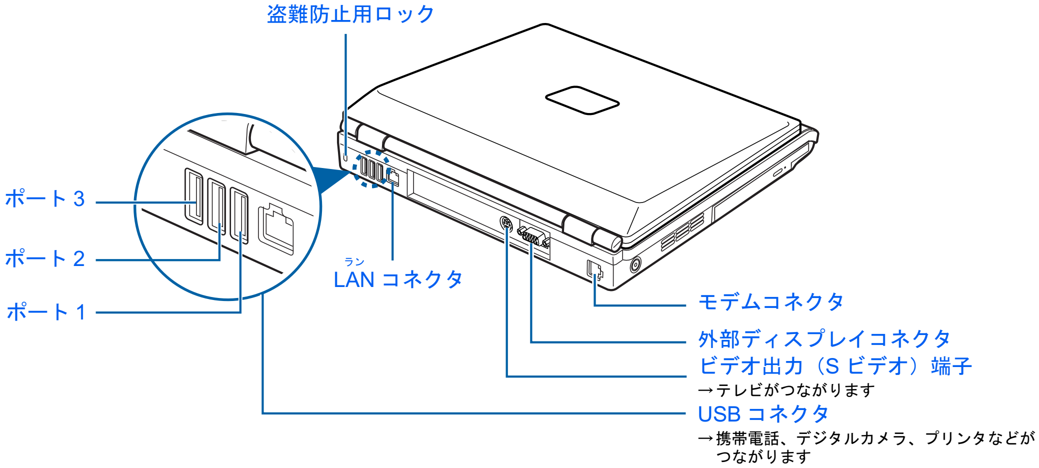



詳しくは、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7．パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：パソコン本体側面」をご覧ください。

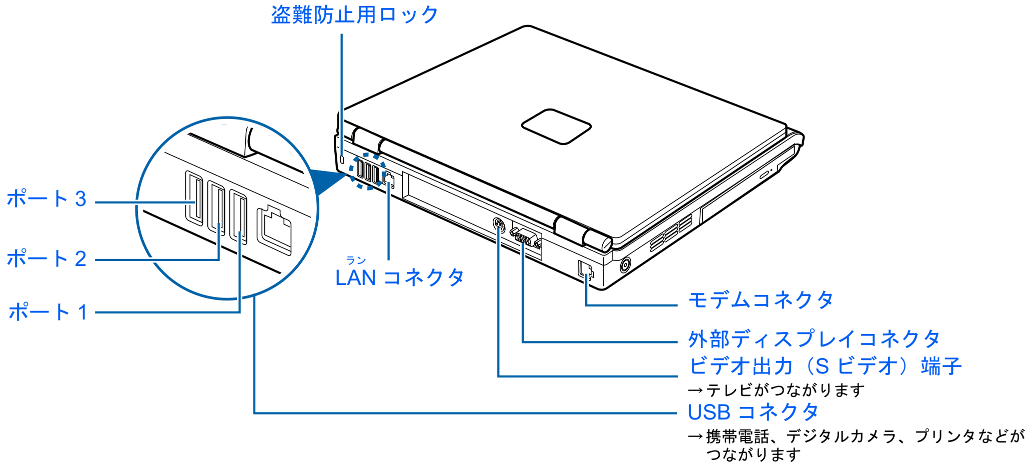
# 4 パソコン本体背面

機種名の調べ方は「機種名を確認してください」（••▶P.20）をご覧ください。

## ■ NB90K/TS, NB90K/T, NB75K/T, NB55K/T, NB80K, NB75K, NB55K, NB90KN/T, NB80KN の場合




## ■ NB50K, NB50KN の場合

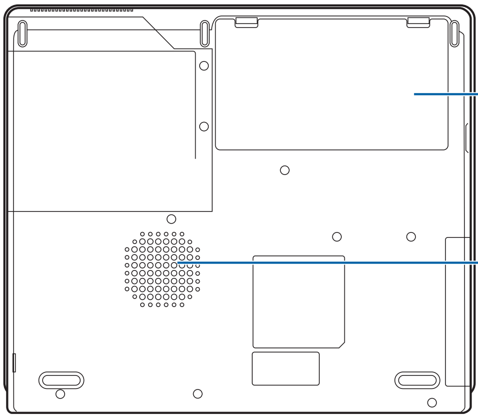



詳しくは、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7．パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：パソコン本体背面」をご覧ください。

# 5 パソコン本体下面

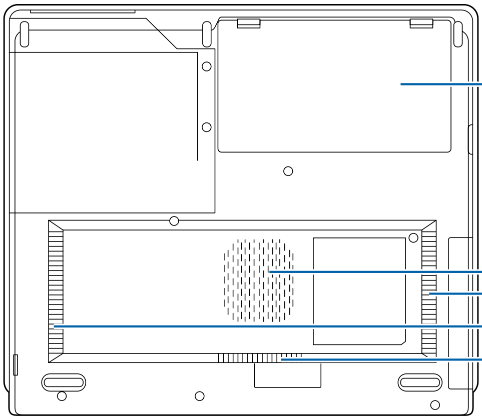
機種名の調べ方は「機種名を確認してください」(▶P.20)をご覧ください。

### ■NB90K/TS, NB90K/T, NB75K/T, NB55K/T, NB75K, NB55K, NB50K, NB90KN/T, NB50KN の場合




(イラストは機種や状況により異なります)

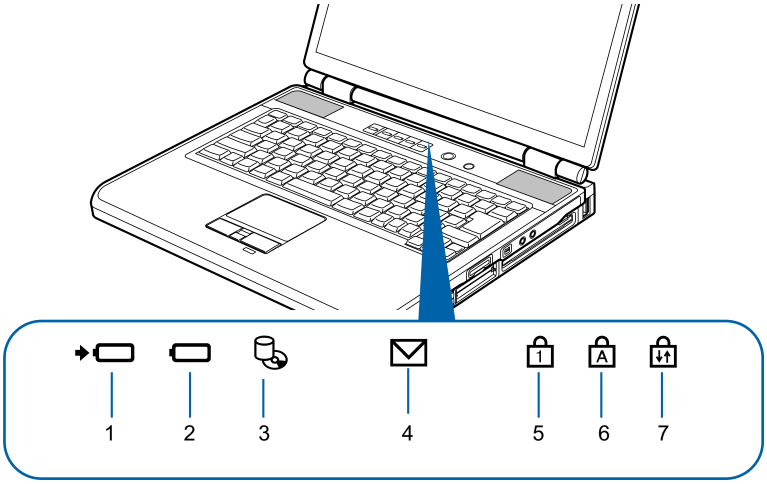
### ■NB80K, NB80KN の場合




詳しくは、(サービスアシスタント)のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7．パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：パソコン本体下面」をご覧ください。

# 6 状態表示 LED

■ **NB90K/TS, NB90K/T, NB75K/T, NB55K/T, NB80K, NB75K, NB55K, NB90KN/T, NB80KN の場合**

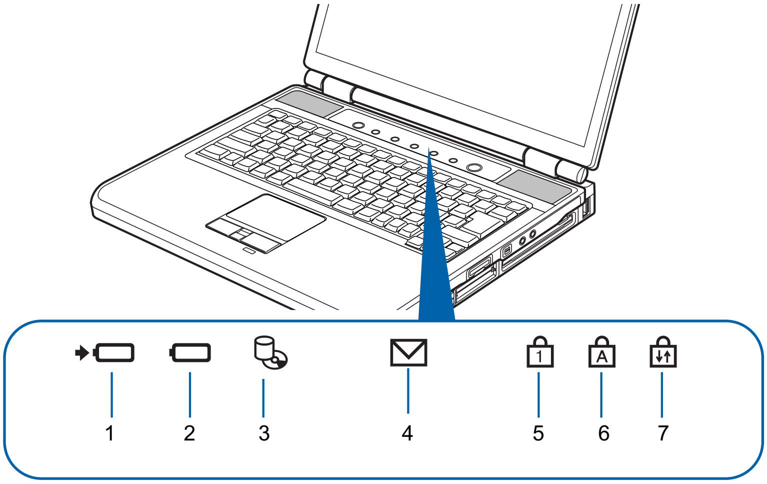



（イラストは機種や状況により異なります）

**1** バッテリ充電表示ランプ（）
**2** バッテリ残量表示ランプ（）
**3** ハードディスク／CD アクセスランプ（）
**4** メール着信ランプ（）
**5** Num Lock（ニューメリカルロック）ランプ（）
**6** Caps Lock（キャップスロック）ランプ（）
**7** Scroll Lock（スクロールロック）ランプ（）

詳しくは、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7 .パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：状態表示 LED」をご覧ください。

## ■NB50K, NB50KN の場合




（イラストは機種や状況により異なります）

**1** バッテリ充電表示ランプ（ ）

**2** バッテリ残量表示ランプ（ ）

**3** ハードディスク／CD アクセスランプ（ ）

**4** メール着信ランプ（ ）

**5** Num Lock（ニューメリカルロック） ランプ（ ）

**6** Caps Lock（キャップスロック） ランプ（ ）

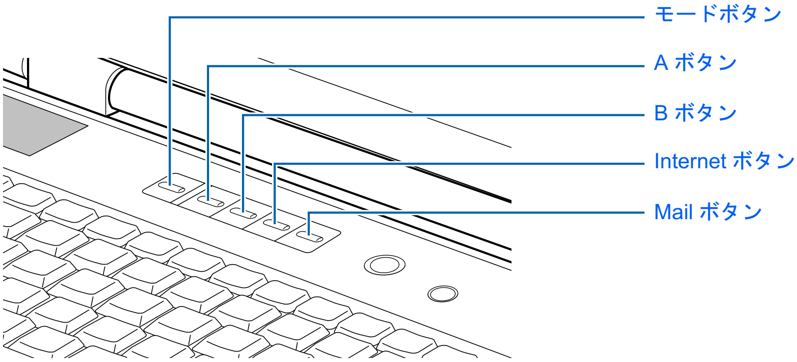
**7** Scroll Lock（スクロールロック） ランプ（ ）

詳しくは、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7 ．パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：状態表示 LED」をご覧ください。

# 7 ワンタッチボタン

機種名の調べ方は「機種名を確認してください」（••▶P.20）をご覧ください。

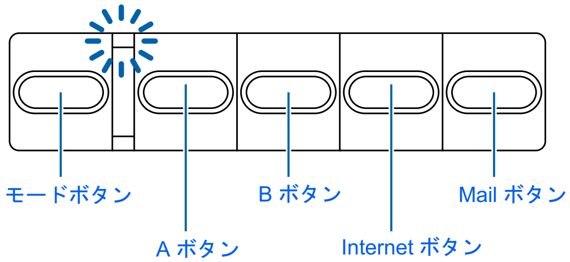
## ■NB90K/TS, NB90K/T, NB75K/T, NB55K/T, NB80K, NB75K, NB55K, NB90KN/T, NB80KN の場合



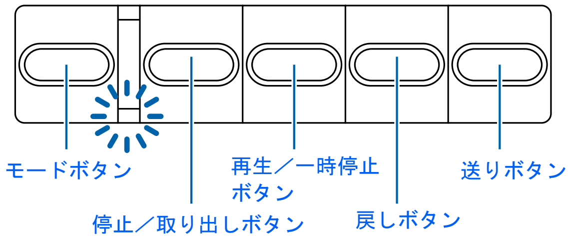

（イラストは機種や状況により異なります）

ワンタッチボタンの機能は、モードの状態によって次のように切り替わります。

### Application（アプリケーション）が点灯しているとき（「Application」モード）




### Player（プレーヤー）が点灯しているとき（「Player」モード）

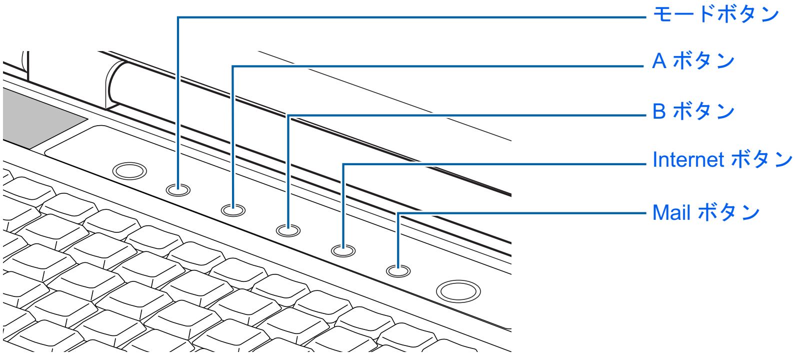



**POINT**

「Application」モードになっているときは、スタンバイ時や電源 OFF 時でもワンタッチボタンを使用することができます。
ただし、「Player」モードはスタンバイ時や電源 OFF 時に使用することはできません。

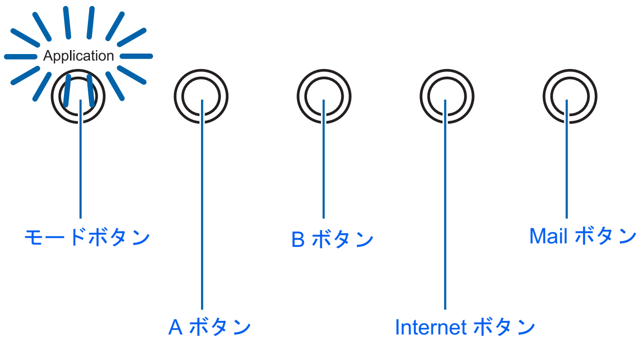
詳しくは、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7 . パソコン本体の取り扱い」→「ワンタッチボタン」→「ワンタッチボタンを使う」をご覧ください。

## ■NB50K, NB50KN の場合

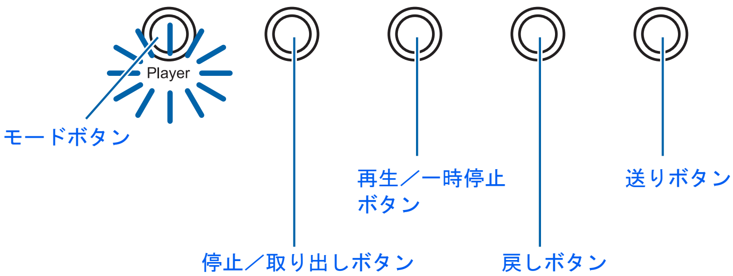



ワンタッチボタンの機能は、モードの状態によって次のように切り替わります。

### Application(アプリケーション) が点灯しているとき（「Application」モード）




### Player(プレーヤー) が点灯しているとき（「Player」モード）




**POINT**

「Application」モードになっているときは、スタンバイ時や電源 OFF 時でもワンタッチボタンを使用することができます。
ただし、「Player」モードはスタンバイ時や電源 OFF 時に使用することはできません。

詳しくは、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7 . パソコン本体の取り扱い」→「ワンタッチボタン」→「ワンタッチボタンを使う」をご覧ください。

5

第 5 章

# 周辺機器の設置／設定／増設

周辺機器の使用上の注意やメモリの増やし方などを説明しています。目的に合わせてお読みください。

# 1　周辺機器をお使いになる前に

ここでは、メモリやリモコンなどの周辺機器をお使いになる前に知っておいていただきたいことについて説明します。

### 警告

感電

・周辺機器の取り付けや取り外しを行うときは、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
　電源を入れたまま、または電源プラグを接続したままだと、感電・火災または故障の原因となります。

### 注意

故障

・周辺機器のケーブルは正しく接続してください。
　誤った接続状態でお使いになると、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となることがあります。
・周辺機器、および周辺機器のケーブルは、弊社純正品をお使いください。
　純正品以外の周辺機器、および周辺機器のケーブルをお使いになると、故障の原因となることがあります。

## 周辺機器とは？

プリンタ、デジタルカメラ、メモリなどの装置のことです。パソコンの各種コネクタに接続したり、パソコン本体内部に取り付けたりして、パソコンの機能を拡張したり、処理速度を高めたりできます。
ここでは、このパソコンに添付されているリモコンも含めて説明しています。

## 周辺機器を取り付けると

メモリを取り付けてパソコンの処理能力を上げたり、プリンタを接続して印刷したりなど、パソコンでできることがさらに広がります。
また、デジタルカメラで撮影した画像をパソコンに取り込んで、E メールに添付したりできます。

## 周辺機器を取り付けるには

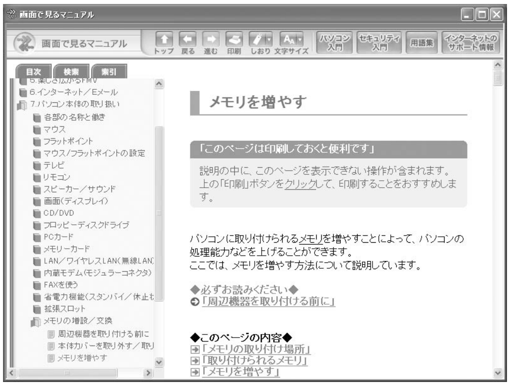
周辺機器の取り付け方は、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「７．パソコン本体の取り扱い」または「８．周辺機器の接続」に記載されています。また、本マニュアル内では、次の周辺機器についても記載しています。
「リモコンについて」（••▶P.95）
「メモリの増設／交換」（••▶P.97）

お使いになる周辺機器のマニュアルとあわせてご覧ください。

## 「画面で見るマニュアル」で調べる

**1** **表示される画面の中から取り付けたい周辺機器をクリックします。**

例えば、メモリを取り付ける場合は、「7．パソコン本体の取り扱い」→「メモリの増設／交換」→「メモリを増やす」をクリックします。




**POINT**

**手順の中に「動画を見る」というボタンがあるとき**

ボタンをクリックすると、インターネットに接続して手順の動画をご覧いただけます。このとき、FMV ユーザー登録で発行された「ユーザー登録番号」と「パスワード」が必要です。ユーザー登録については、『サポート＆サービスのご案内』をご覧ください。

「画面で見るマニュアル」の使い方については、『FMV 活用ガイド』→「パソコンの画面で見るマニュアルを活用する」をご覧ください。

# 周辺機器の取り扱い上の注意

周辺機器を取り付けるときは、次のことに注意してください。

- **周辺機器は、弊社純正品をお使いいただくことをお勧めします**

  純正品が用意されている周辺機器については、純正品以外を取り付けて、正常に動かなかったり、パソコンが故障しても、保証の対象外となります。

  純正品が用意されていない周辺機器については、このパソコンに対応しているかどうかをお使いの周辺機器メーカーにご確認ください。

- **Windows のセットアップは終了していますか？**

  「初めて電源を入れる〜 Windows のセットアップ」（▶P.36）をご覧になり、Windows のセットアップを行ってください。

  なお、セットアップを行うときは周辺機器を取り付けないでください。セットアップが正常に行われないおそれがあります。

・周辺機器によっては設定作業が必要です

パソコンの周辺機器の中には、接続するだけでは正しく使えないものがあります。このような機器は、接続した後で設定作業を行う必要があります。例えば、プリンタや PC カードを使うには、取り付けた後に「ドライバのインストール」という作業が必要です。また、メモリなどのように設定作業が必要ない機器もあります。周辺機器の接続は、このマニュアルをよくご覧になり、正しく行ってください。

・フロッピーディスクドライブについて

フロッピーディスクドライブが内蔵されていない機種をお使いの場合で、フロッピーディスクによるドライバのインストールが必要なときは、別売の FDD ユニット（USB）を用意してください。

・マニュアルをご覧ください

ケーブル類を接続する場合は、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「８．周辺機器の接続」をご覧になり、接続時に間違いがないようにしてください。誤った接続状態で使用すると、このパソコンおよび周辺機器が故障する原因となることがあります。

また、「画面で見るマニュアル」で説明している周辺機器の取り付け方法は一例です。「画面で見るマニュアル」とあわせて周辺機器のマニュアルも必ずご覧ください。

・純正品をお使いください

弊社純正の周辺機器については、販売店にお問い合わせになるか、ＦＭＶ 活用サイト AzbyClub（アズビィクラブ）ホームページの「富士通純正品」をご覧ください。

他社製品につきましては、このパソコンで正しく動作するかどうか、保証いたしかねます。他社製品をお使いになる場合は、製造元のメーカーにお問い合わせくださいますようお願いいたします。

・ACPI に対応した周辺機器をお使いください

このパソコンは ACPI モードに設定されています。ACPI モードに対応していない周辺機器をお使いの場合、省電力機能などが正しく動作しない場合があります。

また、このパソコンでは、低レベルのスタンバイ（ACPI S1）をサポートしていません。

お使いになる周辺機器が低レベルのスタンバイのみサポートしている場合は、パソコンをスタンバイや休止状態にしないでください。

・周辺機器の電源は、パソコンの電源を入れる前に入れてください

電源を入れて使う周辺機器を取り付けた場合は、周辺機器の電源を入れてからパソコンの電源を入れてください。また、周辺機器の電源を切るときは、パソコンの電源を切ってから周辺機器の電源を切ってください。

**重要**

・コネクタに周辺機器を取り付ける場合は、コネクタの向きを確認し、まっすぐ接続してください。
・複数の周辺機器を取り付ける場合は、１つずつ取り付けて設定を行ってください。

# 2 リモコンについて

### NB90K/TS, NB90K/T, NB75K/T, NB55K/T, NB90KN/T の場合のみ

ここではリモコンをお使いになる際の注意や、乾電池の交換方法について説明しています。
リモコンの操作方法については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7 ．パソコン本体の取り扱い」→「リモコン」→「リモコンについて」をご覧ください。

**重要**

**添付のリモコンを使用してください**
本製品に添付のリモコンを使用して操作してください。



## 乾電池を交換する

リモコンの乾電池を交換する方法については、「リモコンに乾電池を入れる」（••▶P.28）をご覧ください。

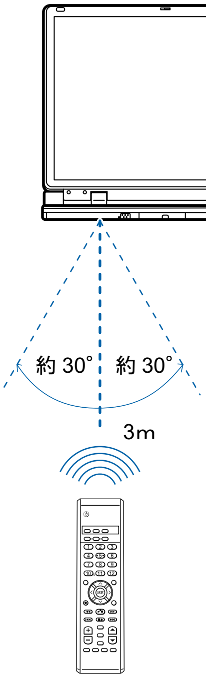
## リモコンをお使いになる場合の注意

リモコンをお使いになる場合は、次の点にご注意ください。

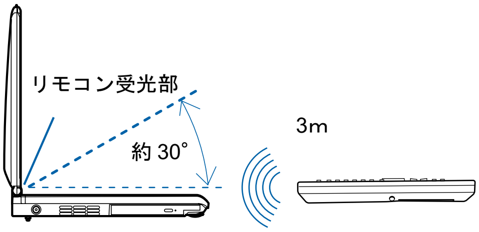
- リモコンをお使いになる場合には、リモコンマネージャーが起動している必要があります。画面右下の通知領域に（リモコンマネージャー）が表示されているか、確認してください。リモコンマネージャーについては、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「9 ．ソフトウェア一覧（読み別）」→「らりるれろ」→「リモコンマネージャー」をご覧ください。
- 直射日光などの強い光があたる場所での使用は避けてください。使用距離が短くなる場合があります。
- 信号が受けやすいように、リモコンをパソコン本体の受光部に向けてください。
- パソコン本体の受光部とリモコンの間に障害物がない場所に設置してください。
- リモコンをプラズマディスプレイ／プラズマテレビの近くでお使いになると、リモコンが正常に動作しないことがあります。
  これはプラズマディスプレイ／プラズマテレビから放射される赤外線により、リモコンとパソコン本体の受光部との通信が妨害されるために起こる現象です。
  このようなときは、パソコン本体またはプラズマディスプレイ／プラズマテレビの設置場所を変更してください。

## パソコン本体のリモコン受光部使用可能範囲

水平　約 30°（左右共）




垂直　約 30°（上）




注：使用可能範囲は、液晶ディスプレイの開く角度によっても異なります。

# 3 メモリの増設／交換

パソコンに取り付けられるメモリを増やすことによって、パソコンの処理能力などを上げることができます。ここでは、メモリを増やす方法について説明します。

## メモリの取り付け場所

メモリは、パソコン本体キーボード下の拡張 RAM モジュールスロットに取り付けます。
ご購入時の状態やメモリの増やし方は、お使いの機種により異なります。

### ■ NB90K/TS, NB90K/T, NB75K/T, NB80K, NB75K をお使いの方

ご購入時は、あらかじめ 512MB のメモリが取り付けられています。メモリは最大 1.5GB まで増やせます。
メモリ容量を増やすには、スロット 1 にメモリを取り付けます。

### ■ NB55K/T, NB55K をお使いの方

ご購入時は、あらかじめ 512MB のメモリが取り付けられています。メモリは最大 1GB まで増やせます。
メモリ容量を増やすには、スロット 1 にメモリを取り付けます。

### ■ NB50K をお使いの方

ご購入時は、あらかじめ 256MB のメモリが取り付けられています。メモリは最大 1GB まで増やせます。
メモリ容量を増やすには、スロット 1 にメモリを取り付けます。

### ■ NB90KN/T, NB80KN をお使いの方

ご購入時に選択したメモリが取り付けられています。メモリは最大 1.5GB まで増やせます。
512MB のメモリを選択された方がメモリ容量を増やすには、スロット 1 にメモリを取り付けます。
1GBのメモリを選択された方がメモリ容量を増やすには、あらかじめ搭載されている512MBのメモリを取り外して交換します。

### ■ NB50KN をお使いの方

ご購入時に選択したメモリが取り付けられています。メモリは最大 1GB まで増やせます。
256MB のメモリを選択された方がメモリ容量を増やすには、スロット 1 にメモリを取り付けます。
512MB のメモリを選択された方がメモリ容量を増やすには、あらかじめ搭載されている 256MB のメモリを取り外して交換します。

# 必要なものを用意する

## ■ NB90K/TS, NB90K/T, NB75K/T, NB55K/T, NB75K, NB55K, NB50K, NB90KN/T, NB50KN の場合

### メモリ（拡張 RAM（ラム）モジュール）

FMVNM25G1（256MB）、FMVNM51G1（512MB）、FMVNM1GG1（1GB）のメモリのうち、1 枚取り付けられます。

## ■ NB80K, NB80KN の場合

### メモリ（拡張 RAM（ラム）モジュール）

FMVNM25F1（256MB）、FMVNM51F1（512MB）、FMVNM1GF1（1GB）のメモリのうち、1 枚取り付けられます。

# メモリの組み合わせ表

次の表で、メモリの容量とメモリスロットの組み合わせを確認してください。
次の表以外の組み合わせにすると、パソコンが正常に動作しない場合があります。

## ■ NB90K/TS, NB90K/T, NB75K/T, NB80K, NB75K をお使いの方または、NB90KN/T, NB80KN で 512MB のメモリを選択した方

| 総容量 | 標準（オンボード）[注] | スロット 1 |
|---|---|---|
| 512MB（ご購入時） | 512MB | なし |
| 768MB | 512MB | 256MB |
| 1GB | 512MB | 512MB |
| 1.5GB（最大） | 512MB | 1GB |

注： 標準（オンボード）のメモリは交換できません。

## ■ NB90KN/T, NB80KN で 1GB のメモリを選択した方

| 総容量 | 標準（オンボード）[注 1] | スロット 1 |
|---|---|---|
| 1GB（ご購入時） | 512MB | 512MB |
| 1.5GB（最大） | 512MB | 1GB [注 2] |

注 1: 標準（オンボード）のメモリは交換できません。
注 2: あらかじめ取り付けられているメモリを交換します。

## ■NB55K/T, NB55K をお使いの方

| 総容量 | 標準（オンボード）［注 1］ | スロット 1 |
|---|---|---|
| 512MB（ご購入時） | 512MB | なし |
| 768MB | 512MB | 256MB |
| 1GB（最大） | 512MB | 512MB |
| | 512MB | 1GB［注 2］ |

注 1：標準（オンボード）のメモリは交換できません。
注 2：1GB のメモリを追加すると、標準（オンボード）の 512MB のメモリが無効になり、増設後は 1GB のみ有効になります。

## ■NB50K をお使いの方、または NB50KN で 256MB のメモリを選択した方

| 総容量 | 標準（オンボード）［注 1］ | スロット 1 |
|---|---|---|
| 256MB（ご購入時） | 256MB | なし |
| 512MB | 256MB | 256MB |
| 768MB | 256MB | 512MB |
| 1GB（最大） | 256MB | 1GB［注 2］ |

注 1：標準（オンボード）のメモリは交換できません。
注 2：1GB のメモリを追加すると、標準（オンボード）の 256MB のメモリが無効になり、増設後は 1GB のみ有効になります。

## ■NB50KN で 512MB のメモリを選択した方

| 総容量 | 標準（オンボード）［注 1］ | スロット 1 |
|---|---|---|
| 512MB（ご購入時） | 256MB | 256MB |
| 768MB | 256MB | 512MB［注 2］ |
| 1GB（最大） | 256MB | 1GB［注 2］［注 3］ |

注 1：標準（オンボード）のメモリは交換できません。
注 2：あらかじめ取り付けられているメモリを交換します。
注 3：1GB のメモリを追加すると、標準（オンボード）の 256MB のメモリが無効になり、増設後は 1GB のみ有効になります。

# メモリを増やす

ここでは、メモリを増やす方法を説明しています。
メモリスロットにメモリを取り付ける場合と、取り付けられているメモリを交換する場合で手順が異なります。お使いのパソコンの状態を確認して、正しく行ってください。

## 警告

感電

- メモリの取り付け／取り外しを行う場合は、必ずパソコン本体の電源を切り、AC アダプタを取り外してください。
  感電の原因となります。

誤飲

- 取り外したカバー、キャップ、ネジなどの小さな部品は、小さなお子様が誤って飲み込むと窒息の原因となります。保護者の方は、小さなお子様の手の届かない所に置くように注意してください。
  万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

## 注意

高温

- メモリの取り付け位置のすぐそばに高温になる部分があります。
  メモリの取り付け／取り外しを行うときは、パソコン本体の電源を切って、しばらくしてから行ってください。火傷の原因となることがあります。

故障

- メモリの取り付け／取り外しを行うときは、端子や IC などに触れないようメモリのふちを両手で持ってください。また、パソコン本体内部の部品や端子などにも触れないでください。指の油分などが付着すると、接触不良の原因となることがあります。

故障

- メモリは、静電気に対して非常に弱い部品で構成されており、人体に留った静電気により破壊される場合があります。メモリを取り扱う前に、一度金属質のものに手を触れて、静電気を放電してください。

故障

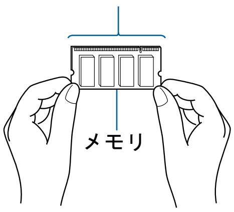
- メモリの取り付け／取り外しを行う場合は、必ずパソコン本体の電源を切ってください。スタンバイや休止状態中に行うと、データが消失したり、パソコン本体やメモリが故障する原因となることがあります。

### 重要

**メモリを取り付けるときの注意**

- 操作に必要な箇所以外には手を触れないでください。故障の原因となることがあります。
- パソコンの部品など不要な物を、パソコン本体内部に落とさないでください。故障の原因となることがあります。
- メモリは何度も抜き差ししないでください。故障の原因となることがあります。

・メモリは下図のようにふちを両手で持ってください。金色の線が入っている部分（端子）には、絶対に手を触れないでください。




POINT

**メモリの取り付け手順の動画を見ることができます**

ＦＭＶ 活用サイト AzbyClub（アズビィクラブ）ホームページ（http://azby.fmworld.net/）で、メモリの取り付け手順の動画がご覧になれます。

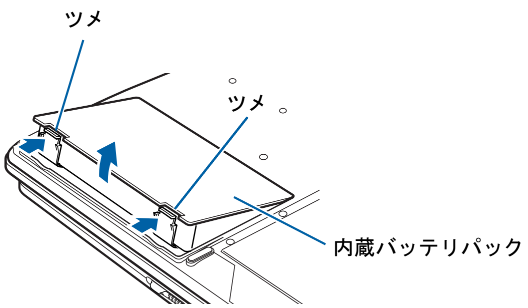
## 1 パソコン本体の電源を切り、AC アダプタを取り外します。

## 2 液晶ディスプレイを閉じ、パソコン本体を裏返します。



## 3 ツメを矢印の方向に押しながら、内蔵バッテリパックを斜め上に持ち上げて取り外します。

内蔵バッテリパックがコネクタから外れます。



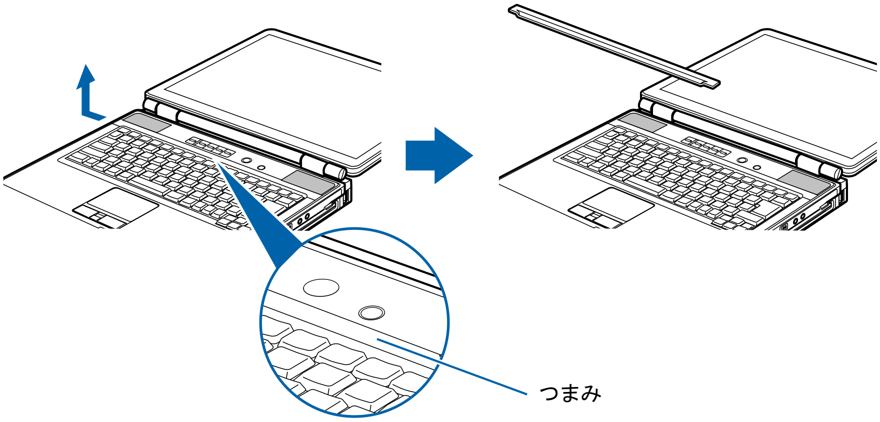

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

## 4 メモリの取り付け場所とメモリの容量の組み合わせを確認します。

メモリの取り付け場所については、「メモリの取り付け場所」（▶P.97）をご覧ください。
メモリの容量と組み合わせについては、「メモリの組み合わせ表」（▶P.98）をご覧ください。

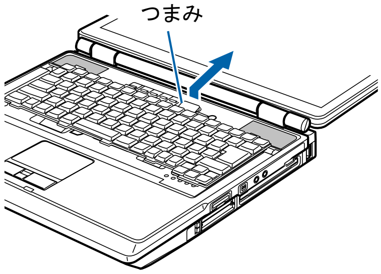
次のページへ

## 5 液晶ディスプレイを開き、カバーを左にスライドして持ち上げます。

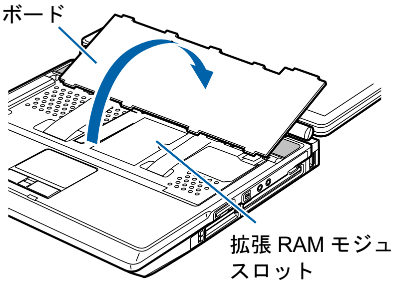



（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

## 6 矢印のように、キーボードのつまみを持ち上げてから液晶ディスプレイの方向に軽く引っ張ります。




## 7 キーボードを静かに持ち上げて開きます。




重要

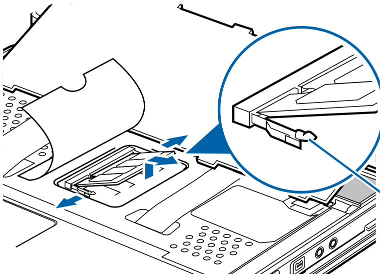
**キーボードを開いたときには**

キーボードが液晶ディスプレイに触れないようにしてください。

取り付けられているメモリを新しいメモリに交換する場合は、手順 8 へ進んでください。
メモリスロットにメモリを取り付ける場合は、手順 9 へ進んでください。

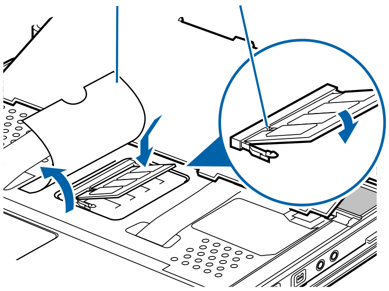
## 8 メモリを取り外します。

スロット部のカバーをめくり、メモリを押さえている両側のツメを左右に開くと、メモリが少し斜めに持ち上がるので、メモリを斜め上の方向に引っ張り、スロットから取り外します。



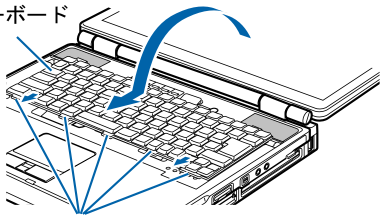

## 9 メモリを取り付けます。

メモリの欠けている部分と、コネクタの突起を合わせ、斜め上からしっかりと差し込み、パチンと音がするまで下に倒します。



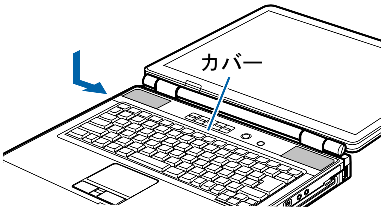

## 10 キーボードを静かに降ろします。

キーボードのツメとパソコン本体のツメ穴を合わせ、ケーブルをはさまないように閉じます。




次のページへ

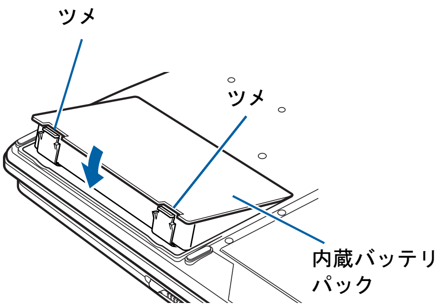
## 11 手順 6 で外したカバーを取り付けます。




## 12 液晶ディスプレイを閉じ、パソコン本体を裏返します。

## 13 内蔵バッテリパックを取り付けます。

内蔵バッテリパックを斜め上から差し込み、ツメがカチッと音がするまでしっかりはめこみます。




続いて、メモリの容量を確認します（••▶P.105）。

## メモリ容量を確認する

**1　パソコン本体の電源を入れます。**

**重要**

**画面に何も表示されないときは**

メモリが正しく取り付けられていないと、電源を入れたときに「拡張メモリエラー」というメッセージや英語のメッセージが表示されたり、画面に何も表示されないことがあります。その場合は電源ボタンを 4 秒以上押し続けてパソコンの電源を切り、メモリを取り付け直してください。

**2　「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。**

「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

**3　「パフォーマンスとメンテナンス」→「システム」の順にクリックします。**

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。



**4　○で囲んだ部分の数値が、増やしたメモリの分だけ増えているかどうかを確認します。**

メモリ容量の数値が正しくない場合は、メモリがきちんと取り付けられているかどうかを確認してください。




メモリ容量の表示はお使いのパソコンによって異なります。

■NB90K/TS, NB90K/T, NB75K/T, NB75K, NB90KN/T の場合

このパソコンではメモリの一部をグラフィック用メモリとして使用するため、お使いの動作環境により 8MB から 64MB 少なく表示されます。
また、お使いのシステム構成によってはさらに 1MB 少なく表示される場合があります。

■NB55K/T, NB55K, NB50K, NB50KN の場合

このパソコンではメモリの一部をグラフィック用メモリとして使用するため、お使いの動作環境により 8MB から 64MB 少なく表示されます。
また、お使いのシステム構成によってはさらに 1MB 少なく表示される場合があります。
なお、パソコンに 1GB のメモリを追加すると、標準（オンボード）の 256MB または 512MB のメモリが無効になり、増設後は 1GB のみ有効になります。

■NB80K, NB80KN の場合

お使いのシステム構成によってはさらに 1MB 少なく表示される場合があります。

次のページへ

## 5 「OK」をクリックします。

「パフォーマンスとメンテナンス」ウィンドウに戻ります。

6

第 6 章

# 仕様一覧

# 1 パソコン本体の仕様

| 製品名称 | | FMV-BIBLO NB90K/TS | FMV-BIBLO NB90K/T |
|---|---|---|---|
| CPU 注1 | | インテル® Pentium® M プロセッサ 735<br>（インテル® Centrino™ モバイル・テクノロジ搭載） | |
| | | 1.70GHz | |
| キャッシュメモリ | | 1 次：64KB 、2 次：2MB（CPU 内蔵） | |
| チップセット | | インテル® 855GM チップセット | |
| システム・バス | | 400MHz | |
| メインメモリ | | 標準 512MB（PC2100 DDR SDRAM）ECC なし　最大 1.5GB | |
| 拡張メモリスロット | | × 1（空きスロット× 1） | |
| 表示機能 | グラフィックアクセラレータ | チップセットに内蔵 | |
| | ビデオメモリ | 最小 8MB ／最大 64MB（メインメモリと共用）注4 | |
| | 液晶ディスプレイ注5 | 高色純度・高輝度・低反射・広視野角 15 型 TFT カラー 1024 × 768 ドット<br>（スーパーファイン DX Ⅱ 液晶） | |
| | 解像度／発色数 | 液晶ディスプレイ表示：1024 × 768 ドット／ 1677 万色注6<br>外部ディスプレイ表示：最大 1600 × 1200 ドット／最大 1677 万色<br>液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示：1024 × 768 ドット／ 1677 万色注6 | |
| フロッピーディスクドライブ注7 | | FDD ユニット（USB）（別売） | |
| ハードディスクドライブ注8 | | 200GB（100GB × 2、Ultra ATA/100） | |
| CD/DVD ドライブ注9 | | スーパー マルチドライブ | |
| オーディオ機能 | オーディオコントローラ | チップセット内蔵 + AC97 コーデック | |
| | PCM 録音再生機能 | サンプリング周波数　最大 48kHz、16 ビット　ステレオ、同時録音再生対応 | |
| | MIDI 再生機能 | OS 標準機能にてサポート | |
| | スピーカー | ステレオスピーカー内蔵 | |
| キーボード | | OADG 配列準拠 87 キー（Windows キー、アプリケーションキー付） | |
| ポインティングデバイス | | フラットポイント、スクロールボタン、USB マウス（光学式）添付 | |
| リモコン | | リモコン標準添付 | |
| ワンタッチボタン /<br>TV•DVD 操作ボタン等 | | プログラマブル× 4（CD/DVD 操作兼用）、モードボタン、TV ボタン、<br>DVD/CD ボタン、チャンネルボタン、音量調節ボタン、あざやかボタン搭載 | |
| 通信機能 | モデム | データ：最大 56kbps（V.92 規格準拠）注10 ／ FAX：14.4kbps | |
| | LAN | 100BASE-TX / 10BASE-T 準拠 | |
| | ワイヤレス LAN | IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠（Wi-Fi® 準拠）注31 | |
| ホームサーバー機能 | | FMV ステーション<br>（FMVST-101）添付注11 | － |
| テレビ | テレビチューナー | 受信チャンネル注12：VHF、（1 ～ 12ch）、UHF（13 ～ 62ch）、<br>CATV（13 ～ 63ch）ステレオ、音声多重対応 | |
| | 録画形式 | MPEG2（ハードエンコード）注13 | |
| | 高画質化機能 | 3 次元 Y/C 分離、ゴーストリダクション | |

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
「仕様一覧の注記について」（••▶P.123）

| 製品名称 | | | FMV-BIBLO NB90K/TS | FMV-BIBLO NB90K/T |
|---|---|---|---|---|
| インターフェース | PC カード | | PC Card Standard 準拠 Type Ⅰ / Ⅱ× 2 スロット<br>または Type Ⅲ× 1 スロット（CardBus 対応） | |
| | SD カード／<br>メモリースティック注 14 | | × 1 スロット （メモリースティック PRO 対応） | |
| | 外部ディスプレイ／<br>ビデオ出力 | | アナログ RGB ミニ D-SUB 15 ピン× 1 ／ S ビデオ× 1（NTSC 出力） | |
| | USB 注 15 | | USB2.0 準拠× 4（右側面× 1、背面× 3） | |
| | IEEE1394（DV） 注 16 | | 4 ピン× 1（S400） | |
| | モデム | | RJ-11 × 1 | |
| | LAN | | RJ-45 × 1 | |
| | ビデオ入力 | | ビデオ入力（S ビデオ× 1、コンポジット× 1）注 17、<br>ビデオ音声入力（L/R、RCA ×各 1） 注 18 | |
| | テレビアンテナ入力 | | ミニジャック× 1（標準添付の RF 変換ケーブルを使用） | |
| | オーディオ | | ヘッドホン：$\phi$3.5mm ステレオ・ミニジャック、<br>（出力：1mW 以上、負荷インピーダンス 32Ω）／<br>マイク：$\phi$3.5mm ミニジャック<br>（入力：100mV 以下、入力インピーダンス（AC）10kΩ 以上 （DC）2kΩ 以上） | |
| | 状態表示 | | LED | |
| 電源供給方式 | | AC アダプタ | 入力 AC100V ～ 240V、出力 DC19V（3.16A） | |
| | | バッテリ | 内蔵バッテリパック：リチウムイオン 14.4V ／ 2000mAh | |
| バッテリ稼働時間<br>(JEITA 測定法 1.0 注 19) | | | 約 1.7 時間 | |
| バッテリ充電時間注 20 | | | 約 2.5 時間 | |
| 消費電力注 21 | | | 約 32W ／約 68W | |
| 省エネ法に基づく<br>エネルギー消費効率注 22 | | | S 区分 0.00039 | |
| 省エネルギー基準達成率注 23 | | | AAA | |
| 外形寸法 | | | W329 × D288.5 × H43.1 ～ 57.0 mm（突起部含まず） | |
| 質量 | | | 約 4.0kg | |
| 盗難防止用ロック | | | あり | |
| 温湿度条件 | | | 温度 5 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、<br>温度 -10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（非動作時）<br>（ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと） | |
| プレインストール OS | | | Windows XP Home Edition 注 24（DirectX 9.0c 対応） | |
| サポート OS | | | Windows XP Home Edition、Windows XP Professional 注 25 | |

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
「仕様一覧の注記について」（••▶P.123）

<table>
<tr><th colspan="2">製品名称</th><th>FMV-BIBLO NB75K/T</th><th>FMV-BIBLO NB75K</th></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">CPU[注1]</td><td colspan="2">インテル® Pentium® M プロセッサ 735<br>（インテル® Centrino™ モバイル・テクノロジ搭載）</td></tr>
<tr><td colspan="2">1.70GHz</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャッシュメモリ</td><td colspan="2">1 次：64KB 、2 次：2MB（CPU 内蔵）</td></tr>
<tr><td colspan="2">チップセット</td><td colspan="2">インテル® 855GM チップセット</td></tr>
<tr><td colspan="2">システム・バス</td><td colspan="2">400MHz</td></tr>
<tr><td colspan="2">メインメモリ</td><td colspan="2">標準 512MB（PC2100 DDR SDRAM）ECC なし　最大 1.5GB</td></tr>
<tr><td colspan="2">拡張メモリスロット</td><td colspan="2">× 1（空きスロット× 1）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">表示機能</td><td>グラフィック<br>アクセラレータ</td><td colspan="2">チップセットに内蔵</td></tr>
<tr><td>ビデオメモリ</td><td colspan="2">最小 8MB ／最大 64MB（メインメモリと共用）[注4]</td></tr>
<tr><td>液晶ディスプレイ[注5]</td><td colspan="2">高色純度・高輝度・低反射・広視野角 15 型 TFT カラー 1024 × 768 ドット<br>（スーパーファイン DX Ⅱ 液晶）</td></tr>
<tr><td>解像度／発色数</td><td colspan="2">液晶ディスプレイ表示：1024 × 768 ドット／ 1677 万色[注6]<br>外部ディスプレイ表示：最大 1600 × 1200 ドット／最大 1677 万色<br>液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示：1024 × 768 ドット／ 1677 万色[注6]</td></tr>
<tr><td colspan="2">フロッピーディスク<br>ドライブ[注7]</td><td>FDD ユニット（USB）（別売）</td><td>3.5 インチ× 1<br>（3 モード対応）</td></tr>
<tr><td colspan="2">ハードディスクドライブ[注8]</td><td>140GB（80GB ＋ 60GB、Ultra ATA/100）</td><td>100GB（Ultra ATA/100）</td></tr>
<tr><td colspan="2">CD/DVD ドライブ[注9]</td><td colspan="2">スーパー マルチドライブ</td></tr>
<tr><td rowspan="4">オーディオ機能</td><td>オーディオコントローラ</td><td colspan="2">チップセット内蔵 + AC97 コーデック</td></tr>
<tr><td>PCM 録音再生機能</td><td colspan="2">サンプリング周波数　最大 48kHz、16 ビット　ステレオ、同時録音再生対応</td></tr>
<tr><td>MIDI 再生機能</td><td colspan="2">OS 標準機能にてサポート</td></tr>
<tr><td>スピーカー</td><td colspan="2">ステレオスピーカー内蔵</td></tr>
<tr><td colspan="2">キーボード</td><td colspan="2">OADG 配列準拠 87 キー（Windows キー、アプリケーションキー付）</td></tr>
<tr><td colspan="2">ポインティングデバイス</td><td colspan="2">フラットポイント、スクロールボタン、USB マウス（光学式）添付</td></tr>
<tr><td colspan="2">リモコン</td><td>リモコン標準添付</td><td>—</td></tr>
<tr><td colspan="2">ワンタッチボタン /<br>TV•DVD 操作ボタン等</td><td>プログラマブル× 4（CD/DVD 操作兼用）、<br>モードボタン、TV ボタン、<br>DVD/CD ボタン、チャンネルボタン、<br>音量調節ボタン、あざやかボタン搭載</td><td>プログラマブル× 4<br>（CD/DVD 操作兼用）、<br>モードボタン、あざやかボタン搭載</td></tr>
<tr><td rowspan="3">通信機能</td><td>モデム</td><td colspan="2">データ：最大 56kbps（V.92 規格準拠）[注10] ／ FAX：14.4kbps</td></tr>
<tr><td>LAN</td><td colspan="2">100BASE-TX / 10BASE-T 準拠</td></tr>
<tr><td>ワイヤレス LAN</td><td colspan="2">IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠（Wi-Fi® 準拠）[注31]</td></tr>
<tr><td colspan="2">ホームサーバー機能</td><td colspan="2">—</td></tr>
<tr><td rowspan="3">テレビ</td><td>テレビチューナー</td><td>受信チャンネル[注12]：VHF、（1 ～ 12ch）、<br>UHF（13 ～ 62ch）、<br>CATV（13 ～ 63ch）<br>ステレオ、音声多重対応</td><td>—</td></tr>
<tr><td>録画形式</td><td>MPEG2（ハードエンコード）[注13]</td><td>—</td></tr>
<tr><td>高画質化機能</td><td colspan="2">—</td></tr>
</table>

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
「仕様一覧の注記について」（••▶P.123）

<table>
<tr><th colspan="2">製品名称</th><th>FMV-BIBLO NB75K/T</th><th>FMV-BIBLO NB75K</th></tr>
<tr><td rowspan="12">インターフェース</td><td>PC カード</td><td colspan="2">PC Card Standard 準拠 Type Ⅰ / Ⅱ × 2 スロット<br>または Type Ⅲ × 1 スロット（CardBus 対応）</td></tr>
<tr><td>SD カード／<br>メモリースティック[注14]</td><td colspan="2">× 1 スロット （メモリースティック PRO 対応）</td></tr>
<tr><td>外部ディスプレイ／<br>ビデオ出力</td><td colspan="2">アナログ RGB ミニ D-SUB 15 ピン× 1 ／ S ビデオ× 1（NTSC 出力）</td></tr>
<tr><td>USB [注15]</td><td colspan="2">USB2.0 準拠× 4（右側面× 1、背面× 3）</td></tr>
<tr><td>IEEE1394（DV）[注16]</td><td colspan="2">4 ピン× 1（S400）</td></tr>
<tr><td>モデム</td><td colspan="2">RJ-11 × 1</td></tr>
<tr><td>LAN</td><td colspan="2">RJ-45 × 1</td></tr>
<tr><td>ビデオ入力</td><td>ビデオ入力（S ビデオ× 1、<br>コンポジット× 1）[注17]、<br>ビデオ音声入力（L/R、RCA ×各 1）[注18]</td><td>—</td></tr>
<tr><td>テレビアンテナ入力</td><td>ミニジャック× 1<br>（標準添付の RF 変換ケーブルを使用）</td><td>—</td></tr>
<tr><td>オーディオ</td><td colspan="2">ヘッドホン： φ3.5mm ステレオ・ミニジャック、<br>（出力：1mW 以上、負荷インピーダンス 32Ω）<br>／マイク： φ3.5mm ミニジャック<br>（入力：100mV 以下、入力インピーダンス（AC）10kΩ 以上 （DC）2kΩ 以上）</td></tr>
<tr><td>状態表示</td><td colspan="2">LED</td></tr>
<tr><td rowspan="2">電源供給方式</td><td>AC アダプタ</td><td colspan="2">入力 AC100V ～ 240V、出力 DC19V（3.16A）</td></tr>
<tr><td>バッテリ</td><td colspan="2">内蔵バッテリパック：リチウムイオン 14.4V ／ 2000mAh</td></tr>
<tr><td colspan="2">バッテリ稼働時間<br>（JEITA 測定法 1.0 [注19]）</td><td>約 1.8 時間</td><td>約 2.1 時間</td></tr>
<tr><td colspan="2">バッテリ充電時間[注20]</td><td colspan="2">約 2.5 時間</td></tr>
<tr><td colspan="2">消費電力[注21]</td><td>約 30W ／約 68W</td><td>約 28W ／約 68W</td></tr>
<tr><td colspan="2">省エネ法に基づく<br>エネルギー消費効率[注22]</td><td colspan="2">S 区分 0.00039</td></tr>
<tr><td colspan="2">省エネルギー基準達成率[注23]</td><td colspan="2">AAA</td></tr>
<tr><td colspan="2">外形寸法</td><td colspan="2">W329 × D288.5 × H43.1 ～ 57.0 mm（突起部含まず）</td></tr>
<tr><td colspan="2">質量</td><td>約 4.0kg</td><td>約 3.8kg</td></tr>
<tr><td colspan="2">盗難防止用ロック</td><td colspan="2">あり</td></tr>
<tr><td colspan="2">温湿度条件</td><td colspan="2">温度 5 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、<br>温度 -10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（非動作時）<br>（ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）</td></tr>
<tr><td colspan="2">プレインストール OS</td><td colspan="2">Windows XP Home Edition [注24]（DirectX 9.0c 対応）</td></tr>
<tr><td colspan="2">サポート OS</td><td colspan="2">Windows XP Home Edition、Windows XP Professional [注25]</td></tr>
</table>

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
「仕様一覧の注記について」（▶P.123）

6

| 製品名称 | | FMV-BIBLO NB80K |
|---|---|---|
| CPU 注1 | | 低電力モバイル AMD Athlon™ 64 プロセッサ 2800+ 注2 |
| キャッシュメモリ | | 1次：128KB、2次：512KB（CPU内蔵） |
| チップセット | | NVIDIA® nForce ™ 3 Go150 |
| システム・バス | | 1200MHz HyperTransport |
| メインメモリ | | 標準 512MB（PC2700 DDR SDRAM）ECC なし　最大 1.5GB |
| 拡張メモリスロット | | ×1（空きスロット×1） |
| 表示機能 | グラフィックアクセラレータ | NVIDIA® GeForce ™ 4 420Go 32MB（AGP 接続） |
| | ビデオメモリ | 32MB（DDR SDRAM） |
| | 液晶ディスプレイ注5 | 高色純度・高輝度・低反射・広視野角 15 型 TFT カラー 1024 × 768 ドット（スーパーファイン DX Ⅱ 液晶） |
| | 解像度／発色数 | 液晶ディスプレイ表示：最大 1024 × 768 ドット／ 1677 万色注6<br>外部ディスプレイ表示：最大 1600 × 1200 ドット／最大 1677 万色<br>液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示：<br>最大 1024 × 768 ドット／ 1677 万色注6 |
| フロッピーディスクドライブ注7 | | 3.5 インチ×1（3 モード対応） |
| ハードディスクドライブ注8 | | 100GB（Ultra ATA/100） |
| CD/DVD ドライブ注9 | | スーパー マルチドライブ |
| オーディオ機能 | オーディオコントローラ | チップセット内蔵 + AC97 コーデック |
| | PCM 録音再生機能 | サンプリング周波数　最大 48kHz、16 ビット　ステレオ、同時録音再生対応 |
| | MIDI 再生機能 | OS 標準機能にてサポート |
| | スピーカー | ステレオスピーカー内蔵 |
| キーボード | | OADG 配列準拠 87 キー（Windows キー、アプリケーションキー付） |
| ポインティングデバイス | | フラットポイント、スクロールボタン、USB マウス（光学式）添付 |
| リモコン | | − |
| ワンタッチボタン /<br>TV•DVD 操作ボタン等 | | プログラマブル×4（CD/DVD 操作兼用）、モードボタン、あざやかボタン搭載 |
| 通信機能 | モデム | データ：最大 56kbps（V.92 規格準拠）注10 ／ FAX：14.4kbps |
| | LAN | 100BASE-TX / 10BASE-T 準拠 |
| | ワイヤレス LAN | IEEE 802.11a 準拠、IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠（Wi-Fi® 準拠）注31 |
| ホームサーバー機能 | | − |
| テレビ | テレビチューナー | − |
| | 録画形式 | − |
| | 高画質化機能 | − |

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
「仕様一覧の注記について」（••▶P.123）

<table>
<tr><th colspan="2">製品名称</th><th>FMV-BIBLO NB80K</th></tr>
<tr><td rowspan="11">インターフェース</td><td>PC カード</td><td>PC Card Standard 準拠 Type Ⅰ / Ⅱ× 2 スロット<br>または Type Ⅲ× 1 スロット（CardBus 対応）</td></tr>
<tr><td>SD カード／<br>メモリースティック注 14</td><td>× 1 スロット （メモリースティック PRO 対応）</td></tr>
<tr><td>外部ディスプレイ／<br>ビデオ出力</td><td>アナログ RGB ミニ D-SUB 15 ピン× 1 ／ S ビデオ× 1（NTSC 出力）</td></tr>
<tr><td>USB 注 15</td><td>USB2.0 準拠× 4（右側面× 1、背面× 3）</td></tr>
<tr><td>IEEE1394（DV）注 16</td><td>4 ピン× 1（S400）</td></tr>
<tr><td>モデム</td><td>RJ-11 × 1</td></tr>
<tr><td>LAN</td><td>RJ-45 × 1</td></tr>
<tr><td>ビデオ入力</td><td>－</td></tr>
<tr><td>テレビアンテナ入力</td><td>－</td></tr>
<tr><td>オーディオ</td><td>ヘッドホン：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック、<br>（出力：1mW 以上、負荷インピーダンス 32Ω）／<br>マイク：φ3.5mm ミニジャック<br>（入力：100mV 以下、入力インピーダンス（AC）10kΩ 以上 （DC）2kΩ 以上）</td></tr>
<tr><td>状態表示</td><td>LED</td></tr>
<tr><td rowspan="2">電源供給方式</td><td>AC アダプタ</td><td>入力 AC100V ～ 240V、出力 DC19V（4.22A）</td></tr>
<tr><td>バッテリ</td><td>内蔵バッテリパック：リチウムイオン　14.4V ／ 2000mAh</td></tr>
<tr><td colspan="2">バッテリ稼働時間<br>（JEITA 測定法 1.0 注 19）</td><td>約 1.6 時間</td></tr>
<tr><td colspan="2">バッテリ充電時間注 20</td><td>約 2.5 時間</td></tr>
<tr><td colspan="2">消費電力注 21</td><td>約 33W ／約 88W</td></tr>
<tr><td colspan="2">省エネ法に基づく<br>エネルギー消費効率注 22</td><td>S 区分 0.00070</td></tr>
<tr><td colspan="2">省エネルギー基準達成率注 23</td><td>AAA</td></tr>
<tr><td colspan="2">外形寸法</td><td>W329 × D288.5 × H43.1 ～ 63.5 mm（突起部含まず）</td></tr>
<tr><td colspan="2">質量</td><td>約 3.9kg</td></tr>
<tr><td colspan="2">盗難防止用ロック</td><td>あり</td></tr>
<tr><td colspan="2">温湿度条件</td><td>温度 5 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、<br>温度 -10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（非動作時）<br>（ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）</td></tr>
<tr><td colspan="2">プレインストール OS</td><td>Windows XP Professional 注 24（DirectX 9.0c 対応）</td></tr>
<tr><td colspan="2">サポート OS</td><td>Windows XP Home Edition、Windows XP Professional 注 25</td></tr>
</table>

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
「仕様一覧の注記について」（••▶P.123）

| 製品名称 | | FMV-BIBLO NB55K/T | FMV-BIBLO NB55K | FMV-BIBLO NB50K |
|---|---|---|---|---|
| CPU[注1] | | インテル® Celeron® M プロセッサ 350 | | |
| | | 1.30GHz | | |
| キャッシュメモリ | | 1 次：64KB、2 次：1MB（CPU 内蔵） | | |
| チップセット | | インテル® 852GM チップセット | | |
| システム・バス | | 400MHz | | |
| メインメモリ | | 標準 512MB（PC2100 DDR SDRAM）ECC なし<br>最大 1GB[注3] | | 標準 256MB<br>（PC2100 DDR SDRAM）<br>ECC なし　最大 1GB[注3] |
| 拡張メモリスロット | | × 1（空きスロット× 1） | | |
| 表示機能 | グラフィック<br>アクセラレータ | チップセットに内蔵 | | |
| | ビデオメモリ | 標準 8MB ／最大 64MB（メインメモリと共用）[注4] | | |
| | 液晶ディスプレイ[注5] | 高色純度・高輝度・低反射・広視野角 15 型 TFT カラー<br>1024 × 768 ドット<br>（スーパーファイン DX II 液晶） | | 高輝度・低反射 15 型<br>TFT カラー<br>1024 × 768 ドット<br>（スーパーファイン液晶） |
| | 解像度／発色数 | 液晶ディスプレイ表示：1024 × 768 ドット／ 1677 万色[注6]<br>外部ディスプレイ表示：最大 1600 × 1200 ドット／最大 1677 万色<br>液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示：1024 × 768 ドット／ 1677 万色[注6] | | |
| フロッピーディスク<br>ドライブ[注7] | | FDD ユニット（USB）<br>（別売） | 3.5 インチ× 1（3 モード対応） | |
| ハードディスクドライブ[注8] | | 100GB（Ultra ATA/100） | 80GB（Ultra ATA/100） | 60GB（Ultra ATA/100） |
| CD/DVD ドライブ[注9] | | スーパーマルチドライブ | | |
| オーディオ機能 | オーディオコントローラ | チップセット内蔵＋AC97 コーデック | | |
| | PCM 録音再生機能 | サンプリング周波数　最大 48kHz、16 ビット　ステレオ、同時録音再生対応 | | |
| | MIDI 再生機能 | OS 標準機能にてサポート | | |
| | スピーカー | ステレオスピーカー内蔵 | | |
| キーボード | | OADG 配列準拠 87 キー（Windows キー、アプリケーションキー付） | | |
| ポインティングデバイス | | フラットポイント、スクロールボタン、USB マウス（光学式）添付 | | |
| リモコン | | リモコン標準添付 | — | |
| ワンタッチボタン /<br>TV•DVD 操作ボタン等 | | プログラマブル× 4<br>（CD/DVD 操作兼用）、<br>モードボタン、TV ボタン、<br>DVD/CD ボタン、<br>チャンネルボタン、<br>音量調節ボタン、<br>あざやかボタン搭載 | プログラマブル× 4（CD/DVD 操作兼用）、<br>モードボタン、あざやかボタン搭載 | |

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
「仕様一覧の注記について」（••▶P.123）

<table>
<tr><th colspan="2">製品名称</th><th>FMV-BIBLO NB55K/T</th><th>FMV-BIBLO NB55K</th><th>FMV-BIBLO NB50K</th></tr>
<tr><td rowspan="3">通信機能</td><td>モデム</td><td colspan="3">データ：最大 56kbps（V.92 規格準拠）注 10／FAX：14.4kbps</td></tr>
<tr><td>LAN</td><td colspan="3">100BASE-TX / 10BASE-T 準拠</td></tr>
<tr><td>ワイヤレス LAN</td><td colspan="3">－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ホームサーバー機能</td><td colspan="3">－</td></tr>
<tr><td rowspan="3">テレビ</td><td>テレビチューナー</td><td>受信チャンネル注 12：<br>VHF（1 ～ 12ch）、<br>UHF（13 ～ 62ch）、<br>CATV（13 ～ 63ch）<br>ステレオ、音声多重対応</td><td colspan="2">－</td></tr>
<tr><td>録画形式</td><td>MPEG2<br>（ハードエンコード）注 13</td><td colspan="2">－</td></tr>
<tr><td>高画質化機能</td><td colspan="3">－</td></tr>
<tr><td rowspan="11">インターフェース</td><td>PC カード</td><td colspan="3">PC Card Standard 準拠 Type Ⅰ / Ⅱ× 2 スロット<br>または Type Ⅲ× 1 スロット（CardBus 対応）</td></tr>
<tr><td>SD カード／<br>メモリースティック注 14</td><td colspan="3">× 1 スロット （メモリースティック PRO 対応）</td></tr>
<tr><td>外部ディスプレイ／<br>ビデオ出力</td><td colspan="3">アナログ RGB ミニ D-SUB 15 ピン× 1 ／ S ビデオ× 1（NTSC 出力）</td></tr>
<tr><td>USB 注 15</td><td colspan="3">USB2.0 準拠× 4（右側面× 1、背面× 3）</td></tr>
<tr><td>IEEE1394（DV）注 16</td><td colspan="3">4 ピン× 1（S400）</td></tr>
<tr><td>モデム</td><td colspan="3">RJ-11 × 1</td></tr>
<tr><td>LAN</td><td colspan="3">RJ-45 × 1</td></tr>
<tr><td>ビデオ入力</td><td>ビデオ入力<br>（S ビデオ× 1、<br>コンポジット× 1）注 17、<br>ビデオ音声入力<br>（L/R、RCA ×各 1）注 18</td><td colspan="2">－</td></tr>
<tr><td>テレビアンテナ入力</td><td>ミニジャック× 1<br>（標準添付の<br>RF 変換ケーブルを使用）</td><td colspan="2">－</td></tr>
<tr><td>オーディオ</td><td colspan="3">ヘッドホン：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック<br>（出力：1mW 以上、負荷インピーダンス 32Ω）／<br>マイク：φ3.5mm ミニジャック<br>（入力：100mV 以下、入力インピーダンス（AC）10kΩ 以上（DC）2kΩ 以上）</td></tr>
<tr><td>状態表示</td><td colspan="3">LED</td></tr>
<tr><td rowspan="2">電源供給方式</td><td>AC アダプタ</td><td colspan="3">入力 AC100V ～ 240V、出力 DC19V（3.16A）</td></tr>
<tr><td>バッテリ</td><td colspan="3">内蔵バッテリパック：リチウムイオン 14.4V ／ 2000mAh</td></tr>
<tr><td colspan="2">バッテリ稼働時間<br>（JEITA 測定法 1.0 注 19）</td><td>約 1.0 時間</td><td>約 1.1 時間</td><td>約 1.2 時間</td></tr>
<tr><td colspan="2">バッテリ充電時間注 20</td><td colspan="3">約 2.5 時間</td></tr>
<tr><td colspan="2">消費電力注 21</td><td>約 38W ／約 68W</td><td>約 35W ／約 68W</td><td>約 33W ／約 68W</td></tr>
<tr><td colspan="2">省エネ法に基づく<br>エネルギー消費効率注 22</td><td colspan="2">S 区分 0.00051</td><td>S 区分 0.00048</td></tr>
<tr><td colspan="2">省エネルギー基準達成率注 23</td><td colspan="3">AAA</td></tr>
<tr><td colspan="2">外形寸法</td><td colspan="2">W329.0 × D288.5 × H43.1 ～ 57.0 mm（突起部含まず）</td><td>W329 × D285.5 × H43.9 ～<br>45.3 mm（突起部含まず）</td></tr>
<tr><td colspan="2">質量</td><td>約 3.9kg</td><td>約 3.8kg</td><td>約 3.6kg</td></tr>
</table>

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
「仕様一覧の注記について」（••▶P.123）

6

| 製品名称 | FMV-BIBLO NB55K/T | FMV-BIBLO NB55K | FMV-BIBLO NB50K |
|---|---|---|---|
| 盗難防止用ロック | あり | | |
| 温湿度条件 | 温度 5 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、<br>温度 -10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（非動作時）<br>（ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと） | | |
| プレインストール OS | Windows XP Home Edition 注 24<br>（DirectX 9.0c 対応） | | Windows XP<br>Home Edition 注 24<br>（DirectX 9.0c 対応）<br>または Windows XP<br>Professional 注 24<br>（DirectX 9.0c 対応） |
| サポート OS | Windows XP Home Edition、Windows XP Professional 注 25 | | |

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

「仕様一覧の注記について」（••▶P.123）

| 製品名称 | | FMV-BIBLO NB90KN/T |
| --- | --- | --- |
| CPU[注1] | | インテル® Pentium® M プロセッサ 735<br>（インテル® Centrino™ モバイル・テクノロジ搭載） |
| | | 1.70GHz |
| キャッシュメモリ | | 1 次：64KB 、2 次：2MB（CPU 内蔵） |
| チップセット | | インテル® 855GM チップセット |
| システム・バス | | 400MHz |
| メインメモリ | | 標準 512MB[注26]（PC2100 DDR SDRAM）ECC なし　最大 1.5GB |
| 拡張メモリスロット | | × 1（空きスロット× 1） |
| 表示機能 | グラフィック<br>アクセラレータ | チップセットに内蔵 |
| | ビデオメモリ | 最小 8MB ／最大 64MB（メインメモリと共用）[注4] |
| | 液晶ディスプレイ[注5] | 高色純度・高輝度・低反射・広視野角 15 型 TFT カラー 1024 × 768 ドット<br>（スーパーファイン DX II 液晶） |
| | 解像度／発色数 | 液晶ディスプレイ表示：1024 × 768 ドット／ 1677 万色[注6]<br>外部ディスプレイ表示：最大 1600 × 1200 ドット／最大 1677 万色<br>液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示：<br>1024 × 768 ドット／ 1677 万色[注6] |
| フロッピーディスクドライブ[注7] | | FDD ユニット（USB）（別売） |
| ハードディスクドライブ[注8] | | 140GB（80GB + 60GB、Ultra ATA/100）[注27] |
| CD/DVD ドライブ[注9] | | スーパー マルチドライブ |
| オーディオ機能 | オーディオコントローラ | チップセット内蔵 + AC97 コーデック |
| | PCM 録音再生機能 | サンプリング周波数　最大 48kHz、16 ビット　ステレオ、同時録音再生対応 |
| | MIDI 再生機能 | OS 標準機能にてサポート |
| | スピーカー | ステレオスピーカー内蔵 |
| キーボード | | OADG 配列準拠 87 キー（Windows キー、アプリケーションキー付） |
| ポインティングデバイス | | フラットポイント、スクロールボタン、USB マウス（光学式）添付 |
| リモコン | | リモコン標準添付 |
| ワンタッチボタン /<br>TV•DVD 操作ボタン等 | | プログラマブル× 4（CD/DVD 操作兼用）、モードボタン、TV ボタン、<br>DVD/CD ボタン、チャンネルボタン、音量調節ボタン、あざやかボタン搭載 |
| 通信機能 | モデム | データ：最大 56kbps（V.92 規格準拠）[注10] ／ FAX：14.4kbps |
| | LAN | 100BASE-TX / 10BASE-T 準拠 |
| | ワイヤレス LAN | IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠（Wi-Fi® 準拠）[注31] |
| ホームサーバー機能 | | − |
| テレビ | テレビチューナー | 受信チャンネル[注12]：VHF（1 〜 12ch）、UHF（13 〜 62ch）、<br>CATV（13 〜 63ch）ステレオ、音声多重対応 |
| | 録画形式 | MPEG2（ハードエンコード）[注13] |
| | 高画質化機能 | 3 次元 Y/C 分離、ゴーストリダクション |

インターネットの「富士通ショッピングサイト WEB MART（ウェブマート）」でのみご購入いただける製品の仕様です。
パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
「仕様一覧の注記について」（••▶P.123）

6

| 製品名称 | | FMV-BIBLO NB90KN/T |
|---|---|---|
| インターフェース | PC カード | PC Card Standard 準拠 Type Ⅰ / Ⅱ × 2 スロット<br>または Type Ⅲ × 1 スロット（CardBus 対応） |
| | SD カード／<br>メモリースティック[注14] | × 1 スロット（メモリースティック PRO 対応） |
| | 外部ディスプレイ／<br>ビデオ出力 | アナログ RGB ミニ D-SUB 15 ピン× 1 ／ S ビデオ× 1（NTSC 出力） |
| | USB[注15] | USB2.0 準拠× 4（右側面× 1、背面× 3） |
| | IEEE1394（DV）[注16] | 4 ピン× 1（S400） |
| | モデム | RJ-11 × 1 |
| | LAN | RJ-45 × 1 |
| | ビデオ入力 | ビデオ入力（S ビデオ× 1、コンポジット× 1）[注17]、<br>ビデオ音声入力（L/R、RCA ×各 1）[注18] |
| | テレビアンテナ入力 | ミニジャック× 1（標準添付の RF 変換ケーブルを使用） |
| | オーディオ | ヘッドホン：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック、<br>（出力：1mW 以上、負荷インピーダンス 32Ω）／<br>マイク：φ3.5mm ミニジャック<br>（入力：100mV 以下、入力インピーダンス（AC）10kΩ 以上（DC）2kΩ 以上） |
| | 状態表示 | LED |
| 電源供給方式 | AC アダプタ | 入力 AC100V ～ 240V、出力 DC19V（3.16A） |
| | バッテリ | 内蔵バッテリパック：リチウムイオン　14.4V ／ 2000mAh |
| バッテリ稼働時間<br>（JEITA 測定法 1.0[注19]） | | 約 1.7 時間 |
| バッテリ充電時間[注20] | | 約 2.5 時間 |
| 消費電力[注21] | | 約 32W ／約 68W |
| 省エネ法に基づく<br>エネルギー消費効率[注22] | | S 区分 0.00039 |
| 省エネルギー基準達成率[注23] | | AAA |
| 外形寸法 | | W329 × D288.5 × H43.1 ～ 57.0 mm（突起部含まず） |
| 質量 | | 約 4.0kg |
| 盗難防止用ロック | | あり |
| 温湿度条件 | | 温度 5 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、<br>温度 -10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（非動作時）<br>（ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと） |
| プレインストール OS | | Windows XP Home Edition[注24]（DirectX 9.0c 対応） |
| サポート OS | | Windows XP Home Edition、Windows XP Professional[注25] |

インターネットの「富士通ショッピングサイト WEB MART（ウェブマート）」でのみご購入いただける製品の仕様です。
パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
「仕様一覧の注記について」（••▶P.123）

| 製品名称 | | FMV-BIBLO NB80KN |
|---|---|---|
| CPU [注1] | | 低電力モバイル AMD Athlon™ 64 プロセッサ 2800+ [注2] |
| キャッシュメモリ | | 1 次：128KB 、2 次：512KB（CPU 内蔵） |
| チップセット | | NVIDIA® nForce™ 3 Go150 |
| システム・バス | | 1200MHz HyperTransport |
| メインメモリ | | 標準 512MB [注26]（PC2700 DDR SDRAM）ECC なし　最大 1.5GB |
| 拡張メモリスロット | | × 1（空きスロット× 1） |
| 表示機能 | グラフィックアクセラレータ | NVIDIA® GeForce™ 4 420Go 32MB（AGP 接続） |
| | ビデオメモリ | 32MB（DDR SDRAM） |
| | 液晶ディスプレイ [注5] | 高色純度・高輝度・低反射・広視野角 15 型 TFT カラー 1024 × 768 ドット（スーパーファイン DX Ⅱ 液晶） |
| | 解像度／発色数 | 液晶ディスプレイ表示：最大 1024 × 768 ドット／ 1677 万色 [注6]<br>外部ディスプレイ表示：最大 1600 × 1200 ドット／最大 1677 万色<br>液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示：<br>最大 1024 × 768 ドット／ 1677 万色 [注6] |
| フロッピーディスクドライブ [注7] | | 3.5 インチ× 1（3 モード対応） |
| ハードディスクドライブ [注8] | | 80GB（Ultra ATA/100） [注28] |
| CD/DVD ドライブ [注9] | | スーパー マルチドライブ |
| オーディオ機能 | オーディオコントローラ | チップセット内蔵 + AC97 コーデック |
| | PCM 録音再生機能 | サンプリング周波数　最大 48kHz、16 ビット　ステレオ、同時録音再生対応 |
| | MIDI 再生機能 | OS 標準機能にてサポート |
| | スピーカー | ステレオスピーカー内蔵 |
| キーボード | | OADG 配列準拠 87 キー（Windows キー、アプリケーションキー付） |
| ポインティングデバイス | | フラットポイント、スクロールボタン、USB マウス（光学式）添付 |
| リモコン | | ― |
| ワンタッチボタン / TV•DVD 操作ボタン等 | | プログラマブル× 4（CD/DVD 操作兼用）、モードボタン、あざやかボタン搭載 |
| 通信機能 | モデム | データ：最大 56kbps（V.92 規格準拠） [注10] ／ FAX：14.4kbps |
| | LAN | 100BASE-TX / 10BASE-T 準拠 |
| | ワイヤレス LAN | IEEE 802.11a 準拠、IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠（Wi-Fi® 準拠） [注31] |
| ホームサーバー機能 | | ― |
| テレビ | テレビチューナー | ― |
| | 録画形式 | ― |
| | 高画質化機能 | ― |

インターネットの「富士通ショッピングサイト WEB MART（ウェブマート）」でのみご購入いただける製品の仕様です。
パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
「仕様一覧の注記について」（••▶P.123）

| 製品名称 | | FMV-BIBLO NB80KN |
|---|---|---|
| インターフェース | PC カード | PC Card Standard 準拠 Type Ⅰ / Ⅱ× 2 スロット<br>または Type Ⅲ× 1 スロット（CardBus 対応） |
| | SD カード／<br>メモリースティック[注14] | × 1 スロット （メモリースティック PRO 対応） |
| | 外部ディスプレイ／<br>ビデオ出力 | アナログ RGB ミニ D-SUB 15 ピン× 1 ／ S ビデオ× 1（NTSC 出力） |
| | USB [注15] | USB2.0 準拠× 4（右側面× 1、背面× 3） |
| | IEEE1394（DV）[注16] | 4 ピン× 1（S400） |
| | モデム | RJ-11 × 1 |
| | LAN | RJ-45 × 1 |
| | ビデオ入力 | ― |
| | テレビアンテナ入力 | ― |
| | オーディオ | ヘッドホン：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック、<br>（出力：1mW 以上、負荷インピーダンス 32Ω）／<br>マイク：φ3.5mm ミニジャック<br>（入力：100mV 以下、入力インピーダンス（AC）10kΩ 以上 （DC）2kΩ 以上） |
| | 状態表示 | LED |
| 電源供給方式 | AC アダプタ | 入力 AC100V ～ 240V、出力 DC19V（4.22A） |
| | バッテリ | 内蔵バッテリパック：リチウムイオン 14.4V ／ 2000mAh |
| バッテリ稼働時間<br>(JEITA 測定法 1.0 [注19]) | | 約 1.6 時間 |
| バッテリ充電時間[注20] | | 約 2.5 時間 |
| 消費電力[注21] | | 約 33W ／約 88W |
| 省エネ法に基づく<br>エネルギー消費効率[注22] | | S 区分 0.00070 |
| 省エネルギー基準達成率[注23] | | AAA |
| 外形寸法 | | W329 × D288.5 × H43.1 ～ 63.5 mm（突起部含まず） |
| 質量 | | 約 3.9kg |
| 盗難防止用ロック | | あり |
| 温湿度条件 | | 温度 5 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、<br>温度 -10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（非動作時）<br>（ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと） |
| プレインストール OS | | Windows XP Professional [注24]（DirectX 9.0c 対応） |
| サポート OS | | Windows XP Home Edition、Windows XP Professional [注25] |

インターネットの「富士通ショッピングサイト WEB MART（ウェブマート）」でのみご購入いただける製品の仕様です。
パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
「仕様一覧の注記について」（••▶P.123）

| 製品名称 | | FMV-BIBLO NB50KN |
|---|---|---|
| CPU 注1 | | インテル® Celeron® M プロセッサ 350 |
| | | 1.30GHz |
| キャッシュメモリ | | 1次：64KB、2次：1MB（CPU内蔵） |
| チップセット | | インテル® 852GM チップセット |
| システム・バス | | 400MHz |
| メインメモリ | | 標準 256MB 注29（PC2100 DDR SDRAM）ECC なし　最大 1GB 注3 |
| 拡張メモリスロット | | ×1（空きスロット×1） |
| 表示機能 | グラフィックアクセラレータ | チップセットに内蔵 |
| | ビデオメモリ | 標準 8MB ／最大 64MB（メインメモリと共用）注4 |
| | 液晶ディスプレイ注5 | 高輝度・低反射 15 型 TFT カラー<br>1024 × 768 ドット（スーパーファイン液晶） |
| | 解像度／発色数 | 液晶ディスプレイ表示：1024 × 768 ドット／ 1677 万色注6<br>外部ディスプレイ表示：最大 1600 × 1200 ドット／最大 1677 万色<br>液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示：1024 × 768 ドット／ 1677 万色注6 |
| フロッピーディスクドライブ注7 | | 3.5 インチ× 1（3 モード対応） |
| ハードディスクドライブ注8 | | 60GB（Ultra ATA/100）注30 |
| CD/DVD ドライブ注9 | | スーパーマルチドライブ |
| オーディオ機能 | オーディオコントローラ | チップセット内蔵 + AC97 コーデック |
| | PCM 録音再生機能 | サンプリング周波数　最大 48kHz、16 ビット　ステレオ、同時録音再生対応 |
| | MIDI 再生機能 | OS 標準機能にてサポート |
| | スピーカー | ステレオスピーカー内蔵 |
| キーボード | | OADG 配列準拠 87 キー（Windows キー、アプリケーションキー付） |
| ポインティングデバイス | | フラットポイント、スクロールボタン、USB マウス（光学式）添付 |
| リモコン | | — |
| ワンタッチボタン / TV•DVD 操作ボタン等 | | プログラマブル× 4（CD/DVD 操作兼用）、モードボタン、あざやかボタン搭載 |
| 通信機能 | モデム | データ：最大 56kbps（V.92 規格準拠）注10 ／ FAX：14.4kbps |
| | LAN | 100BASE-TX / 10BASE-T 準拠 |
| | ワイヤレス LAN | — |
| ホームサーバー機能 | | — |
| テレビ | テレビチューナー | — |
| | 録画形式 | — |
| | 高画質化機能 | — |

インターネットの「富士通ショッピングサイト WEB MART（ウェブマート）」でのみご購入いただける製品の仕様です。
パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
「仕様一覧の注記について」（••▶P.123）

| 製品名称 | | | FMV-BIBLO NB50KN |
|---|---|---|---|
| インターフェース | PC カード | | PC Card Standard 準拠 Type Ⅰ / Ⅱ × 2 スロット<br>または Type Ⅲ × 1 スロット（CardBus 対応） |
| | SD カード／<br>メモリースティック注 14 | | × 1 スロット （メモリースティック PRO 対応） |
| | 外部ディスプレイ／<br>ビデオ出力 | | アナログ RGB ミニ D-SUB 15 ピン× 1 ／ S ビデオ× 1（NTSC 出力） |
| | USB 注 15 | | USB2.0 準拠× 4（右側面× 1、背面× 3） |
| | IEEE1394（DV） 注 16 | | 4 ピン× 1 （S400） |
| | モデム | | RJ-11 × 1 |
| | LAN | | RJ-45 × 1 |
| | ビデオ入力 | | － |
| | テレビアンテナ入力 | | － |
| | オーディオ | | ヘッドホン：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック<br>（出力：1mW 以上、負荷インピーダンス 32Ω）／<br>マイク：φ3.5mm ミニジャック<br>（入力：100mV 以下、入力インピーダンス（AC）10kΩ 以上（DC）2kΩ 以上） |
| | 状態表示 | | LED |
| 電源供給方式 | | AC アダプタ | 入力 AC100V ～ 240V、出力 DC19V（3.16A） |
| | | バッテリ | 内蔵バッテリパック：リチウムイオン　14.4V ／ 2000mAh |
| バッテリ稼働時間<br>(JEITA 測定法 1.0 注 19) | | | 約 1.2 時間 |
| バッテリ充電時間注 20 | | | 約 2.5 時間 |
| 消費電力注 21 | | | 約 33W ／約 68W |
| 省エネ法に基づく<br>エネルギー消費効率注 22 | | | S 区分 0.00048 |
| 省エネルギー基準達成率注 23 | | | AAA |
| 外形寸法 | | | W329 × D285.5 × H43.9 ～ 45.3 mm（突起部含まず） |
| 質量 | | | 約 3.6kg |
| 盗難防止用ロック | | | あり |
| 温湿度条件 | | | 温度 5 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、<br>温度 -10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（非動作時）<br>（ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと） |
| プレインストール OS | | | Windows XP Home Edition 注 24 （DirectX 9.0c 対応） |
| サポート OS | | | Windows XP Home Edition、Windows XP Professional 注 25 |

インターネットの「富士通ショッピングサイト WEB MART（ウェブマート）」でのみご購入いただける製品の仕様です。
パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
「仕様一覧の注記について」（••▶P.123）

# 仕様一覧の注記について

注 1　ソフトウェアによっては CPU 名表記が異なることがあります。

注 2
- 最大動作周波数は 1.8GHz ですが、従来の設計に基づく 2.8GHz プロセッサの性能に相当もしくは上回る性能を実現しています。
- バッテリ運用時の最大処理能力は、AC アダプタ運用時の約 50% となります。

注 3　1GB のメモリを追加すると、標準（オンボード）の 256MB または 512MB のメモリが無効になります。

注 4　Intel® Dynamic Video Memory Technology（DVMT）により、パソコンの動作状態によって VRAM 容量が変化します。

注 5
- 液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 長時間同じ表示を続けると残像となることがありますが故障ではありません。残像は、しばらく経つと消えます。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
- 表示する条件によってはムラおよび微少な斑点が目立つことがありますが故障ではありません。

注 6　グラフィックアクセラレータの出力する最大発色数は 1677 万色ですが、液晶ディスプレイではディザリング機能によって、擬似的に表示されます。また、外部ディスプレイに出力する場合は、お使いの外部ディスプレイがこの解像度をサポートしている必要があります。

注 7　フロッピーディスクは、フォーマットした環境（メーカー、機種、ソフトウェア）によっては、データを読み書きできない場合があります。対応メディアは、2HD（1.44MB, 1.2MB）と 2DD（720KB）です。なお、1.44MB 以外のフォーマットはできません。

注 8　容量は、1MB=$1000^2$ byte、1GB=$1000^3$ byte 換算値です。

注 9　各ドライブの主な仕様は次の通りです。
なお、各数値は仕様上の最大限であり、使用メディアや動作環境によって異なる場合があります。

| | |
|---|---|
| スーパーマルチドライブ | CD-ROM 読出：最大 24 倍速、CD-R 書込：最大 24 倍速、<br>CD-RW 書込書換：最大 10 倍速、DVD-ROM 読出：最大 8 倍速、<br>DVD-RAM 書込書換：最大 3 倍速、DVD-R 書込：最大 8 倍速、<br>DVD-RW 書込書換：最大 4 倍速、DVD+R 書込：最大 8 倍速、<br>DVD+RW 書込書換：最大 4 倍速、DVD+R DL 書込：最大 2.4 倍速 |

注 10　56000bps は V.92 の理論上の最高速度であり、実際の通信速度は回線の状況により変化します。
V.92 の 33600bps を超える通信速度は受信時のみで、送信時は 33600bps が最高速度となります。また、日本国内の一般公衆回線、あるいは構内交換機経由での通信においては同規格での通信が行えない場合があります。

注 11　FMV ステーションをお使いになるには、FMV ステーションに添付されている『FMV ステーション 準備と設定ガイド』をご覧になり、FMV ステーションの設置と接続をしてください。

注 12　地上デジタル放送、BS/CS 放送のチャンネルは受信できません。

注 13
- テレビ番組の録画などは、お客様個人またはご家庭で楽しむ目的でのみ、ご利用ください。
- ビデオなどコピーガード信号を含んだ映像を、録画することはできません。
また、ビデオ入力（S ビデオ）端子やビデオ入力（コンポジット）端子に接続した一部のビデオ機器では、メニューや操作画面においてコピーガード信号を出しています。このような場合も、映像を録画することはできません。
- ビデオ出力（S ビデオ）端子に機器を接続していない場合は、コピーガード信号を含んだ映像をパソコン側で表示することができます。ビデオ出力（S ビデオ）端子に機器を接続している場合は、コピーガード信号を含んだ映像をパソコン側で表示することはできません。

注 14
- SD メモリーカードとメモリースティックの同時使用はできません。
- すべての SD メモリーカード／メモリースティックの動作を保証するものではありません。
- マジックゲートなどの著作権保護機能には対応していません。
- マルチメディアカード（MMC）やセキュアマルチメディアカードには対応していません。
- miniSD メモリーカードやメモリースティック Duo ／メモリースティック PRO Duo をお使いの場合は、アダプタが必要になります。必ず miniSD メモリーカードを miniSD メモリーカードアダプタに、メモリースティック Duo ／メモリースティック PRO Duo をメモリースティック Duo アダプタにセットしてからお使いください。

注 15　すべての USB 対応周辺機器について動作保証するものではありません。

注 16　すべての IEEE1394 対応周辺機器について動作保証するものではありません。

注 17　著作権保護用の信号が記録されている映像は、表示およびハードディスクなどへ録画することはできません。

注 18　テレビ専用の音声入力端子です。

注 19　社団法人 電子情報技術産業協会の『JEITA バッテリ動作時間測定法（Ver1.0）』（http://it.jeita.or.jp/mobile/index.html）。
なお、本体のみ、省電力制御あり、満充電の場合。ただし、実際の稼働時間は使用条件により異なります。

注 20
- 電源 OFF またはスタンバイ時。なお、装置の動作状況により充電時間が長くなることがあります。
- エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を、省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

注 21　・動作時の最小消費電力（Windows 起動直後の消費電力）/ 最大消費電力です。また、AC アダプタ運用時の消費電力です。

・電源 OFF 時の消費電力は、約 1.5W 以下（NB80K, NB80KN の場合は約 1.9W 以下）（満充電時）です。なお、電源 OFF 時のエネルギー消費を回避するには、AC ケーブルの電源プラグをコンセントから抜いてください。

注 22　スタンバイ時（充電なし、AC アダプタ含む）。なお、エネルギー消費効率とは省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

注 23　省エネルギー基準達成率の各製品欄にあるアルファベットは「A は 100%以上、AA は 200%以上、AAA は 500% 以上」達成していることを示します。

注 24　出荷時に Microsoft® Windows® XP Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載が適用されています。

注 25　Microsoft® Windows® XP Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載が適用されている必要があります。

注 26　ご購入時の選択によっては、1GB の場合もあります。なお、その場合に 1GB のメモリ容量にするには、搭載済のメモリをすべて取り外し、拡張 RAM モジュール -1GB を 1 枚取り付ける必要があります。

注 27　ご購入時の選択によっては、200GB（100GB × 2）の場合もあります。

注 28　ご購入時の選択によっては、100GB の場合もあります。

注 29　ご購入時の選択によっては、512MB の場合もあります。なお、その場合に 1GB のメモリ容量にするには、搭載済のメモリをすべて取り外し、拡張 RAM モジュール -512MB を 1 枚取り付ける必要があります。

注 30　ご購入時の選択によっては、80GB、100GB の場合もあります。

注 31　Wi-Fi® 準拠とは、ワイヤレス LAN の相互接続性を保証する団体「Wi-Fi Alliance」の相互接続性テストに合格していることを示します。

# 2 その他の仕様

## リモコン

### NB90K/TS, NB90K/T, NB75K/T, NB55K/T, NB90KN/T の場合のみ

| | | |
|---|---|---|
| 通信方式 | | 赤外線方式 |
| 使用可能距離 | | 3m |
| 乾電池の寿命の目安 | | 約 6ヶ月（マンガン乾電池使用時） |
| 使用可能範囲 | 水平 | 右：約 30°　／左：約 30° |
| | 垂直 | 上：約 30°　／下：約 0° |
| 使用電池 | | 単 3 形乾電池 2 本 |

# 索　引

**この本で見つからない情報は、「画面で見るマニュアル」で！**

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→
「富士通サービスアシスタント（マニュアル＆サポート）」の「画面で見るマニュアル」

## た行



## な行



## は行



## ま行



## や行



## ら行



## わ行

Memo

FMV-BIBLO NB90K/TS, NB90K/T, NB75K/T, NB55K/T, NB80K,
NB75K, NB55K, NB50K, NB90KN/T, NB80KN, NB50KN

**パソコンの準備**

B6FH-4631-02-00

発 行 日　2005 年 1 月
発行責任　富士通株式会社

〒 105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

Printed in Japan



㋐0412-1